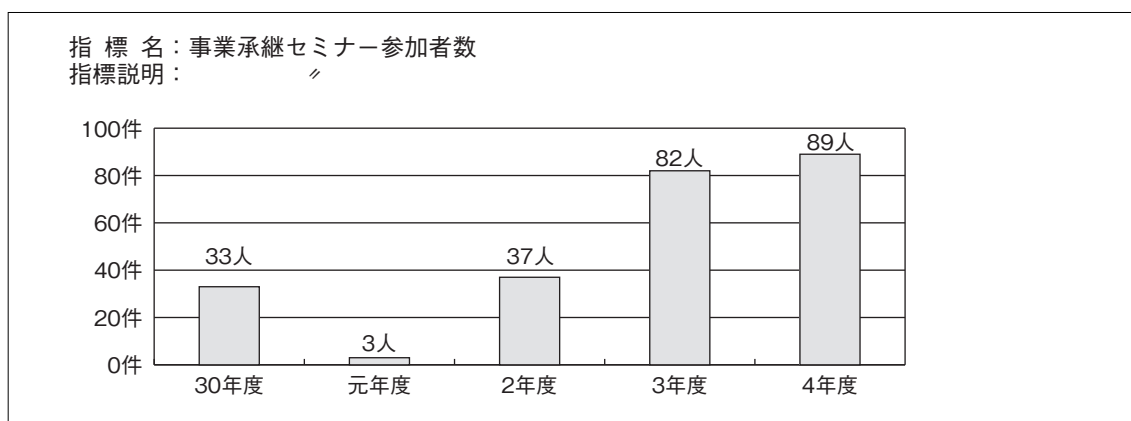


科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	2,772,190,904	451,905,996	0	1,140,813,139	1,179,471,769
1 項 商 工 費	2,772,190,904	451,905,996	0	1,140,813,139	1,179,471,769
2 目 経営力強化支援費 <経営基盤の強化と人材育成への支援>	1,649,973,538	415,733,747	0	1,037,120,500	197,119,291
1 中小企業振興事業費 330,391,487 円 (産業政策課・商工業振興課)					
[総括]					
<p>中小企業の経営基盤強化のため、事業承継や人材育成などの事業継続に向けた支援を行った。また、企業BCP (事業継続計画) 等の普及・啓発を目的として、策定を促すためのセミナーや策定に係る経費に対して支援を行った。今後も継続して中小企業の経営基盤の強化を図るとともに、業態転換などの新たなチャレンジを支援していく。</p>					
[実績及び成果]					
(1) 設備投資等支援事業費 136,213,091 円					
(ア) 中小企業振興助成金 135,799,360 円					
助 成 金		令和3年度		令和4年度	
		194件	165,849,880円	158件	135,799,360円
(2) 事業承継支援事業費 171,024 円					
セミナー受講者数		令和3年度		令和4年度	
		会場受講	延 46人	会場受講	延 48人
		WEB受講	延 36	WEB受講	延 41
(3) 企業BCP策定支援事業費 160,000 円					
(ア) 企業BCP等策定推進事業費 40,000 円					
内 容		令和3年度		令和4年度	
		セミナー開催	延 95人	セミナー開催	延 76人
(イ) 企業BCP等策定支援事業費補助金 120,000 円					
補 助 金		令和3年度		令和4年度	
		5件	150,000円	4件	120,000円
(4) 中小企業関係団体等補助金 5,486,011 円					
(ア) 商業団体共同事業補助金 204,000 円					
補 助 金		令和3年度		令和4年度	
		6団体	643,000円	4団体	204,000円
(5) 新ビジネスチャレンジ応援補助金 1,764,000 円					
補 助 金		令和3年度		令和4年度	
		—		11件	1,764,000円
(6) マイナポイントを活用した消費活性化事業費 32,414,875 円					
内 容		令和3年度		令和4年度	
		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施	

[指標]



2 制度融資事業費 1,279,317,860 円（商工業振興課）

[総括]

中小企業に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小企業が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や小規模企業等振興資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資資金預託金 1,036,000,000 円

[預託金合計]

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 額		1,468,000,000円	1,036,000,000円	△29.4%
融 資 枠		5,244,000,000円	3,858,000,000円	—
融 資 実 績	件数	780件	653件	△16.3
	金額	3,199,601,000円	2,598,321,000円	△18.8
融 資 実 績 率		61.0%	67.3%	6.3ポイント

(ア) 小口事業資金預託金 509,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		508,000,000円	509,000,000円	0.2%
融 資 枠		1,524,000,000円	1,527,000,000円	—
融 資 実 績	件数	149件	66件	△55.7
	金額	953,380,000円	568,970,000円	△40.3
融 資 実 績 率		62.6%	37.3%	△25.3ポイント

(イ) 経営安定資金預託金 100,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		560,000,000円	100,000,000円	△82.1%
融 資 枠		1,680,000,000円	300,000,000円	—
融 資 実 績	件数	30件	14件	△53.3
	金額	210,200,000円	68,200,000円	△67.6
融 資 実 績 率		12.5%	22.7%	10.2ポイント

(ウ) 小規模企業等振興資金預託金 250,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額		280,000,000円	250,000,000円	△10.7%
融 資 枠		1,680,000,000円	1,500,000,000円	—
融 資 実 績	件数	457件	424件	△ 7.2
	金額	1,515,671,000円	1,430,950,000円	△ 5.6
融 資 実 績 率		90.2%	95.4%	5.2ポイント

(エ) 中心市街地商業活性化資金預託金 25,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊川信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		32,000,000円	25,000,000円	△21.9%
融 資 枠		96,000,000円	75,000,000円	—
融 資 実 績	件数	2件	0件	皆減
	金額	10,000,000円	0円	皆減
融 資 実 績 率		10.4%	0.0%	△10.4ポイント

(オ) 創業支援資金預託金 127,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか7金融機関	豊橋信用金庫ほか7金融機関	—
預 託 額		67,000,000円	127,000,000円	89.6%
融 資 枠		201,000,000円	381,000,000円	—
融 資 実 績	件数	136件	141件	3.7
	金額	492,350,000円	506,960,000円	3.0
融 資 実 績 率		245.0%	133.1%	△111.9ポイント

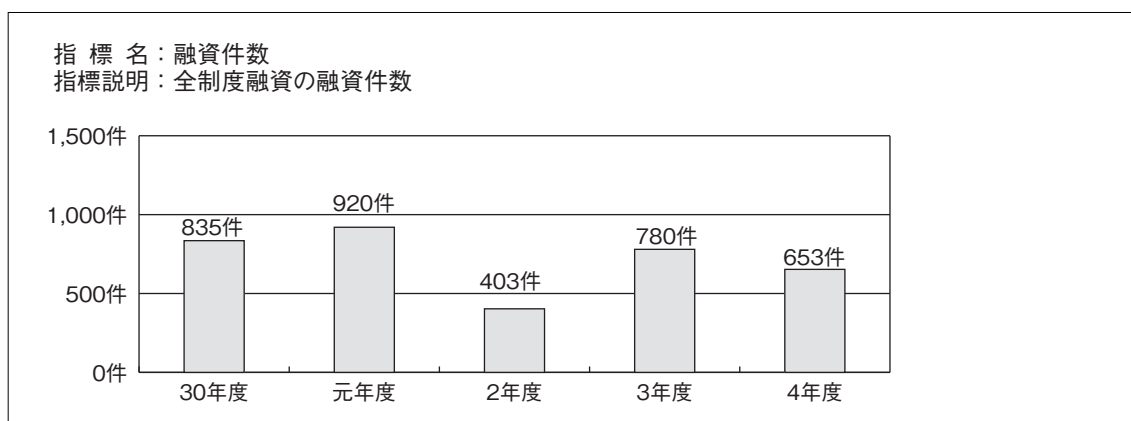
(カ) 中小企業団体共同事業資金預託金 7,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか6金融機関	豊橋信用金庫ほか6金融機関	—
預 託 額		7,000,000円	7,000,000円	0.0%
融 資 枠		21,000,000円	21,000,000円	—
融 資 実 績	件数	0件	0件	0.0
	金額	0円	0円	0.0
融 資 実 績 率		0.0%	0.0%	0.0ポイント

(キ) 小規模事業資金預託金 18,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		14,000,000円	18,000,000円	28.6%
融 資 枠		42,000,000円	54,000,000円	—
融 資 実 績	件数	6件	8件	33.3
	金額	18,000,000円	23,241,000円	29.1
融 資 実 績 率		42.9%	43.0%	0.1ポイント

[指 標]



3 人材育成事業費 34,711,547円 (産業政策課・地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総 括]

市内企業の事業活動を支えるため、情報関連技術や生産関連技術等に関する研修を実施した。また、本市をはじめ様々な機関が一体となって行う人材育成事業等の取組みに対して助成したほか、南部窓口センター2階で大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援した。今後も産業を支える人材の育成や交流を進める取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 人材育成支援事業費 25,814,888円

(ア) 中小企業人材育成支援研修事業費 23,754,984円

セミナー受講者数	令和3年度	令和4年度
	197人	154人

(2) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 3,150,000円

補助金	令和3年度	令和4年度
	3,150,000円	3,150,000円

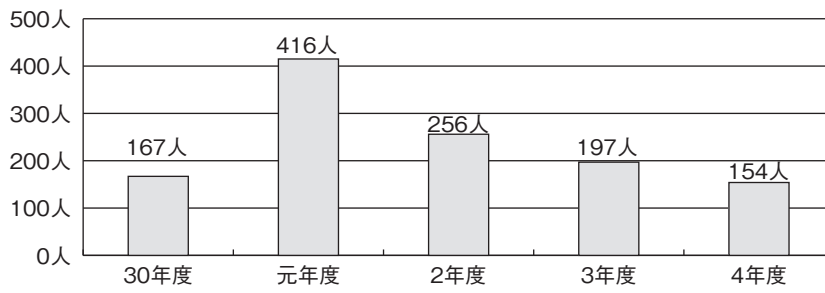
(3) 学生の学びと交流空間運営事業費 5,746,659円

内 容	令和3年度	令和4年度
	大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援	大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援したほか、企業の魅力発見・発信講座を実施

[指 標]

指 標 名：人材育成事業参加者数

指標説明：中小企業人材育成支援研修参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 新事業創出費 〈スタートアップの促進と新たなビジネスモデルの創出支援〉	223,692,906	11,000,000	0	56,580,482	156,112,424

1 新事業創出事業費 223,692,906円 (産業政策課・地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総括]

海外ECサイト等を活用した販路の構築支援、衛星データを活用したサービス創出のための実証実験への支援、スタートアップと市職員の協働による地域課題の解決に向けた実証実験の実施、農業者・地域企業・研究者とスタートアップとの共創プロジェクトづくり、ものづくり・夢づくり支援事業による起業支援などの、新たなビジネス創出につなげる様々な取組みを行った。また、特色ある技術を持った事業者が活躍し、地域における新産業を創出するため、産学連携等による新技術または新製品開発に向けた研究開発の取組みに対して助成した。今後も地域での新事業創出に向けた取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 海外ECサイト販路構築事業費 2,503,928円

内 容	令和3年度	令和4年度
	個別相談及び海外ECサイト販売戦略講座等の実施 ・海外ECサイト事業登録事業者数 12社	

(2) イノベーション創出等支援事業補助金 35,434,446円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
		35,651,703円

(3) オープンデータビジネス創出事業費 13,819,800円

内 容	令和3年度	令和4年度
	データポータルサイト及びデジタルサイネージの運用管理、公共交通運行情報システムの機能拡張及び運用管理	

(4) 衛星データ利活用促進支援事業補助金 6,717,952円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
		6,696,161円

(5) 官民一体型新ビジネス創出事業費 8,000,000円

内 容	令和3年度	令和4年度
	スタートアップと市職員が協働して、地域や行政の抱える課題の解決に資するプロダクトの開発・実装のための実証実験を実施	

(6) 地域産業支援施設整備事業補助金 20,800,000円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
		20,800,000円

(7) 豊橋イノベーションガーデン運営事業補助金 50,535,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
		52,599,480円		50,535,000円

(8) スタートアップ支援事業費 62,247,482円

(ア) アグリテック実証支援事業費 32,114,940円

内容	令和3年度		令和4年度	
	—			農業者・農業関係企業等の課題解決に資する製品開発に取り組むスタートアップとの共創プロジェクトを創出

(イ) 共創コミュニティ創出支援事業費 18,368,415円

内容	令和3年度		令和4年度	
	—			スタートアップと、そのチャレンジを応援する地域事業者等からなるコミュニティをつくり、両者の共創を促進

(ウ) 研究シーズスタートアップ支援事業補助金 11,760,127円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	—			11,760,127円

(エ) スタートアップ創出プログラム参加支援補助金 4,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	—			4,000円

(9) ものづくり・夢づくり支援事業費 15,708,000円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 2,003,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	18件	1,931,000円	23件	2,003,000円

(イ) 販路開拓支援事業費補助金 5,349,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	27件	5,199,000円	27件	5,349,000円

(ウ) 起業支援事業費補助金 6,356,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	26件	6,827,000円	30件	6,356,000円

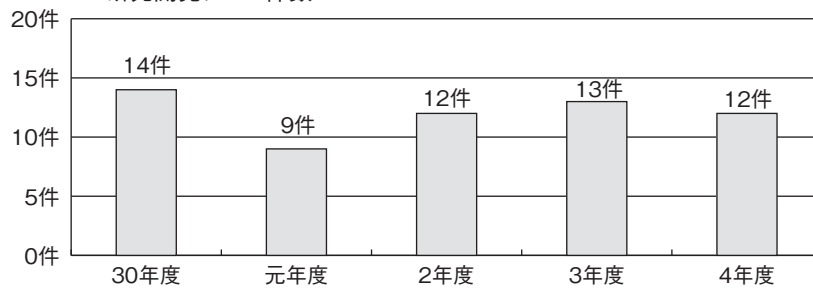
(エ) 「ものづくり博2022in東三河」開催費補助金 2,000,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	—			2,000,000円

[指 標]

指 標 名：研究開発に対する支援件数

指標説明：イノベーション創出等支援事業及び衛星データ利活用促進支援事業(令和2年度～)の
研究開発テーマ件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 <産業集積の促進>	268,049,432	0	0	9,435,000	258,614,432

1 企業誘致推進事業費 268,049,432円 (産業政策課)

[総括]

首都圏で開催された展示会や県主催の産業立地セミナーに参加するなど、市外、県外の企業に対し、積極的な誘致活動を行い、豊橋東インターチェンジ工業用地については全ての用地の売却先が決定した。

また、用地を必要としない企業誘致として、サテライトオフィス誘致補助金によりオフィスの誘致を進めた。さらに、市内企業のニーズ把握のため、情報交換会を行った。加えて、内陸での産業用地の需要が高まっているため、豊橋新城スマートIC (仮称) 開設予定地付近において、新たな産業用地確保に向けた調査を行った。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 1,919,432円

内 容		令和3年度		令和4年度	
立地企業情報交換会	開催日	7.13	7.16	7.4	7.12
	場 所	リサーチパーク	石巻地区	明海地区	神野地区・御津2区
	出席企業数	6社	9社	16社	11社
東三河5市企業誘致 推進連絡会議	事業実績	○メッセナゴヤ出展 11.10～11.13 ポートメッセなごや ○2022国際ロボット展出展 3.9～3.12 東京ビッグサイト		○ものづくり博2022in東三河出展 6.17～6.18 豊橋市総合体育館 ○モノづくりフェア2022出展 10.5～10.7 マリンメッセ福岡 ○メッセナゴヤ出展 11.16～11.18 ポートメッセなごや ○テクニカルショウヨコハマ2023出展 2.1～2.3 パシフィコ横浜	
サテライトオフィス誘致補助金		4社	3,930,000円	3社	965,000円

(2) 企業立地促進奨励金 257,660,000円

奨 励 金	令和3年度		令和4年度	
		45件	352,903,000円	42件

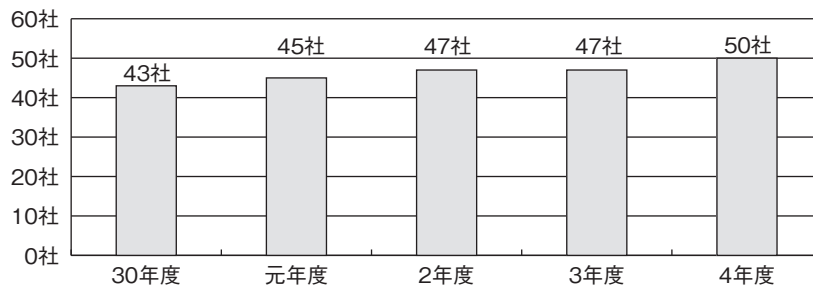
(3) 産業拠点形成事業費 8,470,000円

内 容	令和3年度		令和4年度	
		配水管布設工事委託業務 廃棄物処理等業務		産業用地整備計画策定調査委託業務

[指 標]

指 標 名：産業用地における立地企業数(累計)

指標説明：豊橋市、愛知県企業庁及び豊橋市土地開発公社が分譲する産業用地に立地した企業の数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まちなかにぎわい創出費 <まちなかにぎわいの創出>	40,756,660	15,556,000	0	0	25,200,660

1 まちなかにぎわい創出事業費 13,578,255円 (まちなか活性課)

[総括]

中心市街地のにぎわい創出及び消費促進のため、歩行者天国やクリスマスマーケット、初開催となるおさんぽマルシェ等を商店街や他の団体のイベントと連携し開催した。また、リノベーションまちづくりを進めるため、空き物件の活用に向けた事業提案会等を行った。今後も中心市街地で活躍する関係者や団体と連携・協力しながら、まちなかに人の流れを生み出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 7,824,850円

内 容	令和3年度		令和4年度	
とよはしクリスマス マーケットの開催	開催期間	12.16~12.25 10日間	開催期間	12.16~12.25 10日間
	来場者数	延 22,500人	来場者数	延 31,500人
おさんぽマルシェの 開催	開催回数	0回	開催回数	2回
豊橋駅南口駅前広場、 まちなか広場使用実績	使用件数	75件	使用件数	113件
	使用日数	91日	使用日数	126日

(2) エリアプラットフォーム負担金 800,000円

負 担 金	令和3年度	令和4年度
	—	800,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 500,000円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
	1件	500,000円	1件	500,000円

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 3,958,405円

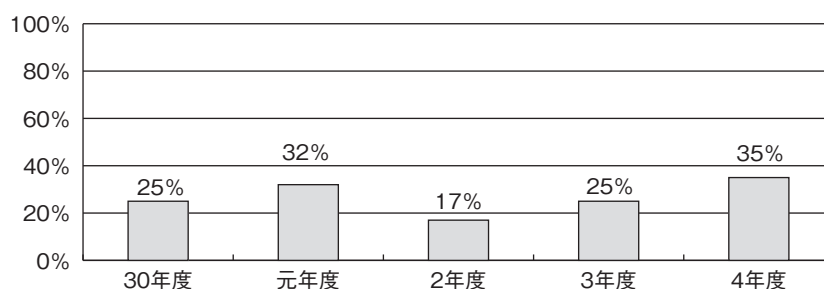
内 容	令和3年度		令和4年度	
歩行者天国の実施	実施回数	0回	実施回数	4回
	来場者数	0人	来場者数 (連携イベント含む)	延 116,000人

(5) リノベーションまちづくり推進事業費 495,000円

内 容	令和3年度		令和4年度	
ワークショップ等の実施	実施回数	4回	実施回数	3回
	参加者数	延 141人	参加者及び聴講者数	計 62人

[指 標]

指 標 名：公共空間の年間稼働率
 指標説明：豊橋駅南口駅前広場またはまちなか広場が稼働している日の年間稼働率



2 TMO支援事業費 27,178,405 円（まちなか活性課）

[総 括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する共通駐車券事業やまちなかインキュベーション事業への支援を行った。また、民間活力とノウハウを活かしてにぎわいを創出するため、TMOが開催する広場でのイベントや豊橋駅東口ペDESTリアンデッキ等のイルミネーション装飾への支援を行った。今後も魅力ある商業・サービス業の集積やにぎわい創出のための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 共通駐車券事業補助金 454,000 円

補 助 金	令和 3 年度		令和 4 年度	
		1件	466,000円	1件

(2) まちなかインキュベーション事業補助金 7,792,000 円

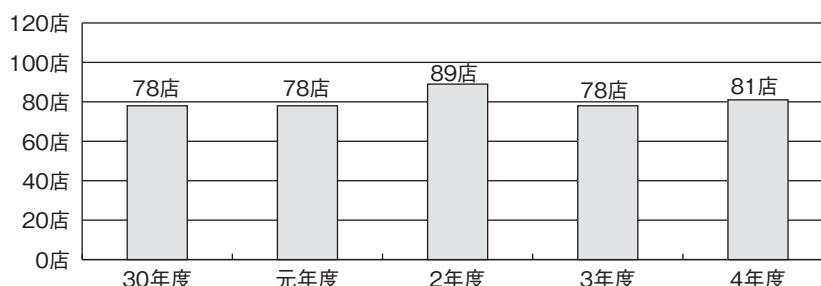
補 助 金	令和 3 年度		令和 4 年度	
		19件	9,580,000円	20件

(3) 官民連携まちなかにぎわい創出事業補助金 18,932,405 円

補 助 金	令和 3 年度		令和 4 年度	
		—		1件

[指 標]

指 標 名：中心市街地内の空き店舗数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 観光振興費 <観光資源の魅力づくり>	76,100,549	0	0	5,906,800	70,193,749

1 まつり・イベント支援事業費 57,320,105 円 (観光プロモーション課)

[総括]

交流人口の拡大による観光振興や地域の活性化を図るため、豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりの支援を行った。豊橋まつりは、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、3年ぶりに開催し、縮小規模でありながらも延べ60万人と多くの人出につながった。春まつり・花しょうぶまつりについても通常開催し、昨年以上のにぎわいとなった。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 10,520,105 円

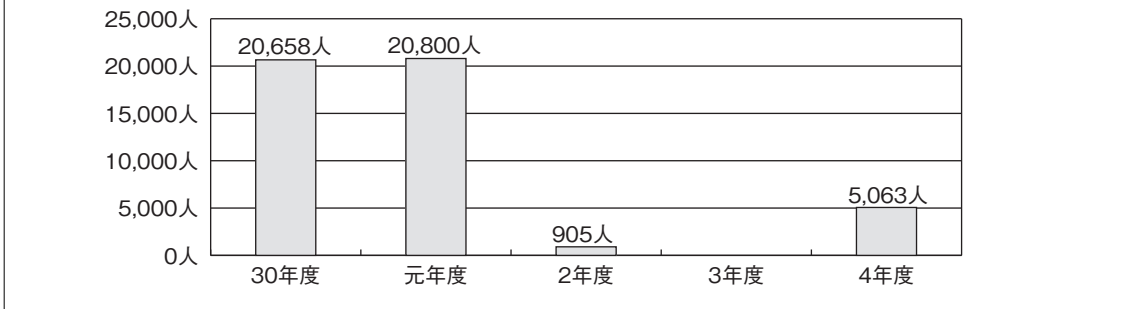
行 事 内 容			令和3年度	令和4年度
春まつり	さくらまつり	期 間	4.1~4.4 3.15~3.31 (21日間)	4.1~4.3 3.14~3.31 (21日間)
		場 所	豊橋公園	豊橋公園
		来場者数	延25,000人	延30,000人
	つつじまつり	期 間	—	4.16~5.5 (20日間)
		場 所	—	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	—	延2,500人
	うめまつり	期 間	2.4~3.6 (31日間)	2.3~3.5 (31日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	延20,000人	延30,000人
		補 助 金	3,042,428円	6,209,105円
花しょうぶまつり	期 間	5.26~6.8 (14日間)	5.25~6.7 (14日間)	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	延40,000人	延100,000人	
	補 助 金	2,678,107円	4,311,000円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 46,800,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
開 催 日	—	10.15~10.16 (2日間)
会 場 数	—	まちなかエリア・豊橋公園エリアなど 18会場
行 事 数	1行事	29行事
総 人 出 数	—	延600,000人
総 参 加 団 体 数	—	約391団体
補 助 金	553,504円	46,800,000円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数(令和2年度はオンライン総おどり)
指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 観光情報発信費 〈誘客につながるプロモーションの推進〉	167,245,961	9,616,249	0	27,501,800	130,127,912

1 観光プロモーション推進事業費 70,781,905 円 (産業政策課・観光プロモーション課)

[総括]

道の駅「とよはし」を拠点とした体験型観光を推進するため、サイクリングイベントを実施した。また、本市の産業をPRするため、豊橋駅構内東西自由連絡通路に設置している展示ブースの入替えを実施したほか、ふるさと寄附制度を活用し豊橋産品のPRを実施した。海外向けのプロモーションとして、台湾現地旅行会社に対するセールスコールの実施や台湾向け繁体字Facebookページの開設及び運営による情報発信を行った。さらに、ポケモン化石博物館開催との連携事業としてポケモンマンホール「ポケふた」の設置やスタンプラリー等を実施した。

今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につながるプロモーションを展開していく。

[実績及び成果]

(1) 観光プロモーション推進事業費 70,781,905 円

(ア) 推進活動費 2,664,879 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		—
観光プロモーション実施回数 ※ () は日数	—	—

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 2,825,779 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		車両 {フォルクスワーゲン} 及びものづくり技術 {株式会社アイセロ} の紹介展示

(ウ) 手筒花火放揚 8,000,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		—
観光プロモーション実施回数 ※ () は日数	—	2 (2)

(エ) 訪日外国人観光客誘致 1,461,999 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		・オンラインメディア等を活用した情報発信 ・大台南国際旅展へのブース出展 ・台湾現地旅行会社へ対するセールスコール及び台湾台南市政府や観光協会と連携した相互の観光情報発信

(オ) ふるさと寄附制度を活用した豊橋産品PR事業費 44,893,808円

内 容	令和3年度	令和4年度
	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」、「楽天ふるさと納税」への掲載 返礼品件数：2,958件	

(カ) 道の駅「とよはし」を拠点としたサイクルツーリズムの推進 5,177,660円

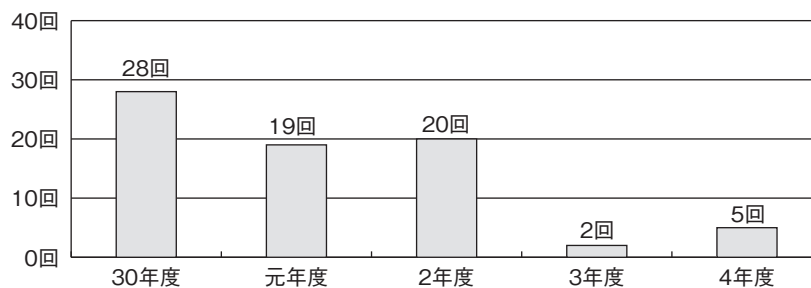
内 容	令和3年度	令和4年度
	道の駅「とよはし」を拠点とした体験型観光を充実させるため、サイクリストのための工具ステーションを整備したほか、スタンプラリー等のサイクリングイベントを実施 ・サイクリングイベント 2回(2日)	
観光プロモーション実施回数 ※()は日数	2(2)	3(148)

(キ) 自然史博物館と連携した観光プロモーション 5,757,780円

内 容	令和3年度	令和4年度
	—	

[指標]

指標名：物産展、手筒花火放揚などのPR活動回数
指標説明：〃



2 観光宣伝事業費

26,196,418 円（観光プロモーション課）

[総括]

本市の観光施設等への集客を促すため、雑誌等による情報発信や観光案内所、道の駅「とよはし」でPR活動を行った。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいくなるような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

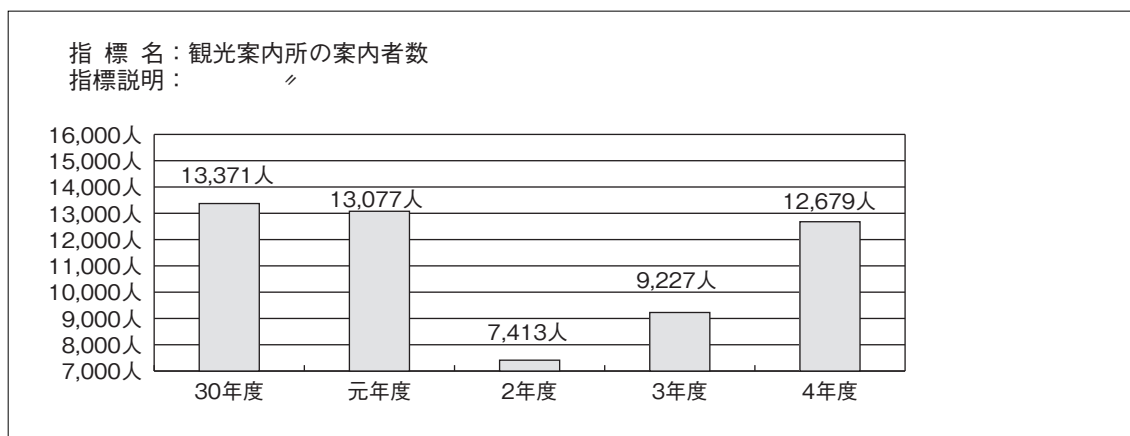
(1) 観光PR活動推進事業費 16,284,574 円

豊橋市への来訪者数	令和3年度	令和4年度	比較
	延 3,580,996人	延 4,441,526人	24.0%

(2) 観光案内所運営事業費 9,911,844 円

案内者数	令和3年度	令和4年度	比較
	延 9,227人	延 12,679人	37.4%

[指標]



3 映像作品活用誘客推進事業費

38,016,613 円（観光プロモーション課）

[総括]

大河ドラマ「どうする家康」の放送を機に、本市が徳川四天王の筆頭格酒井忠次ゆかりの地であることの認知度の向上と本市への観光誘客を図るため、酒井忠次のオリジナルフレーム切手等の製作・販売を行った。また、一般社団法人とよはしフィルムコミッションへ負担金を支出し、映画やドラマ等豊橋でのロケ活動を支援することで、作品を通じて本市の魅力を発信した。今後も映像作品を活用した本市のPRを図っていく。

[実績及び成果]

(ア) 大河ドラマと連動した誘客事業費 1,150,069 円

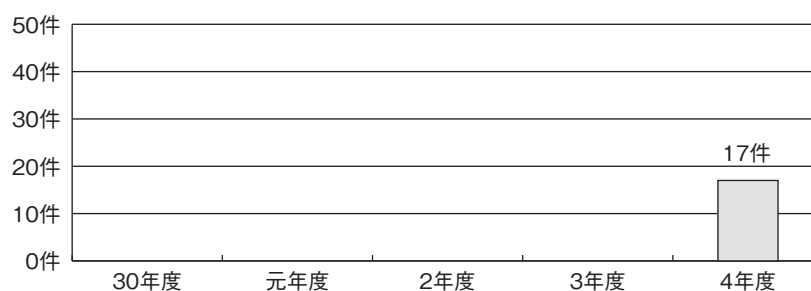
内 容	令和3年度	令和4年度
	—	・酒井忠次のオリジナルフレーム切手等の製作、販売(800セット製作)

(イ) 映像作品を活用した地域活性化事業費 36,866,544 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	—	・一般社団法人とよはしフィルムコミッションへの負担金の支出によるロケ支援（17件） ・豊橋まつりに合わせ、東三河と福島市の吹奏楽部の高校生による合同演奏会を実施

[指 標]

指 標 名：一般社団法人とよはしフィルムコミッションロケ支援件数 ※令和4年度以降
指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	14,439,744,601	2,833,681,426	2,900,800,000	992,878,078	7,712,385,097
1 項 道 路 橋 梁 費	4,161,917,688	672,578,005	1,330,300,000	345,516,091	1,813,523,592
2 目 幹 線 道 路 整 備 費 ＜ 幹 線 道 路 の 整 備 ＞	841,066,434	395,202,000	369,100,000	44,544,754	32,219,680

1 幹線道路建設促進対策事業費 74,678,535 円 (道路建設課)

[総括]

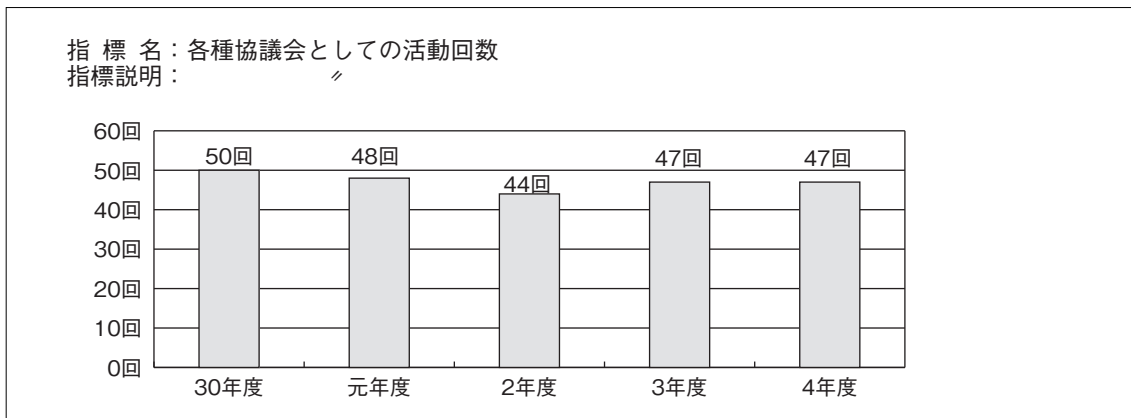
広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対し、人数制限等の新型コロナウイルス感染症対策を実施し、継続的に要望活動等を行った。豊橋新城スマート IC (仮称) 整備事業については、詳細設計を継続して行うとともに、盛土に必要な土の仮置場を一部確保した。豊橋新城スマート IC (仮称) 周辺土地利用検討事業については、土地利用構想策定に向け、住民ワークショップを 5 回開催した。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化し、地域と一体となって広域幹線道路の整備の促進を図るとともに、スマート IC の整備及び北部地域の活性化に向けた取組みを推進する。

[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 1,235,070 円

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・要望活動等への参加	総会・要望活動等への参加

[指 標]



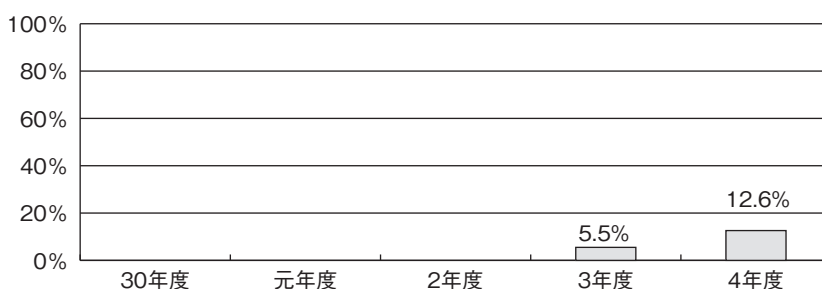
(2) 豊橋新城スマート IC (仮称) 整備事業費 73,277,771 円

(国庫補助事業 55,378,000 円 市単独事業 17,899,771 円)

	令和 3 年度	令和 4 年度
ス マ ー ト IC	詳細検討 詳細設計 —	— 詳細設計 盛土材仮置場の確保

[指 標]

指 標 名：豊橋新城スマートIC(仮称) 整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和3年度～）



(3) 豊橋新城スマート IC（仮称）周辺土地利用検討事業費 165,694 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	—	豊橋新城スマートIC(仮称)土地利用構想策定委託業務 住民ワークショップ開催(5回)

2 幹線市道整備事業費 679,698,486 円（道路建設課）

[総 括]

大岩町・小松原町55号線及び明海町・老津町28号線は、用地取得とともに、道路改良工事を進めた。また、一色町・王ヶ崎町1号線については、第1工区の整備を完了した。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を推進する。

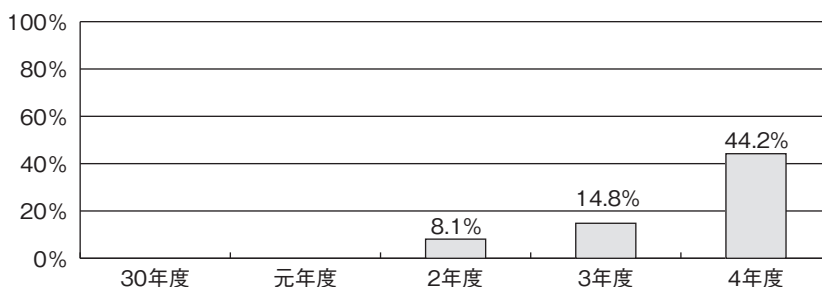
[実績及び成果]

(1) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 248,318,874 円
 (国庫補助事業 232,318,000 円 市単独事業 16,000,874 円)

道 路 改 良 (第 4 工 区)	令和3年度	令和4年度
	延 長 用 地 補 償 建物等	— 280.23㎡

[指 標]

指 標 名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第4工区)
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和2年度～6年度）

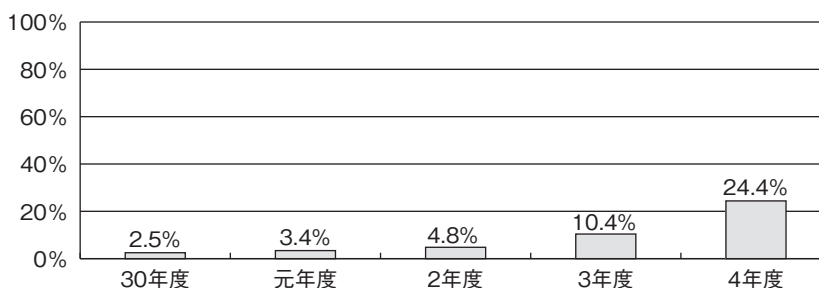


(2) 明海町・老津町 28 号線整備事業費 394,695,712 円
 (国庫補助事業 382,726,000 円 市単独事業 11,969,712 円)

道 路 改 良	令和 3 年度	令和 4 年度
	詳細設計 延 長 194m 用 地 1,567.80㎡ 補 償 工作物等	—

[指 標]

指 標 名：明海町・老津町28号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～）

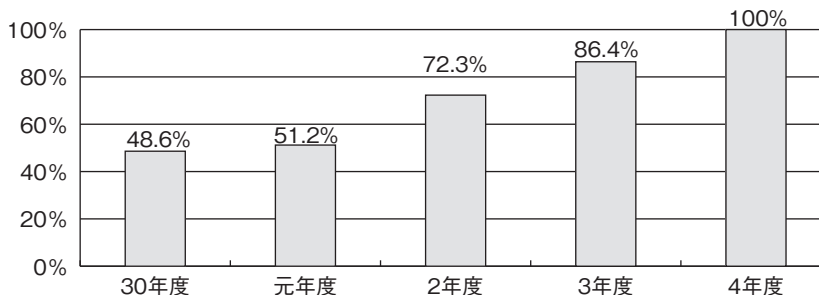


(3) 一色町・王ヶ崎町 1 号線整備事業費 36,683,900 円
 (国庫補助事業 33,900,000 円 市単独事業 2,783,900 円)

道 路 改 良	令和 3 年度	令和 4 年度
	延 長 230m	延 長 129m

[指 標]

指 標 名：一色町・王ヶ崎町1号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成29年度～令和4年度）



3 都市計画道路整備事業費 86,689,413 円（道路建設課）

[総括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、弥生町線の用地取得とともに、道路改良工事を進めた。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

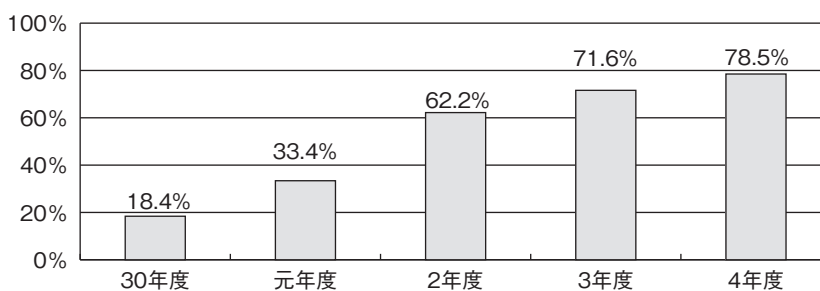
[実績及び成果]

- (1) 弥生町線整備事業費 86,689,413 円
 (国庫補助事業 78,256,365 円 市単独事業 8,433,048 円)

道 路 改 良	令和 3 年度	令和 4 年度
	延 長 131m 用 地 1,048.07㎡ 補 償 建物等	延 長 174m 用 地 330.70㎡ 補 償 建物等

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～令和6年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 交通環境保全費 <交通環境の保全>	2,170,526,133	233,829,005	934,800,000	101,738,042	900,159,086

1 自由連絡通路等管理事業費 210,865,004 円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が安全かつ快適に利用できるよう自由連絡通路、ペDESTリアンデッキなどを維持管理した。また、施設の長寿命化計画に基づき、ペDESTリアンデッキの防水工事を実施したほか、ペDESTリアンデッキ及び駅前地下道等の定期点検を実施し、施設の長寿命化計画の見直しも行った。今後も施設の予防保全により、安心して利用できる快適な環境を維持していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 194,318,334 円

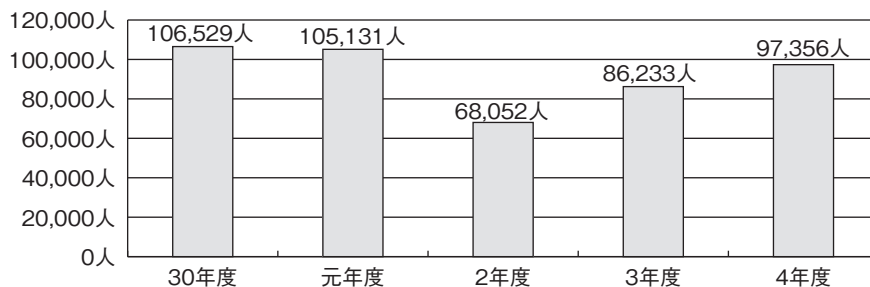
1日当たりの利用者数	令和3年度	令和4年度	比較
		81,863人	92,551人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,546,670 円

1日当たりの利用者数	令和3年度	令和4年度	比較
		4,370人	4,805人

[指標]

指標名：豊橋駅・二川駅1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数/日数



2 自転車等駐車場管理運営事業費 106,180,342 円 (土木管理課)

[総括]

自転車等の駐車スペースを提供することにより、豊橋駅及び二川駅周辺の放置自転車等を防止し、安全かつ円滑な交通環境を確保した。指定管理者の提案事業により、場内照明の段階的なLED化を行ったほか、施設の長寿命化計画に基づき、豊橋駅東口地下エリア(北ゾーン)の天井剥落防止工事、豊橋駅東口地下エリア及び西口地下エリアの電気設備修繕等を行うなど、安全安心な施設づくりを行った。今後も、進学などを機に駅を利用する人に向けた定期利用の呼び掛けを継続し、利用者の確保に努めるほか、施設の予防保全により、安心して利用できる快適な環境を維持していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 66,297,137 円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 4,200 台

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		2,407台	2,417台	0.4%
自 転 車	定 期	1,959	1,992	1.7
	一 時	312	289	△ 7.4
ミニバイク	定 期	105	102	△ 2.9
	一 時	31	34	9.7

(イ) 自動二輪車（城海津エリア） 収容台数 14 台

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		10台	8台	△20.0%
自 動 二 輪 車	定 期	1	1	0.0
	一 時	9	7	△22.2

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 26,321,559 円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 1,300 台

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		859台	889台	3.5%
自 転 車	定 期	700	710	1.4
	一 時	115	128	11.3
ミニバイク	定 期	38	44	15.8
	一 時	6	7	16.7

(イ) 自転車・ミニバイク（白河エリア） 収容台数 419 台

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		253台	263台	4.0%
自 転 車	定 期	93	98	5.4
	一 時	64	68	6.3
ミニバイク	定 期	26	25	△ 3.8
	一 時	13	14	7.7
自動二輪車 (原付2種含む)	定 期	43	42	△ 2.3
	一 時	14	16	14.3

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 13,561,646 円

(ア) 自転車・ミニバイク（西エリア） 収容台数 370 台

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		340台	316台	△ 7.1%
自 転 車	定 期	259	241	△ 6.9
	一 時	37	40	8.1
ミニバイク	定 期	34	27	△20.6
	一 時	9	8	△11.1

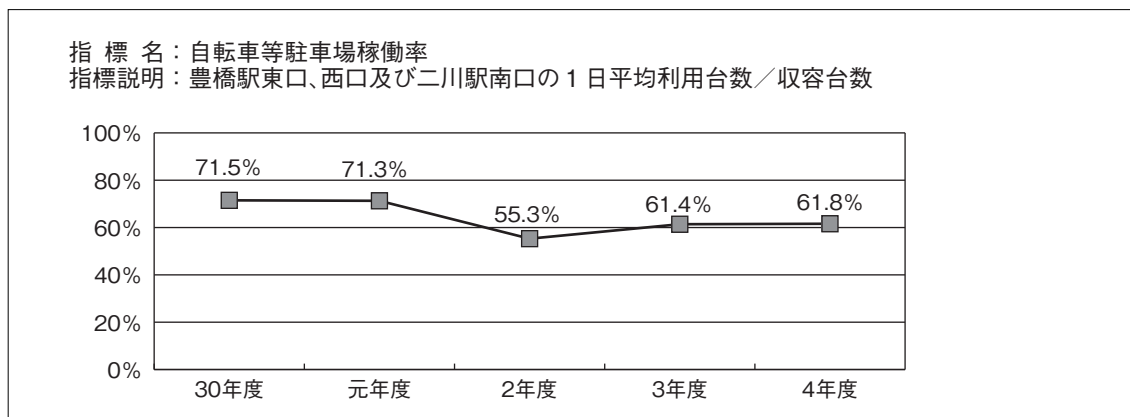
(イ) 自転車（東エリア） 収容台数 45 台

1 日 平 均 利 用 台 数	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	26台	29台	11.5%

(ウ) 自動車 収容台数 10 台

1 日 平 均 利 用 台 数	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	5台	7台	40.0%

[指 標]



3 道路施設等維持管理事業費 387,345,058 円（道路維持課）

[総 括]

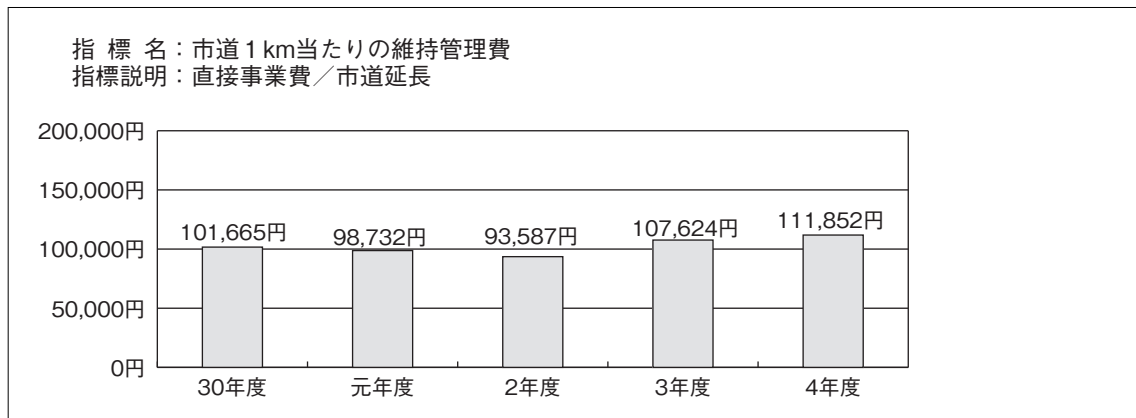
生活道路として通行に支障のないように、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行った。今後も修繕等の迅速な対応に努めるとともに、老朽化が進む道路ストックについては道路分野別施設計画に基づき維持修繕を行い、道路の適正な維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 387,345,058 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
道 路 清 掃	81路線 延長 165.0km	63路線 延長 144.0km
道 路 側 溝 清 掃	47か所 〃 4,429m	55か所 〃 3,870m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
花田跨線橋擁壁補強	延長 40.67m	延長 39.47m

[指 標]



4 道路等維持改良事業費 334,240,500 円 (道路維持課)

[総 括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

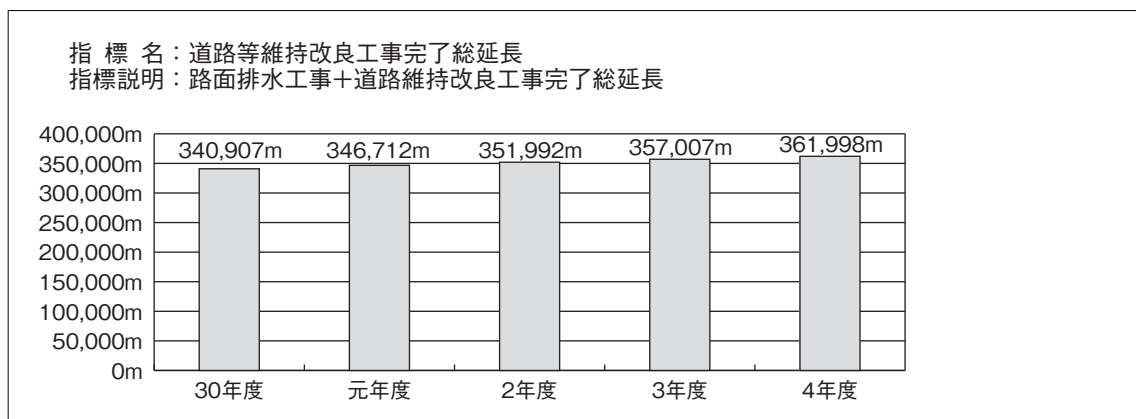
(1) 路面排水整備工事費 319,958,100 円

路 面 排 水	令和 3 年度		令和 4 年度	
	市内一円	延長 4,388m	市内一円	延長 4,445m
	市街地	〃 602 雨水浸透型側溝等設置	市街地	〃 500 雨水浸透型側溝等設置

(2) 道路維持改良工事費 14,282,400 円

道 路 維 持 改 良	令和 3 年度		令和 4 年度	
	1 件	延長 25m	1 件	延長 46m

[指 標]



5 道路舗装事業費

704,592,900 円（道路維持課）

[総括]

未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

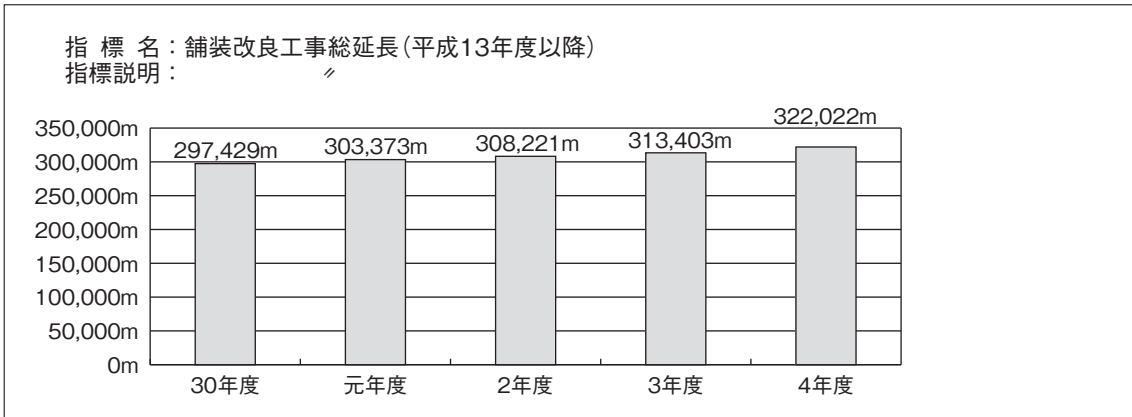
[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費

704,592,900 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
舗装新設	延長 269m	面積 645㎡	延長 449m	面積 894㎡
舗装改良	〃 5,182	〃 31,174	〃 8,619	〃 53,051
舗装修繕	〃 9,829		〃 10,261	
路面性状調査	—		〃 55,150	

[指標]



6 橋梁整備事業費

296,192,782 円（道路建設課）

[総括]

道路法で定められた定期点検を行うとともに、「豊橋市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を行った。今後も道路の安全安心を確保するため、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 橋梁長寿命化事業費

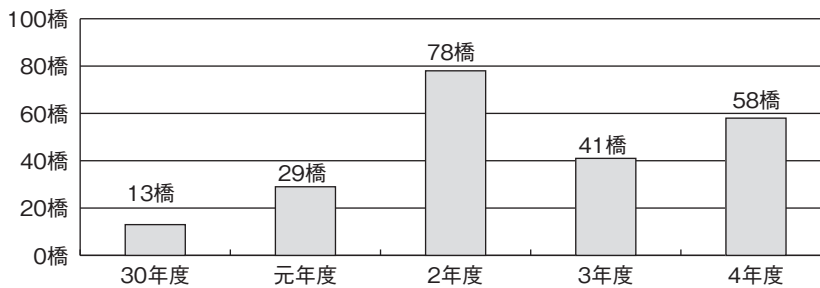
296,192,782 円

(国庫補助事業 240,849,455 円 市単独事業 55,343,327 円)

内 容	令和3年度		令和4年度	
計 画	豊橋市橋梁長寿命化修繕計画改定		—	
定期点検	桜橋始め	193橋	榎瀬橋始め	297橋
補修(国庫補助)	切反ヶ谷橋始め	41	鷺田橋始め	58
補修(市単独)	畑ヶ田7号橋始め	13	城下橋始め	11

[指 標]

指 標 名：構造物(橋梁)保全数
 指標説明：〃



7 道路環境整備事業費 6,893,700 円 (道路維持課)

[総 括]

歩道修繕を行い、段差を解消した。今後も歩きやすい歩道の整備に努める。

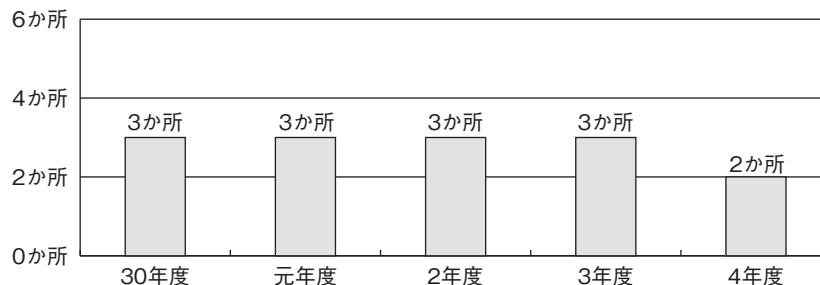
[実績及び成果]

(1) 人にやさしい道づくり事業費 6,893,700 円

歩 道 修 繕	令和 3 年度	令和 4 年度
	3 か所	2 か所

[指 標]

指 標 名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数
 指標説明：〃



8 狭あい道路拡幅整備促進事業費 6,174,357 円（土木管理課）

[総括]

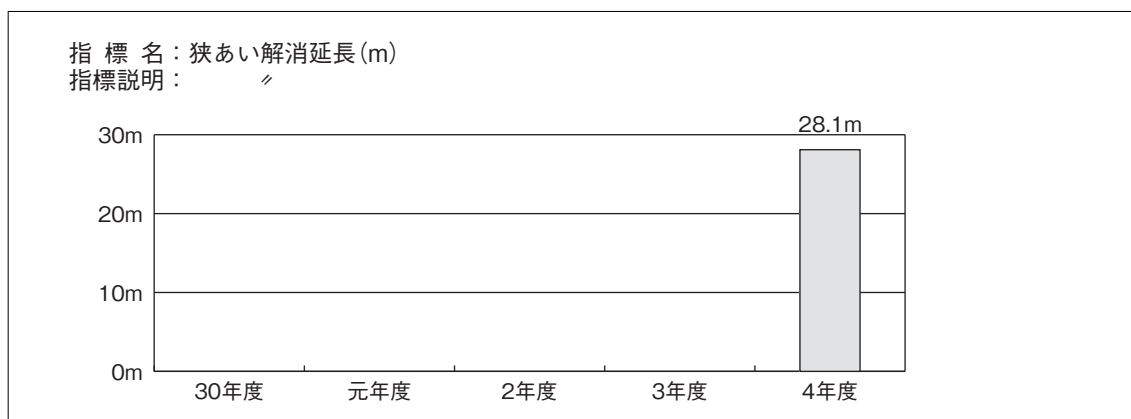
市内全域の幅員 4 m 未満の狭い道路のうち、建築基準法に定めるいわゆる「みなし道路」（第 42 条第 2 項）に面した道路用地寄附に対し、市が主体となり、測量、各種登記、道路拡幅工事を行った。今後も国の交付金を活用しながら、災害が発生しても緊急車両が目的地へ速やかに到着できる安全安心な交通環境整備に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 狭あい道路拡幅整備促進事業費 6,174,357 円

	令和 3 年度	令和 4 年度
狭あい解消延長	—	28.1m
拡幅工事延長	—	87.8
測量	—	2件
登記	—	2

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設の整備>	414,169,258	43,547,000	26,400,000	14,487,100	329,735,158

1 交通安全施設整備事業費 81,729,401 円 (道路建設課)

[総括]

石巻西川町・石巻中山町1号線は、土地評価及び物件調査を行った。飯村町・大岩町47号線ほかは、自転車道等の整備を完了した。自転車通行空間整備事業は、「豊橋市自転車活用推進計画」に定めた優先整備路線において、自転車通行空間の整備を行った。高師町・岩屋町22号線は、用地取得とともに、通学路における歩道の整備を進めた。今後も通学路などの安全を確保するため、道路状況等を考慮し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

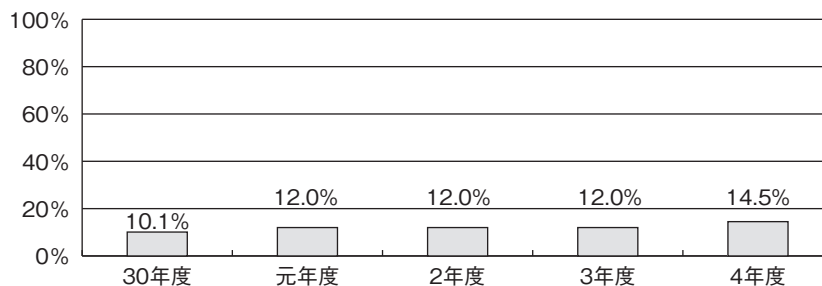
[実績及び成果]

- (1) 石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業費 11,348,700 円
(国庫補助事業 10,280,001 円 市単独事業 1,068,699 円)

自転車道等設置	令和3年度	令和4年度
	—	土地評価 物件調査

[指標]

指標名：石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成27年度～)



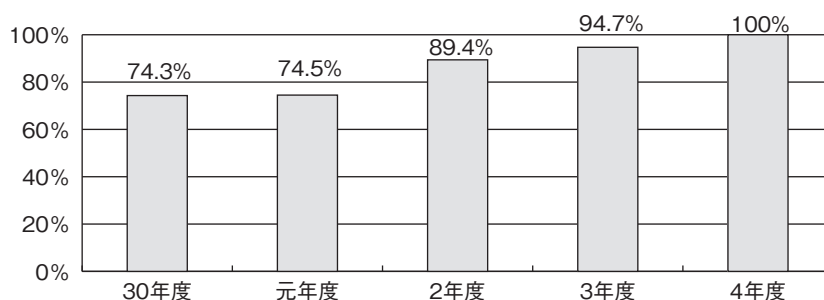
※総事業費の見直しにより再計算

- (2) 飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業費 24,603,700 円
(国庫補助事業 14,600,000 円 市単独事業 10,003,700 円)

自転車道等設置	令和3年度	令和4年度
	延長 — 用地 103.17㎡ 補償 建物等	延長 85m 用地 — 補償 —

[指 標]

指 標 名：飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～令和4年度）

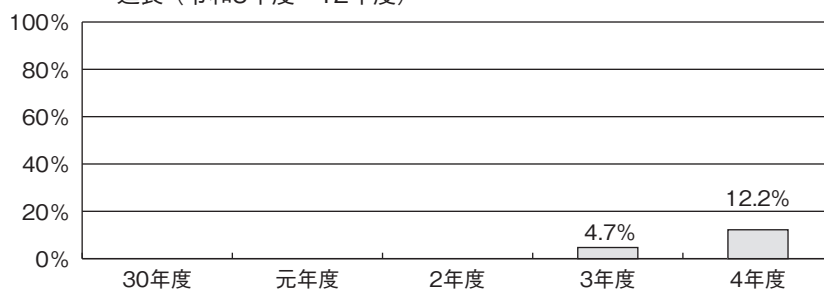


- (3) 自転車通行空間整備事業費 24,732,400 円
 (国庫補助事業 21,000,000 円 市単独事業 3,732,400 円)

内 容	令和3年度	令和4年度
調 査 設 計 路 面 標 示 等	自転車ネットワーク整備計画改定 延 長 993m	— 延 長 1,619m

[指 標]

指 標 名：自転車通行空間整備進捗率
 指標説明：整備済路線延長／令和12年度までに整備する自転車ネットワーク優先整備路線
 延長（令和3年度～12年度）

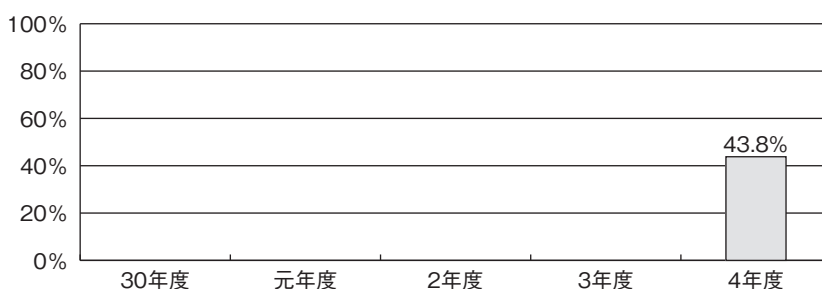


- (4) 高師町・岩屋町22号線歩道設置事業費 21,044,601 円
 (県費補助事業 19,800,000 円 市単独事業 1,244,601 円)

	令和3年度	令和4年度
道 路 改 良	—	延 長 86m 用 地 121.22㎡

[指 標]

指 標 名：高師町・岩屋町22号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和4年度～5年度）



2 交通安全施設維持改良事業費 332,439,857 円（道路維持課）

[総 括]

道路状況や地元要望等に対し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡などの設置・修繕により安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 交通安全施設改良事業費 199,086,800 円

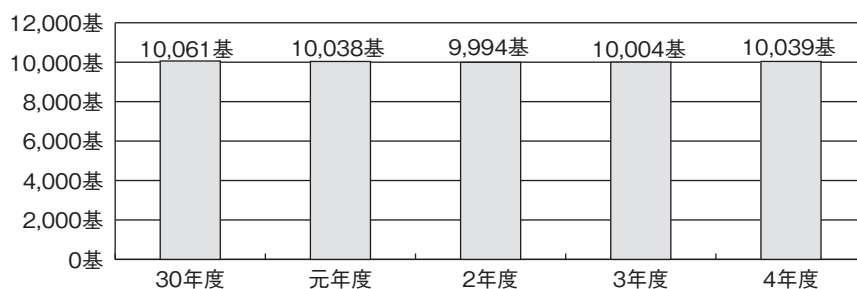
内 容	令和3年度	令和4年度
道路照明柱建替	71基	81基
交差点等安全カラー標示	10か所	10か所
防護柵設置	延長 333m	延長 271m
道路反射鏡設置	72基	71基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 56,209m	延長 54,235m
横断歩道橋修繕	橋脚修繕 1橋	薄層カラー舗装 1橋

(2) 交通安全施設維持事業費 133,353,057 円

道路付属物塗裝修繕	令和3年度	令和4年度
	7基	7基

[指 標]

指 標 名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	1,034,324,549	203,265,787	233,100,000	36,670,896	561,287,866
2目 水辺環境保全費 <親しまれる自然環境の保全>	358,632,677	0	99,200,000	0	259,432,677

1 河川水路等維持管理事業費 358,632,677円 (河川課)

[総括]

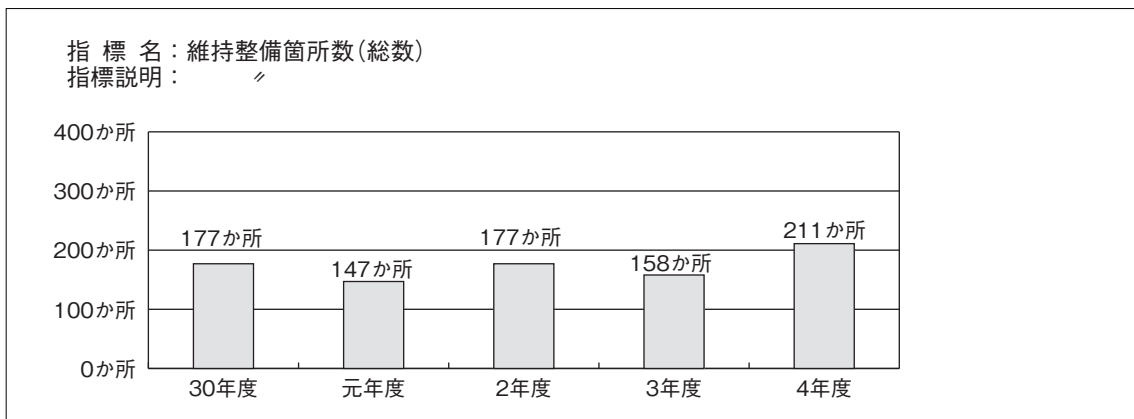
河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 維持整備事業費 358,632,677円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	補修	54か所		66か所
除草	70	41,816㎡	73	38,747㎡
浚渫	34	3,213㎡	72	7,575㎡

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水・土砂災害対策費 <治山・治水対策の充実>	510,369,395	203,265,787	133,900,000	28,923,024	144,280,584

1 河川施設等維持管理事業費 273,324,367円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 38,864,600円
- (2) 排水機場維持管理事業費 160,332,091円
- (3) 樋門等操作委託事業費 3,705,992円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 70,421,684円

2 河川水路等改良事業費 61,007,126円 (河川課)

[総括]

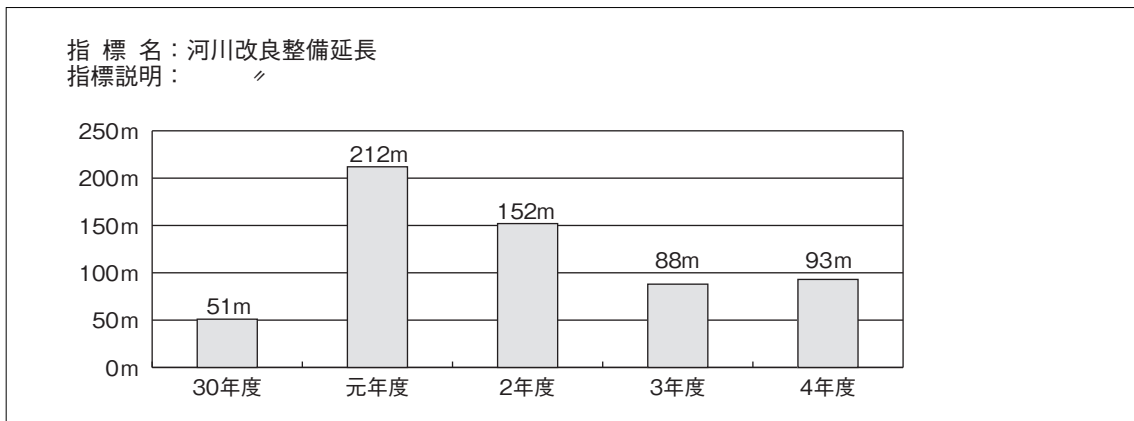
氾濫による被害を防止するため、流下能力を高めるとともに、老朽化した河川・水路の改良工事を行った。今後も改良事業の進捗を図る。

[実績及び成果]

- (1) 河川改良事業費 43,329,410円

河 川 改 良	令和3年度		令和4年度	
	工 事	延長	工 事	延長
		88m		93m

[指 標]

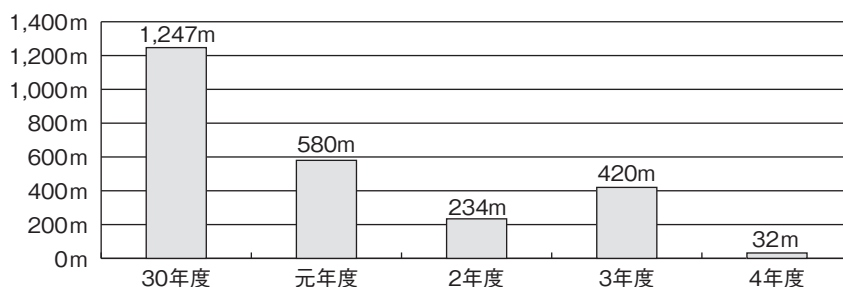


- (2) 水路改良事業費 8,391,543円

水 路 改 良	令和3年度		令和4年度	
	工 事	延長	工 事	延長
		420m		32m

[指 標]

指 標 名：水路改良整備延長
 指標説明： //



(3) 水路改良受託事業費 9,286,173 円

3 大雨浸水対策事業費 163,995,700 円 (河川課)

[総 括]

大雨や集中豪雨にともなう水路等の氾濫による浸水被害を防止するため、水路の改良や管きよの敷設などの工事を行った。今後も浸水対策事業の進捗を図る。

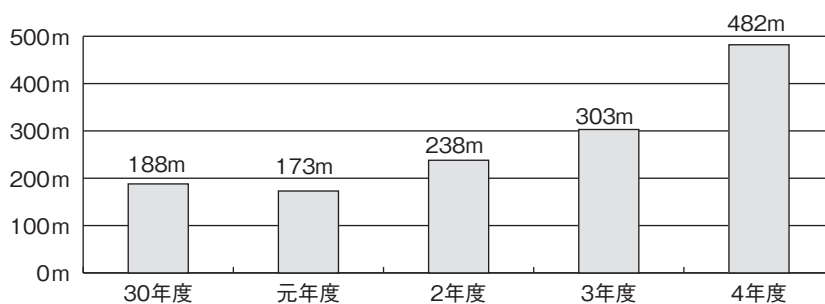
[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 163,995,700 円

浸 水 対 策	令和 3 年度	令和 4 年度
	工 事 延長 303m	工 事 延長 482m

[指 標]

指 標 名：大雨浸水対策整備延長
 指標説明： //



4 土砂災害対策事業費 4,639,202 円（河川課）

[総括]

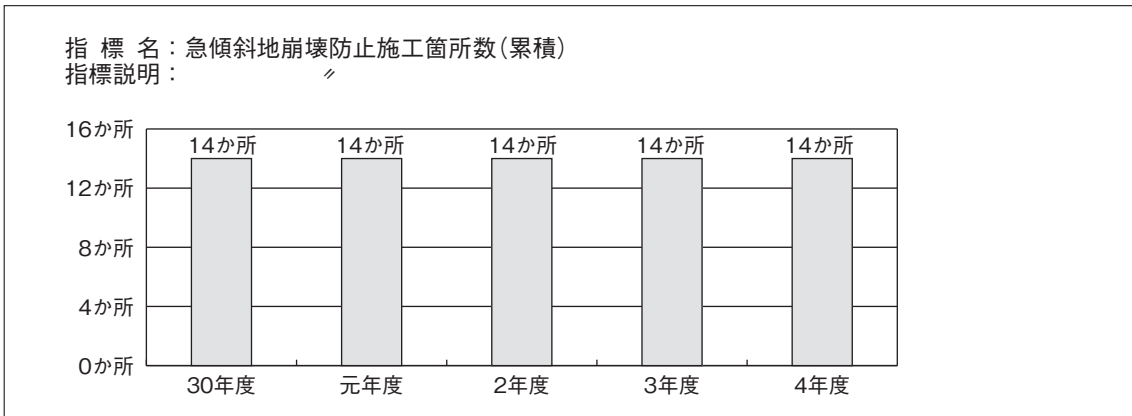
がけ崩れの危険のある区域として、愛知県が指定した急傾斜地崩壊危険区域について崩壊防止工事を実施した。今後も計画的な事業進捗に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 4,639,202 円

事業主体	区分 地区名	令和3年度		令和4年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	王ヶ崎町北欠	28,159,078円	2,815,907円	46,392,020円	4,639,202円

[指標]



5 洪水ハザードマップ作成事業費 7,403,000 円（河川課）

[総括]

洪水浸水想定区域図等に基づき、豊川流域、紙田川・境川のハザードマップを作成した。今後も洪水による被害軽減のため、情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 洪水ハザードマップ作成事業費 7,403,000 円

河川名	令和3年度	令和4年度
	梅田川（印刷） 佐奈川・音羽川	豊川流域（作成） 紙田川・境川（作成）

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,666,395,529	442,212,480	437,700,000	387,827,410	398,655,639
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	866,420	0	0	0	866,420

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 866,420円 (建築指導課)

[総 括]

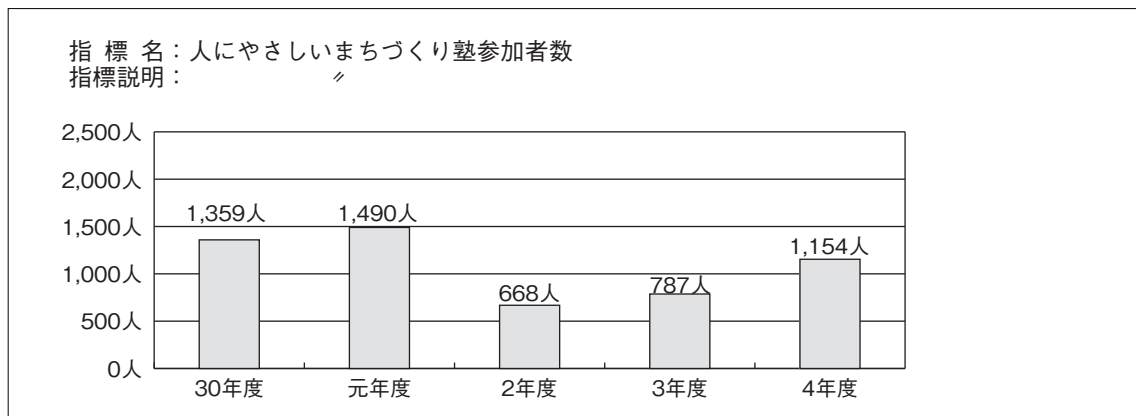
人にやさしいまちづくりを推進するため、ボランティアの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小
 学校、中学校、高等学校等で開催した。従来の開催形式にとらわれず講座を実施することで、「人にやさしいまち
 づくり塾」の開催回数及び参加者数が増加した。また、ボランティアの養成にもつながる「人にやさしいまちづく
 り啓発講座」を全3回で実施した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育
 成やバリアフリーの必要性の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 866,420円

啓 発 事 業 開 催 回 数	令和3年度	令和4年度	比 較
		19回	21回

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	1,225,426,602	427,080,000	437,700,000	290,341,843	70,304,759

1 住宅維持管理事業費 398,307,054 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅の効率的かつ効果的な維持管理を行うために、計画的な工事、修繕を行った。今後も住宅の環境整備を進め、修繕コストの縮減と入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 住宅管理事業費 334,852,844 円

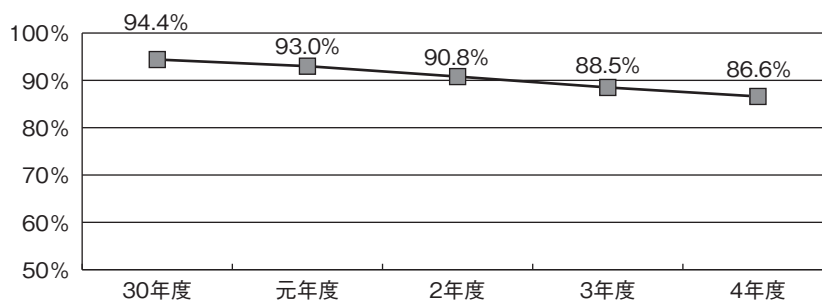
住宅管理戸数 (年度末)	令和3年度	令和4年度
		3,851戸

(2) 住宅維持補修事業費 63,454,210 円

工 事 内 容	令和3年度	令和4年度
屋 上 防 水	空池	中野
エ レ ベ ー タ ー 更 新	才ノ神	才ノ神
浴 室 改 修	才ノ神	才ノ神
取 り 壊 し	城山	—
遊 具 改 修	新多米	才ノ神、富本、多米、忠興、小鷹野
手 す り 設 置	—	空池

[指 標]

指 標 名：市営住宅入居率
 指標説明：延入居戸数 / (延管理戸数 - 延入居停止戸数)



2 公営住宅建設事業費

824,543,400 円（住宅課）

[総括]

西口住宅建替工事（第2期）がしゅん工し、既存入居者の移転を行うとともに、植栽工事を行った。今後も円滑な建替事業の推進に努める。

[実績及び成果]

(1) 西口住宅建替事業費

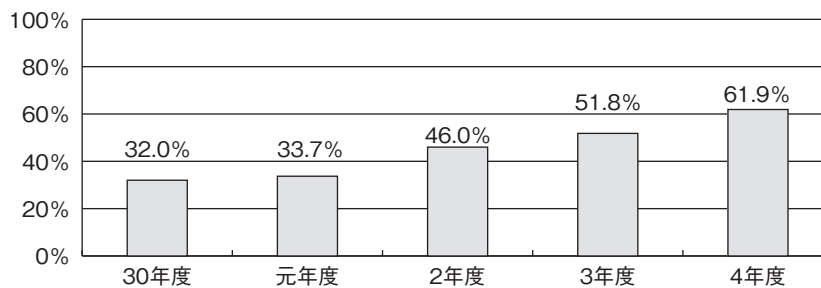
824,543,400 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	建設工事（第2期） 集会所建設工事	建設工事（第2期）しゅん工 植栽工事 移転補償

[指標]

指標名：西口住宅建替事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成26年度～令和9年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 ＜空家対策の推進＞	16,951,601	8,399,000	0	0	8,552,601

1 空家対策推進事業費 16,951,601円 (建築物安全推進課)

[総括]

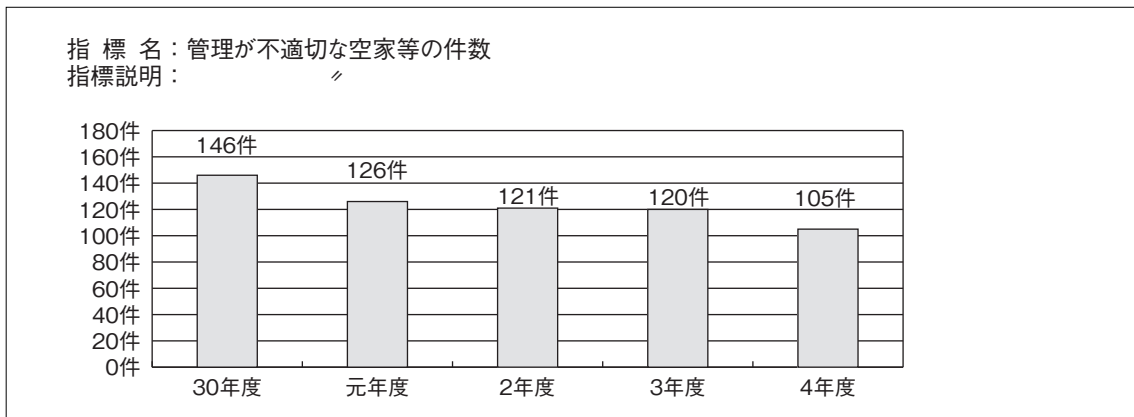
「豊橋市空家等対策計画」に基づき、管理が不適切な空家の所有者に対する助言を行うとともに、空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、空家解体促進費補助金により、倒壊危険空家及び老朽空家の解体を促進した。今後も、管理が不適切な空家の所有者への助言や倒壊危険空家等の除却支援を行うとともに、空家等対策に関する業務等の提供ができる事業者を募る協力事業者登録制度等、官民連携による新たな手法も用いて市民の生活環境の保全及び地域活力の維持・向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 16,951,601円

区 分	令和3年度	令和4年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	3件	2件	45件
空家利活用改修費補助金補助件数	0	1	8
空家解体促進費補助金補助件数	55	53	251

[指 標]



※件数は、各年度末現在。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	9,446,780	0	0	0	9,446,780

1 建築指導事務費 9,446,780円 (建築指導課)

[総括]

建築基準法に基づく申請のうち、「確認申請」は民間確認検査機関への申請が定着したことにより、令和3年度と同等の件数となった。一方、より性能が高いものとして認定される長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」及び都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく「認定申請」は、確認申請の全体件数が減ったため減少した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

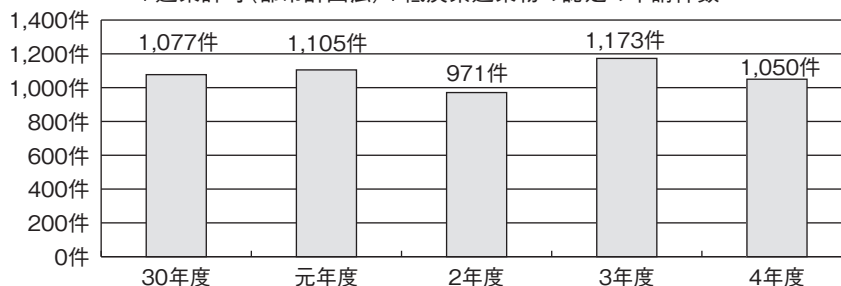
(1) 建築指導事務費 9,446,780円

種 別	区 分	件 数		比 較
		令和3年度	令和4年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	7件	9件	28.6%
	計 画 通 知	19	21	10.5
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	14	10	△28.6
	仮使用認定申請	0	1	皆増
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	833	741	△11.0
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	18	10	△44.4
	建 築 許 可 申 請	228	229	0.4
都市の低炭素化の促進に関する法律	認 定 申 請	54	29	△46.3

[指 標]

指 標 名：建築確認申請等件数

指標説明：建築確認+計画通知+建築許可(建築基準法)+仮使用認定+長期優良住宅の認定+開発許可+建築許可(都市計画法)+低炭素建築物の認定の申請件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	99,143,611	143,000	0	906,582	98,094,029
1目 港湾振興対策費 <ものづくり産業を支える港づくり>	73,915,776	143,000	0	27,510	73,745,266

1 港湾関連対策事業費 24,534,106円 (みなと振興課)

[総括]

三河港振興会が主体となり、インフラ整備要望や三河港の利用促進に向けた企業ヒアリング活動を行うとともに、ものづくり博2022 in 東三河への出展、さらには3年ぶりに三河港ポートセミナーを開催し三河港のPR及び利用促進を呼びかけた。また、三河港を利用する企業に対し助成金制度を実施し、完成自動車及びコンテナ取扱量の維持・増加を図った。

令和4年の完成輸入自動車の取扱量は平成5年以来30年連続で日本一を記録した。コンテナ貨物の取扱量については、引き続き世界的な物流の混乱や海上運賃の高騰の影響に加え、中国・ベトナム航路の抜港などの影響により更に低下した。

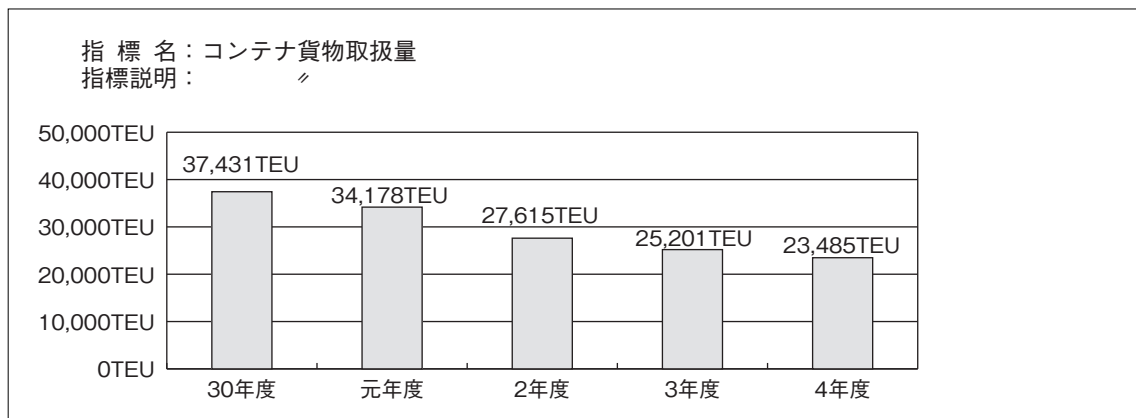
今後は、コンテナ貨物取扱量の増加に向け、助成制度や定期航路のさらなる周知、ポートセールス活動を強化するとともに、総合的な物流機能を強化するため、国や県に対して積極的な要望活動を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,724,106円
- (2) 三河港振興会負担金 18,810,000円

内 容	令和3年度	令和4年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	6,000,000	8,000,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	6,320,000	10,210,000

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 みなとにぎわい創出費 <港のにぎわいの創出>	25,227,835	0	0	879,072	24,348,763

1 みなとにぎわい創出事業費 238,550円 (みなと振興課)

[総括]

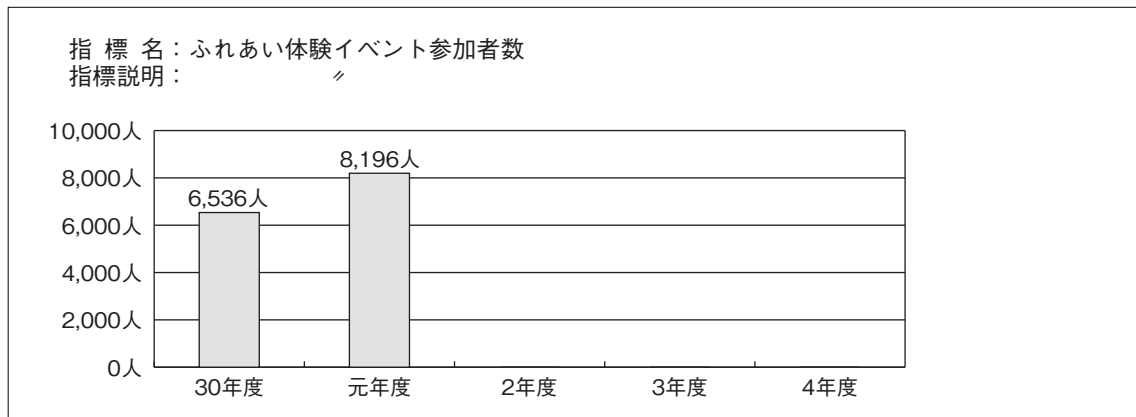
港の重要性や必要性を理解してもらい、港にふれあう機会を提供する場として、カメラリアを拠点に様々なイベントを実施している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全てのイベントを中止した。今後は、アフターコロナにおいて、インポーターや臨海部企業と再開に向けての調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 238,550円

内 容	令和3年度	令和4年度
イベント開催数	0回	0回
イベント参加者数	0人	0人

[指標]



2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 19,589,285円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。

令和4年度も、基本的な感染防止対策や展示物の一部撤去を継続しつつ、小学校の社会科見学の受け入れなどを行った。今後も、適切なサービスの提供や展示内容の刷新を図り、利用者に親しまれる施設にしていく。

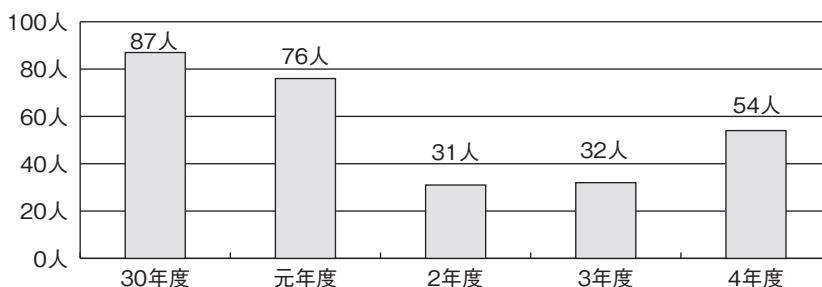
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 19,589,285円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	358日	358日	0.0%
利 用 者 数	延 11,457人	延 19,473人	70.0

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 港イベント事業費 5,400,000 円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成した。今後も、港湾関連団体やインポーターの協力を得ながら港の重要性について理解を深める場を提供していく。

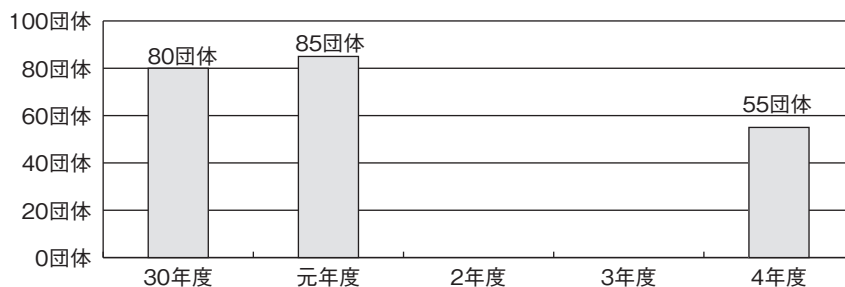
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 5,400,000 円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
	0円	5,400,000円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	4,277,229,246	1,252,891,540	479,100,000	56,396,927	2,488,840,779
2目 公園・緑地づくり費 <地域に根差した公園・緑地づくり>	1,021,095,362	203,686,000	187,700,000	22,247,531	607,461,831

1 公園施設維持管理事業費 692,040,555 円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内 548 か所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。また、損傷や劣化の見られる吉田城址の石垣の修復を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 418,317,776 円

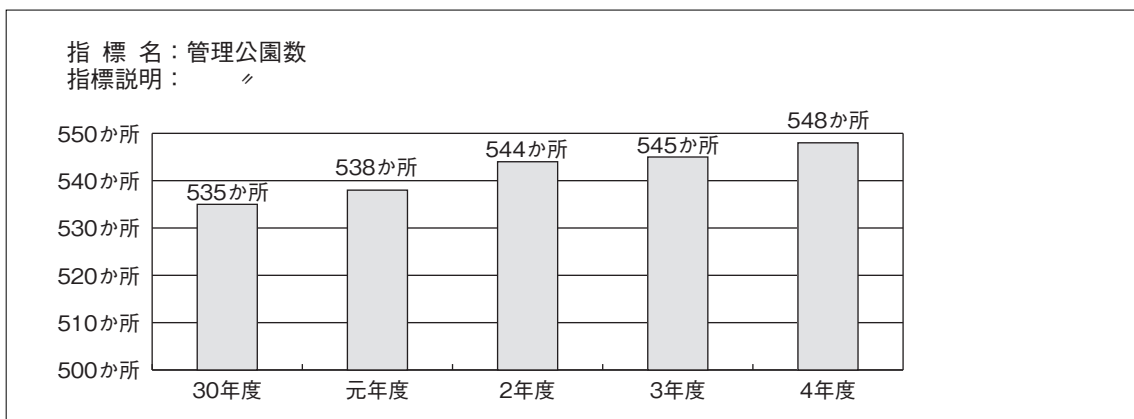
除草清掃・施設管理委託等	令和3年度	令和4年度
		高師緑地始め545か所

(2) 公園修繕事業費 273,722,779 円

(国庫補助事業 193,770,000 円 市単独事業 79,952,779 円)

内 容	令和3年度	令和4年度
照明灯修繕	豊橋公園ほか	豊橋公園ほか
遊具補修	若宮第3ちびっこ広場ほか	高洲町ちびっこ広場ほか
諸施設及び塗装修繕等	向山緑地ほか	岩屋緑地ほか
外柵修繕	坪ノ谷公園ほか	三本木中央公園ほか
照明灯更新	万場緑地ほか	緑ヶ丘公園ほか
遊具更新	内田公園ほか	大脇公園ほか

[指標]



2 公園緑地整備事業費

205,368,900 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、汐田公園、松島公園の整備を行った。また、三ツ山公園の再整備を進めた。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街区公園等整備事業費

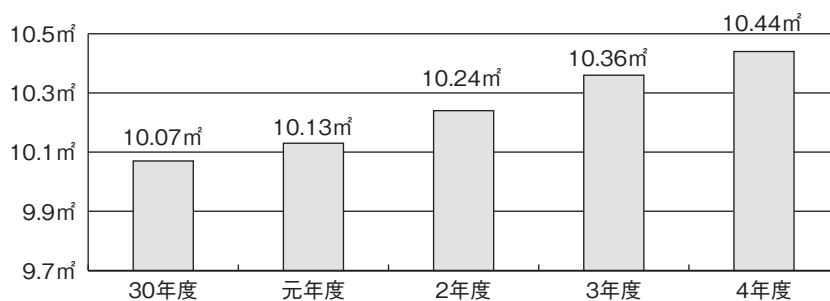
205,368,900 円

(国庫補助事業 203,240,000 円 市単独事業 2,128,900 円)

公園名	令和3年度	令和4年度
	汐田公園ほか 遊具広場整備等	松島公園ほか 遊具広場整備等

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積
 指標説明：都市公園面積／人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動推進費 <緑化・美化活動の推進>	398,347,256	30,423,700	0	7,918,000	360,005,556

1 緑化維持管理事業費 352,392,013 円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も、街路樹再生指針に基づき、街路樹の適正化を図るとともに、市民の安全に配慮した街路樹及び公園樹の維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 205,720,291 円

路 線 名	令和3年度	令和4年度
		菰口町・旭町1号線始め280路線

(2) 公園樹等維持管理事業費 134,195,353 円

公 園 名	令和3年度	令和4年度
		牛川遊歩公園ほか

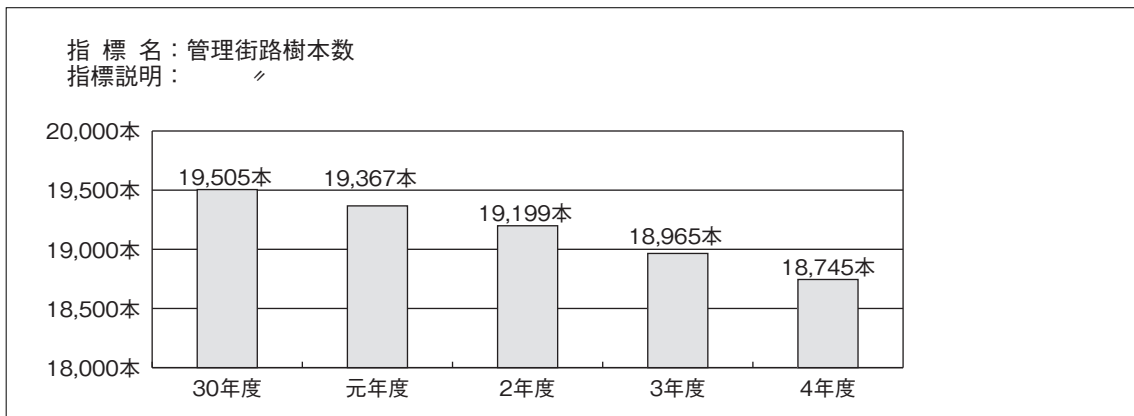
(3) 街路樹等維持補修事業費 9,016,700 円

路 線 名	令和3年度	令和4年度
		植田町・大崎町1号線ほか

(4) 軌道緑化維持管理事業費 3,459,669 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		維持管理面積 658㎡

[指標]



2 緑化推進事業費 20,799,951 円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア、桜守講座等を開催するとともに、市民に愛着のある緑化を推進するため、街路樹等の植え替えを行い再生を図った。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等緑化推進事業費 17,410,001 円

(県費補助事業 17,410,001 円)

内 容	令和3年度		令和4年度	
			牛川通41号線	
			高木植栽 ヤマボウシ	13本
			高木植栽 ハナミズキ	2
		飯村北46号線	飯村北9号線	
	高木植栽 ヤマボウシ	37本	高木植栽 カワヅザクラ	14
			飯村南1号線	
			高木植栽 カワヅザクラ	15

(2) 公園樹等緑化推進事業費 809,950 円

(県費補助事業 797,710 円 市単独事業 12,240 円)

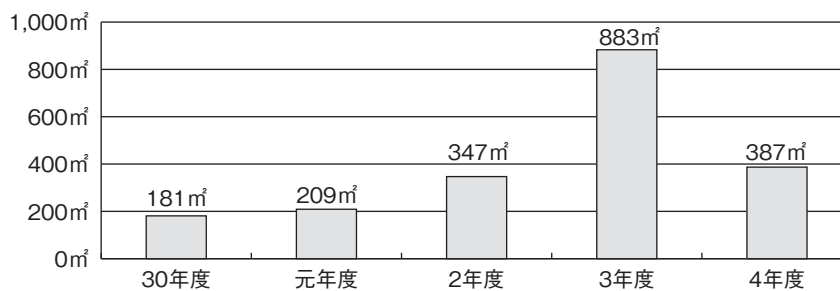
内 容	令和3年度		令和4年度	
			岩屋緑地	
	高木植栽 サクラ	28本	向山緑地	
			高木植栽 サクラ	5本
			向山緑地	
	高木植栽 サクラ	5		

(3) 民有地緑化推進事業補助金 2,580,000 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
		0件	2件	287.7㎡

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積
 指標説明：〃



3 公園等維持管理事業費

23,833,030 円（公園緑地課）

[総括]

市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行った。緑のアダプト制度の登録数や公園管理自治会数も順調に伸びており、今後も市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

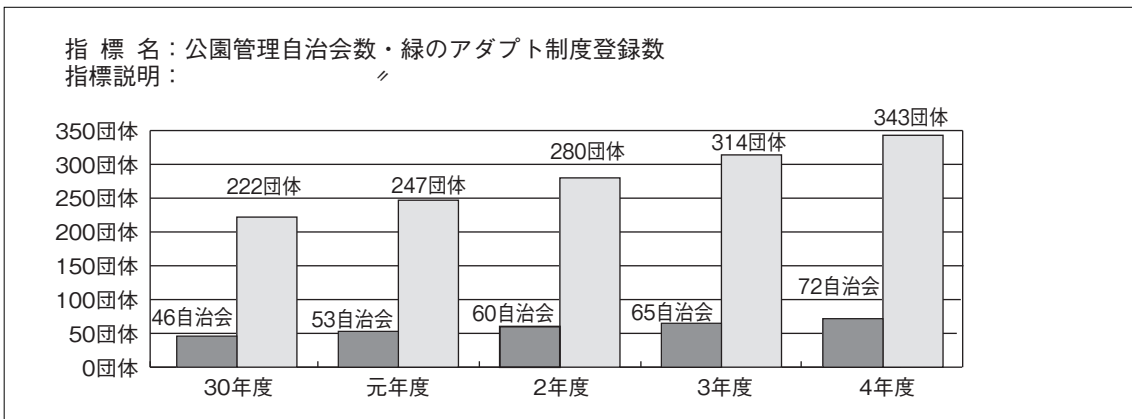
[実績及び成果]

(1) 公園等美化活動事業費

23,833,030 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
公園管理自治会数	65自治会	72自治会
緑のアダプト制度登録数	314団体	343団体

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 まとまりのある都市構造形成費 <まとまりのあるまちの形成>	87,346,699	975,000	0	0	86,371,699

1 まとまりのある都市構造推進事業費 87,346,699円 (都市計画課)

[総括]

都市再生特別措置法の改正を受け、「豊橋市立地適正化計画」において防災指針の策定を進めるとともに、同計画に基づき、歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金等の居住誘導策を行った。また、市街化調整区域内既存集落の地域コミュニティの維持に向けた現状調査及び分析を行った。

[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 19,891,543円

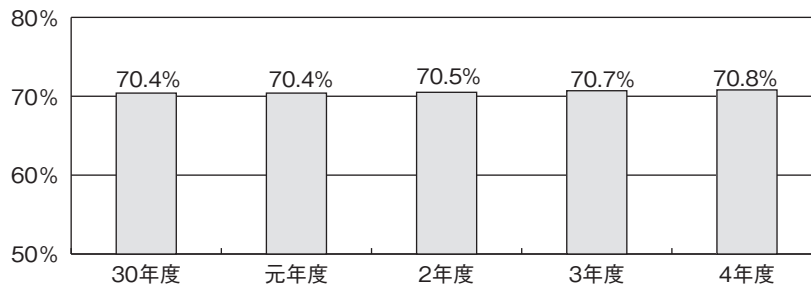
内 容	令和3年度		令和4年度	
	豊橋市立地適正化計画の推進 豊橋市立地適正化計画改定業務			豊橋市立地適正化計画の推進 豊橋市立地適正化計画改定業務 市街化調整区域内既存集落の現状調査・分析

(2) 歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金 54,841,000円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		171件	28,026,000円	395件

[指 標]

指 標 名：全人口に占める居住誘導区域内人口の割合
 指標説明：
 /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まちなか整備費 <魅力あるまちなかの整備>	1,260,747,437	902,579,000	291,400,000	1,250,474	65,517,963

1 再開発推進事業費 318,290 円 (まちなか活性課)

[総括]

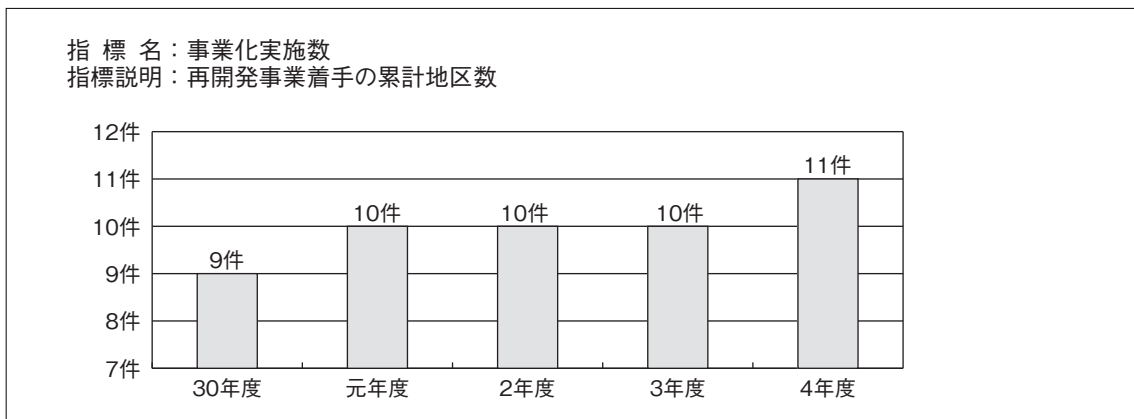
駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業、豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業及び豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業において、事業者に対する指導・助言を行った。また、広小路一丁目北地区において、再開発を推進する準備組合に助言などを行った。今後もこれら事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 318,290 円

事業費	令和3年度	令和4年度
		301,750円

[指標]



2 市街地再開発等事業費 1,241,400,000 円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業、豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業及び豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業の事業者に対して支援等を行った。また、再開発事業の検討段階である広小路一丁目北地区の再開発準備組合に対して支援等を行った。

[実績及び成果]

(1) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費 735,400,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		東棟建築工事、西街区解体工事等

(2) 豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業費 451,800,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		調査設計、建築工事

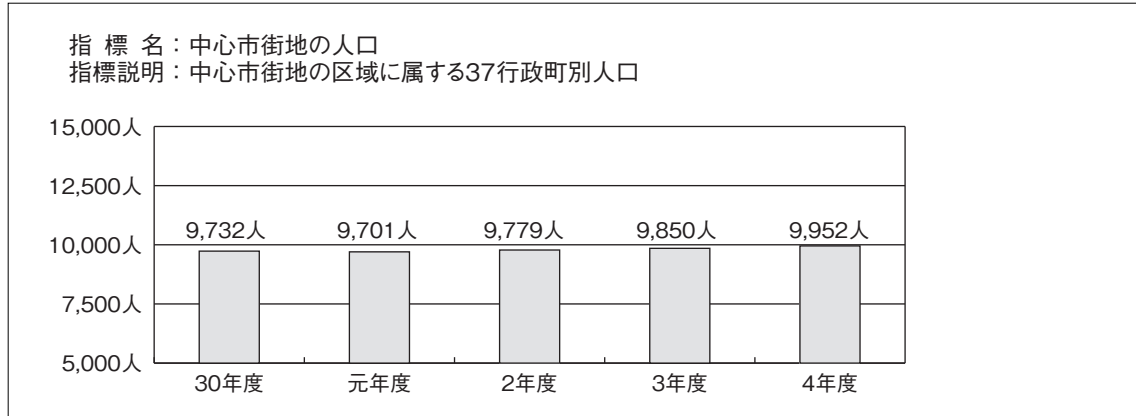
(3) 豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業費 47,600,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		—

(4) 豊橋駅周辺地区再開発推進事業費 6,600,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	豊橋広小路一丁目北地区 コーディネート委託業務	

[指 標]



3 中心市街地環境整備事業費 105,383 円（まちなか活性課）

[総 括]

豊橋駅西口駅前地区において、駅前広場の再整備に向けた関係者へのヒアリング調査や事業手法の調査検討などを行った。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 105,383 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	豊橋駅西口駅前地区活性化に向けた関係者との調整等	

4 中心市街地活性化推進事務費 1,507,687 円（まちなか活性課）

[総 括]

「中心市街地活性化基本計画」の事業効果を継続的に確認するために通行量調査を実施した。今後も、中心市街地の活性化に向けた取組みを着実に推進していく。

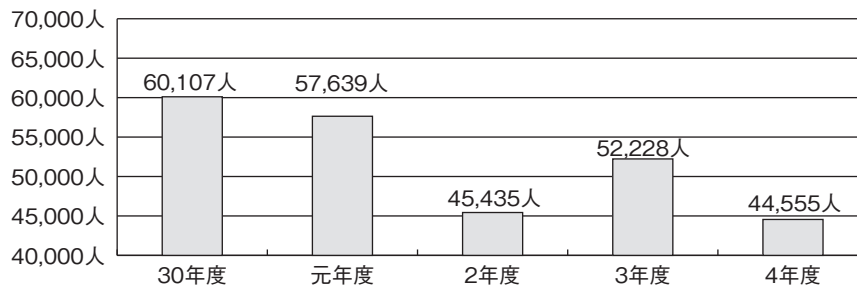
[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,507,687 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	中心市街地通行量調査	

[指 標]

指 標 名：中心市街地の休日歩行者通行量
 指標説明：中心市街地内7地点の休日歩行者通行者数の合計



5 まちなか広場管理事業費 5,288,494 円 (まちなか活性課)

[総 括]

まちなか広場を快適に利用し、滞在することができる空間となるよう維持管理を実施した。

[実績及び成果]

(1) まちなか広場管理事業費 5,288,494 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	植栽管理・清掃委託等	植栽管理・清掃委託等

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 まちづくり景観形成費 <地域らしくこちよい景観の形成>	4,574,428	0	0	984,655	3,589,773

1 まちづくり景観推進事業費 4,574,428円 (都市計画課)

[総括]

景観法に基づく「豊橋市景観計画」に沿って、地域の景観に調和した建築行為等の規制・誘導を行った。また、二川宿景観形成地区において、景観に配慮した建築行為に対する助成を行い、歴史的なまち並み景観形成を推進した。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 1,173,773円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	景観計画に沿った規制・誘導 景観重要建造物等の指定 2件			景観計画に沿った規制・誘導 景観重要建造物の指定 3件

(2) まちづくり景観形成助成金 2,416,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 2,416,000円

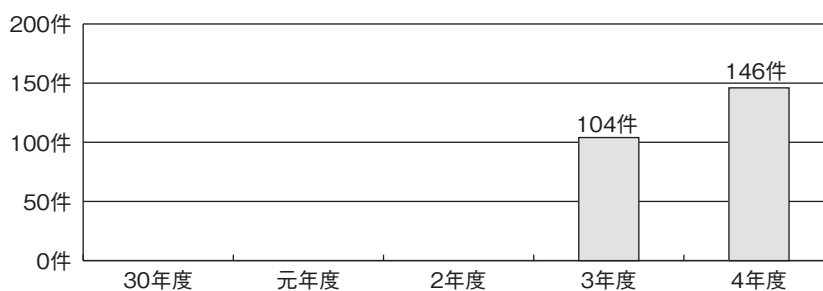
助 成 金	令和3年度		令和4年度	
		2件	308,000円	2件

(3) 屋外広告物対策事業費 984,655円

区 分	令和3年度	令和4年度
許 可 件 数	1,965件	2,277件
違反広告物撤去件数	48	42

[指 標]

指 標 名：良好な景観形成の助言件数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 公共交通維持活性化費 <公共交通の維持と活性化>	267,875,857	86,760,000	0	5,095,807	176,020,050

1 公共交通活性化事業費 4,103,383 円 (都市交通課)

[総括]

平成29年3月に制定した「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」に基づき、「豊橋市都市交通計画2016-2025」の基本理念である「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、MaaSアプリとタクシー配車アプリの連携によるMaaS環境の整備や駅前輪場の整備に対し助成したほか、乗合事業運転士確保支援事業を行った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、誰もが安心・安全で快適に移動できる環境を整え、公共交通の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 公共交通活性化事業費 4,103,383 円

(ア) サイクル&ライド駐輪場整備事業費補助金 740,990 円

駐 輪 台 数	令和3年度	令和4年度
		60台

(イ) ユニバーサルデザインタクシー導入補助金 300,000 円

導 入 台 数	令和3年度	令和4年度
		5台

(ウ) 路線バス利用促進事業費 54,600 円

バスの乗り方講座を 開催した路線数	令和3年度	令和4年度
		1路線

(エ) モビリティマネジメント推進費等 2,590,293 円

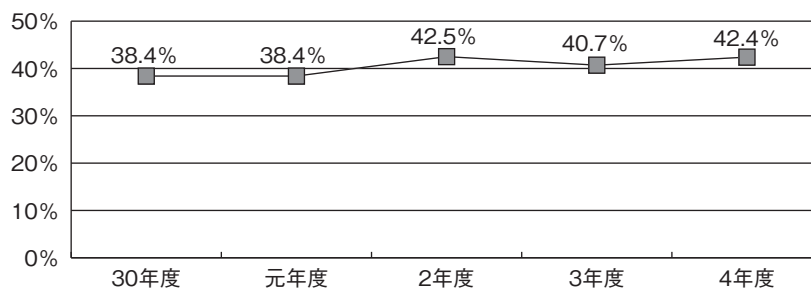
[路線バス等運転士確保支援事業]

内 容	令和3年度	令和4年度
説明会参加者数	8人	9人
採用者数	3	1

[指 標]

指 標 名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



2 公共交通対策事業費 260,327,714 円（都市交通課）

[総括]

利用しやすく持続可能な公共交通とするため、交通施設の改修に必要な支援を行った。また、日常の移動手段を確保するため、地域住民が主体となりコミュニティバス（「地域生活」バス・タクシー）の本格運行事業を5地区で実施した。このほか、交通結節点への新たな移動手段を検討するため、県境をまたぐ企業シャトルバスを活用した企業シャトル BaaS 社会実験を実施した。今後もコロナ禍以降の新しい生活様式に対応した公共交通の安全・安心な運行の維持確保を支援するとともに、利用を促す取組みを実施していく。

[実績及び成果]

(1) 公共交通対策事業費 260,327,714 円

(ア) 路面電車軌道敷整備事業費補助金 12,976,716 円

実施箇所	令和3年度	令和4年度
	単路部（東田～競輪場前間）	

(イ) バス運行対策費補助金 87,000,000 円

補助路線数	令和3年度	令和4年度
	13路線	13路線

(ウ) 企業シャトル BaaS 社会実験事業負担金 624,000 円

企業シャトルバスの 延べ利用者数 （豊橋市）	令和3年度	令和4年度
	—	147人

(エ) 「地域生活」バス・タクシー運営事業補助金 32,319,442 円

本格運行地区	令和3年度	令和4年度
	東部地区、北部地区、南部地区、 前芝地区、川北地区	東部地区、北部地区、南部地区、 前芝地区、川北地区

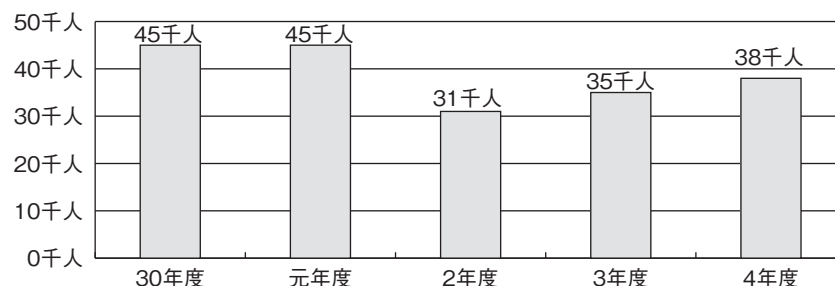
(オ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 915,375 円

運営団体数	令和3年度	令和4年度
	7団体	7団体

(カ) 公共交通利用促進費等 912,490 円

[指標]

指標名：公共交通の1日当たりの利用者数
 指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 自転車活用推進費 ＜自転車活用の推進＞	1,555,122	465,840	0	0	1,089,282

1 自転車活用推進事業費 1,555,122 円（都市交通課）

[総括]

自転車利用者の誘客による地域振興や観光振興を図るため、自転車のイメージアップ及び日常の自転車利用に繋げるための取組みとして、デジタルサイクリングマップを作成するとともに、それを活用したサイクルラリーイベントを実施した。今後も市民、企業、学校、各種関係団体、国、県などとの連携・協働のもと、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 自転車活用推進事業費 1,555,122 円

(ア) 渥美線サイクルトレインPR事業 92,400 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	ステッカー等添付 10駅、10編成	

(イ) サイクルツーリズムの推進 1,373,387 円

イベント参加人数	令和3年度	令和4年度
	—	37人（2日間）

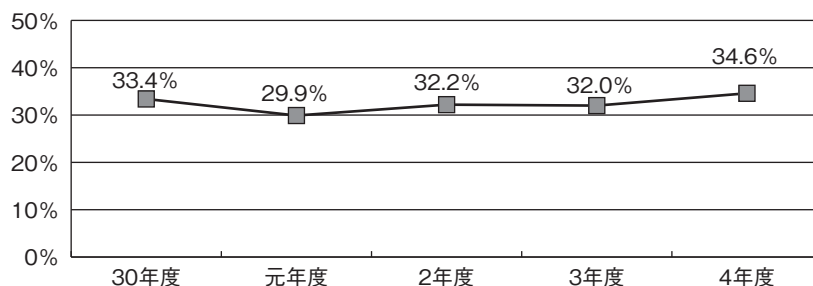
(ウ) 自転車活用推進費 89,335 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	自転車活用推進委員会等の開催	

[指 標]

指 標 名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区画整理費	1,138,892,431	225,093,000	420,600,000	165,560,172	327,639,259
2目 市街地整備費 <まとまりのあるまちの形成>	994,586,966	225,093,000	420,600,000	135,527,966	213,366,000

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 144,359,966 円 (区画整理課)

[総括]

令和4年度をもって全ての道路築造、宅地造成及び建物等の移転・移設補償が完了した。今後も地権者の理解を得ながら、事業の完了に向け換地計画を策定し、事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 144,359,966 円
(国庫補助事業 37,034,000 円 市単独事業 107,325,966 円)

(ア) 道路築造費 31,124,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	延長	1,680m

(イ) 宅地造成費 10,134,200 円

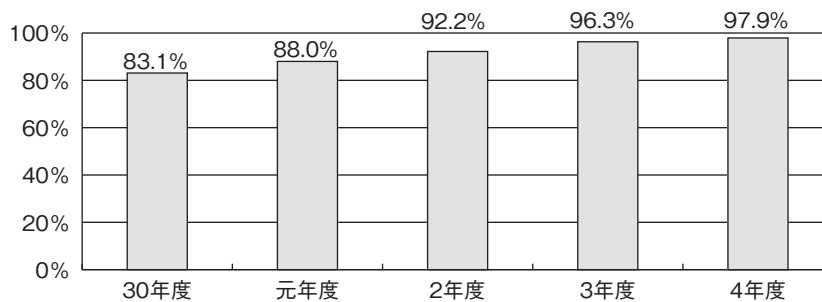
内 容	令和3年度	令和4年度
	面積	8,263㎡

(ウ) 補償費 6,296,938 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	建物 1戸 工作物、電柱 水道管移設 371m	

[指標]

指標名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成13年度～令和7年度)



2 組合土地区画整理推進事業費 850,227,000 円（区画整理課）

[総括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督を行うとともに、助成した。また、牛川西部及び柳生川南部土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導等を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 414,613,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 406,738,000 円

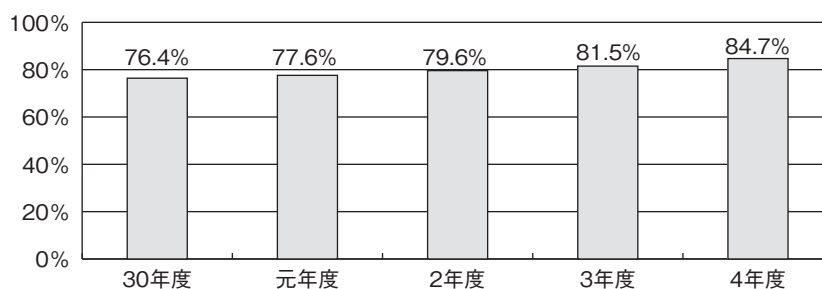
補助金	令和3年度	令和4年度
	161,428,000円	406,738,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 7,875,000 円

負担金	令和3年度	令和4年度
	0円	7,875,000円

[指標]

指標名：牛川西部土地区画整理事業進捗率
 指標説明：累積事業費／全体事業費(平成7年度～令和16年度)



※令和4年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 435,614,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 426,877,000 円

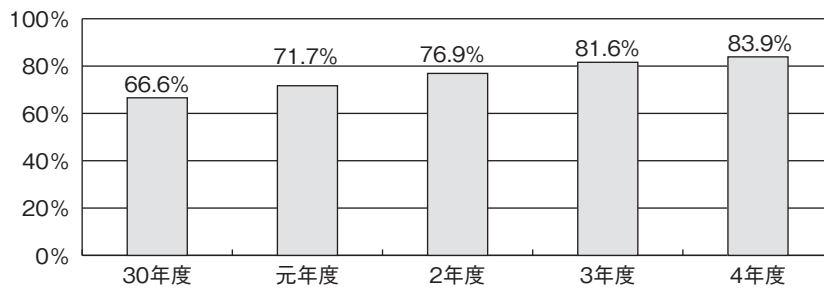
補助金	令和3年度	令和4年度
	651,724,000円	426,877,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 8,737,000 円

負担金	令和3年度	令和4年度
	5,343,500円	8,737,000円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～令和11年度)



※令和4年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,462,094,767	36,654,000	115,400,000	154,721,303	3,155,319,464
1 項 消 防 費	3,462,094,767	36,654,000	115,400,000	154,721,303	3,155,319,464
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	703,341,372	19,884,000	115,400,000	138,208,853	429,848,519

1 消防署所施設管理事業費 70,769,951 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防防災活動の拠点となる消防庁舎の長寿命化及び機能強化を図るため、建設後 50 年を経過する南消防署大清水出張所の大規模改修工事に着手するとともに、老朽化した浄化槽の切替工事を行った。

[実績及び成果]

(1) 消防署所施設管理事業費 70,769,951 円

(ア) 南消防署大清水出張所大規模改修工事

3 年継続事業 総事業費 236,000,000 円

構 造	内 容	延 床 面 積
鉄筋コンクリート造 2 階建	屋上防水改修、外壁改修、 内装改修	935.16㎡

(イ) 南消防署大清水出張所浄化槽切替工事 16,346,000 円

2 通信指令事業費 242,746,114 円 (通信指令課)

[総括]

迅速かつ的確な出動指令により、災害による被害の軽減を図るとともに、救急事案における緊急度判定基準に基づく口頭指導を実施し、傷病者の重症化防止を図った。また、新型コロナウイルス感染症に対する口頭指導を実施し感染拡大の防止に努めた。今後も消防通信指令システム全体更新及び消防救急デジタル無線設備更新へ向けた計画を推進するとともに、東三河各市消防本部と連携し、通信指令体制の強化を図っていく。

[実績及び成果]

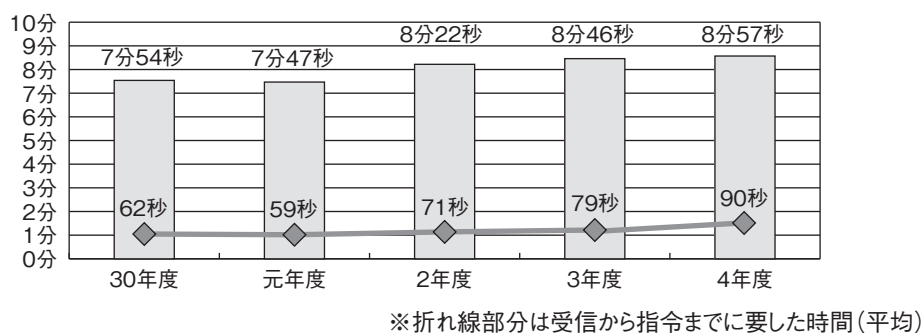
(1) 通信指令事業費 242,746,114 円

[受信内訳]

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
119 番 通 報 件 数	20,091件	22,995件	14.5%
固 定 電 話	5,487	5,605	2.2
携 帯 電 話	10,582	12,866	21.6
I P 電 話	4,022	4,524	12.5

[指標]

指標名：119番(火災・救急・救助)受信から現場到着までに要した時間(平均)
 指標説明：所要時間/件数



3 警防活動費 6,987,266 円 (消防救急課)

[総括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、東三河各消防本部や警察等の関係機関と連携し、大規模火災を想定した訓練等を実施するなど、災害対応力の強化を図っていく。

[実績及び成果]

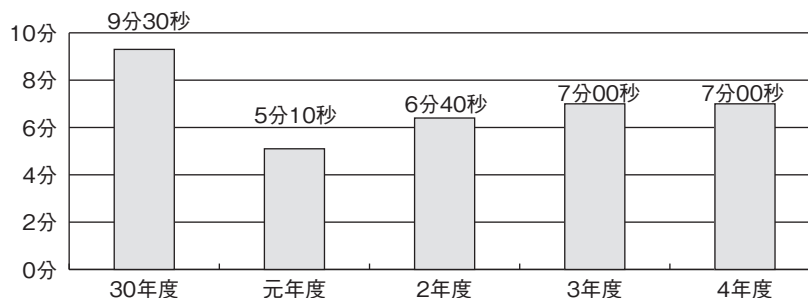
(1) 警防活動費 6,987,266 円

[火災発生状況]

区分	令和3年度	令和4年度	比較
出火件数	100件	121件	21.0%
り災棟数	51棟	68棟	33.3
り災世帯	53世帯	41世帯	△22.6
り災人員	121人	93人	△23.1
焼損面積(建物)	1,323㎡	1,122㎡	△15.2
損害額	101,236千円	58,721千円	△42.0

[指標]

指標名：火災出動から放水開始までの時間(木造一般住宅火災(市街地))(平均)
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



4 消防団活動事業費

133,567,259 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防団員の安全確保のための装備品と活動用資機材の充実を図るとともに、消防団員募集ポスターの作成や SNS を活用した情報発信など、消防団 PR 事業を行い消防団員の確保に努めた。

また、豊橋市消防団組織等改善協議会を開催し、消防団や市民の意見を集約したなかで消防団の今後の在り方について広く協議を行った。今後も市民の期待に応え続ける持続可能な消防団組織の構築と地域防災力の向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 125,324,859 円

[災害出動・公務活動人数]

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
災 害 出 動	2,143人	2,263人	5.6%
公 務 活 動	3,533	6,215	75.9

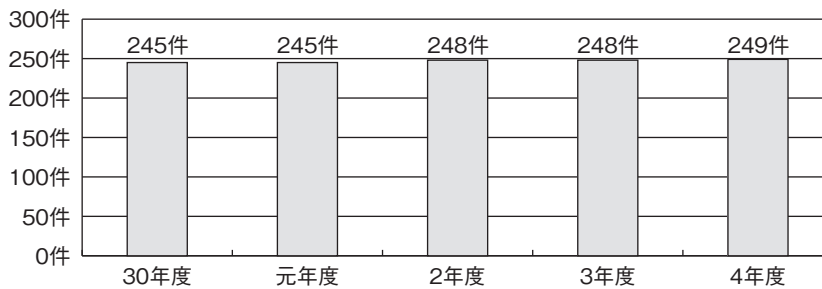
(2) 消防団交付金 8,242,400 円

[交付金内訳]

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
消 防 団 交 付 金	386,017円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,754,400	6,754,400
消防はしご登り保存会交付金	0	0
計	7,828,417	8,242,400

[指 標]

指 標 名 : 「ほの国消防団・消防団応援事業所」の登録件数
 指標説明 :



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	35,122,681	10,681,000	0	2,000,000	22,441,681

1 救急事業費 28,169,823 円 (消防救急課)

[総括]

救急需要の増加に伴い、救急救命士の養成や処置範囲の拡大への対応、医療機関との連携強化を進めたほか、本部日勤救急隊の運用を開始し、救急体制の強化を図った。また、新型コロナウイルス感染症に対する適切な感染防止対策を講じるため、老朽化した高圧蒸気滅菌器を更新するなど救急活動体制の維持に努めた。応急手当の普及啓発については、感染状況を鑑み適切な感染防止対策を行い各種救急講習を実施した。今後も救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し、救急救命体制の充実強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 27,030,971 円

研修派遣内訳		令和3年度	令和4年度
救 急 救 命 士	救急救命士養成	2人	2人
	包括運用教育講習	6	4
	気管挿管運用試験	2	2
	薬剤投与運用試験	6	4
	処置範囲拡大追加講習	3	5
救急隊員資格取得		10	9

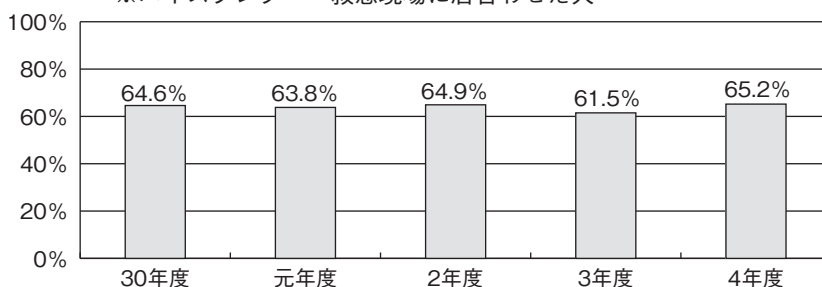
救急発生状況内訳		令和3年度	令和4年度	比較
急	病	10,476件	12,369件	18.1%
一	般 負 傷	2,107	2,320	10.1
交	通 事 故	994	991	△ 0.3
労	働 災 害	125	176	40.8
運	動 競 技	76	121	59.2
加	害	40	34	△15.0
そ	の 他	1,808	1,851	2.4
計		15,626	17,862	14.3
(内：コロナ陽性者搬送)		(341)	(796)	(2.3倍)

(2) 応急手当普及啓発事業費 1,138,852 円

救命講習内訳		令和3年度	令和4年度	比較
応	急 手 当 指 導 員	60人	35人	△41.7%
応	急 手 当 普 及 員	76	67	△11.8
普	通 救 命	1,100	1,218	10.7
上	級 救 命	52	78	50.0
そ	の 他 講 習	290	335	15.5
救	命 入 門 コ ー ス	3,203	5,458	70.4
計		4,781	7,191	50.4

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)
 指標説明：通報時、心肺停止状態の傷病者に対しバイスタンダーが応急処置を施した割合
 ※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費 6,952,858 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めた。また、静岡県熱海市土石流災害での活動経験を踏まえ、対応資機材を新たに追加整備するとともに、「消防活動の協力に関する協定」を締結した東三建設業協会が所有する大型重機を活用した連携訓練を実施するなど、土砂災害救助体制の強化を図った。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図っていく。

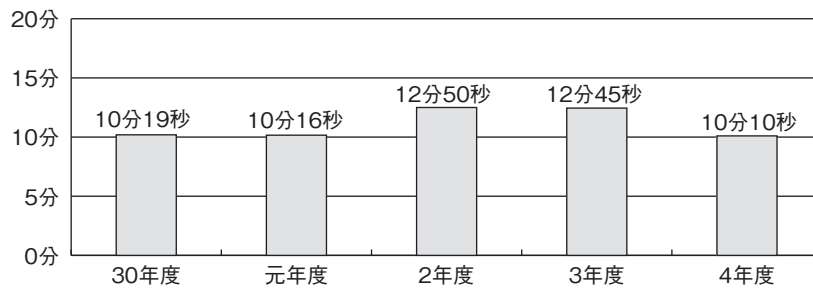
[実績及び成果]

(1) 救助事業費 6,952,858 円

救助発生状況内訳		令和3年度	令和4年度	比 較
火 災	建 物 火 災	28件	37件	32.1%
	建 物 火 災 以 外	6	8	33.3
火 災 以 外 の 事 故	交 通 事 故	43	45	4.7
	水 難 事 故	8	6	△25.0
	自 然 災 害	2	1	△50.0
	機 械 に よ る 事 故	7	7	0.0
	建 物 等 に よ る 事 故	69	87	26.1
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	4	2	△50.0
	破 裂 事 故	0	0	0.0
そ の 他 の 事 故	97	79	△18.6	
計		264	272	3.0

[指 標]

指 標 名：現場到着から生存者の救助完了までの時間(平均)
指標説明：救助隊の現場到着から生存者の救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の強化>	13,121,712	0	0	899,100	12,222,612

1 火災予防対策事業費 13,121,712円 (予防課)

[総括]

住宅火災での高齢者の犠牲者を低減させるため、解体する市営住宅の住宅用火災警報器を活用し、高齢者宅へ設置するリユース事業を継続実施するとともに、作成した高齢者向けの防火冊子を活用し、戸別訪問や防火教室において啓発を行った。また、火災による被害を最小限に抑えるため、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた各種研修会や防火教室、事業所への火災予防対策を実施するとともに、各種イベントを通じて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進に努めた。

今後も引き続き、住宅火災や火災による高齢者の人的被害の低減を図るため、火災予防対策を推進するとともに、街頭消火器の設置等促進による初期消火体制の強化及び消防法違反対象物の是正指導を行っていく。

[実績及び成果]

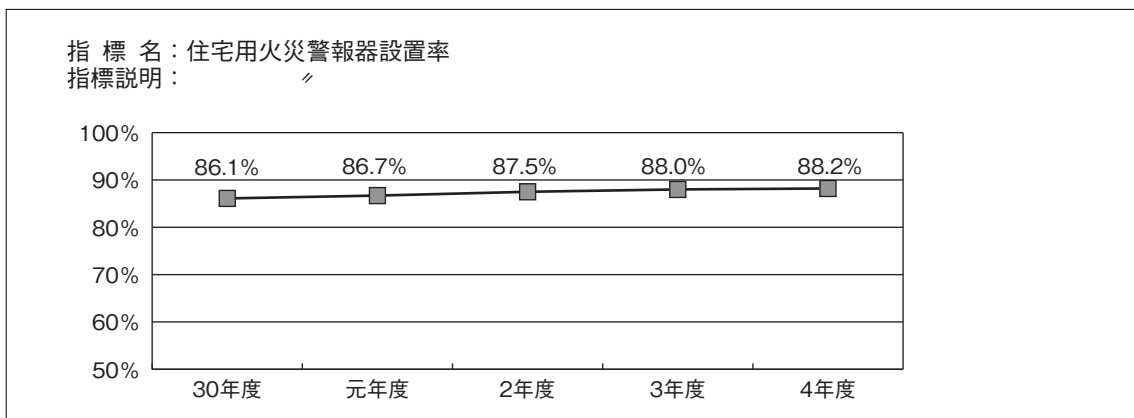
(1) 火災予防啓発事業費 8,988,262円

啓 発 区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	2回	10回	5.0倍
講 習 会	11	9	△18.2%
老人クラブ防火教室等	2	8	4.0倍
女性防火クラブ研修等	6	9	50.0%
少年消防クラブ防火教室等	22	29	31.8

(2) 街頭消火器設置費等補助金 4,133,450円

補 助 内 訳	令和3年度	令和4年度	比 較
消 火 器 更 新	606本	771本	27.2%
収 納 箱 更 新	171か所	103か所	△39.8
薬 剤 更 新	1本	4本	4.0倍
消 火 器 新 規 設 置	33か所	25か所	△24.2%
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	11本	6本	△45.5
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	6	6	0.0

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	16,893,094,605	3,353,822,606	2,810,800,000	2,096,612,145	8,631,859,854
1項 教 育 総 務 費	2,555,610,771	303,711,992	0	136,044,003	2,115,854,776
3目 豊かな学び推進費 <豊かな学びの推進>	721,400,809	139,387,702	0	9,104,484	572,908,623

1 教育諸活動支援事業費 122,331,301 円 (学校教育課)

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、子どもたちが郷土を心のよりどころと感じ、誇りをもって語るができるよう、郷土学習を進めた。また、新入学児童・発達障害児童生徒のいる学校に支援員を配置することによって、子どもたちがスムーズな学校生活を送れるよう、学級担任をサポートしていく体制づくりを行った。今後も子どもたちがいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費 4,984,191 円

区 分		令和3年度	令和4年度
子ども造形パラダイス補助金	開催日	中止	10.15~10.16
	補助金	0円	3,539,550円
子どものための科学展開催費補助金	開催日	10.30~11.30	11.1~11.30
	来場者数	12,671人	14,608人
	補助金	356,319円	977,273円
小柴記念賞補助金	応募点数	2,742点	1,898点
	補助金	343,591円	467,368円

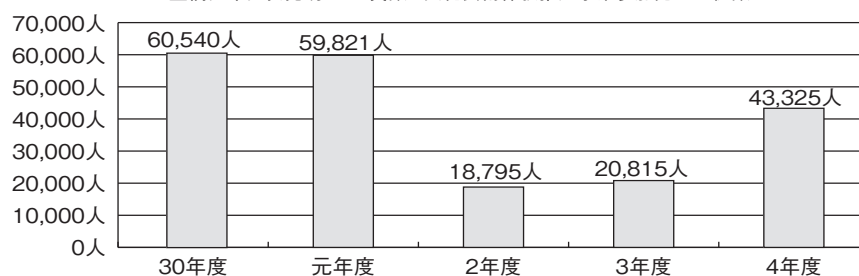
(2) 教育活動支援事業費 117,347,110 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員	67人	支援員	67人
体育的部活動支援事業費		9,508,038円		12,588,756円
学校体育連盟補助金	1団体	7,552,133	1団体	10,536,836
中学校東海・全国大会出場補助金	16校(80人)	1,955,905	16校(133人)	2,051,920
文化的活動支援事業費	31	2,533,968	37	4,874,680
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 81人	400,000	クラブ員 83人	400,000
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒 0	196,780	参加児童生徒1,110	1,614,400
中学校部活動指導者派遣事業費	部活動指導者 7	1,345,800	部活動指導者 9	1,962,080

[指 標]

指 標 名：教育諸活動支援事業参加者数

指標説明：子ども造形パラダイス出品児童生徒数+中学校合唱フェスティバル参加生徒数+子どものための科学展来場者数
+小柴記念賞応募点数+市内体育大会参加児童生徒数+中学校東海・全国大会出場者数+文化的部活動の大会参加児童生徒数
+豊橋少年少女発明クラブ員数+文化芸術体験推進事業参加児童生徒数



2 生徒指導対策事業費

3,204,520 円（学校教育課）

[総 括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費

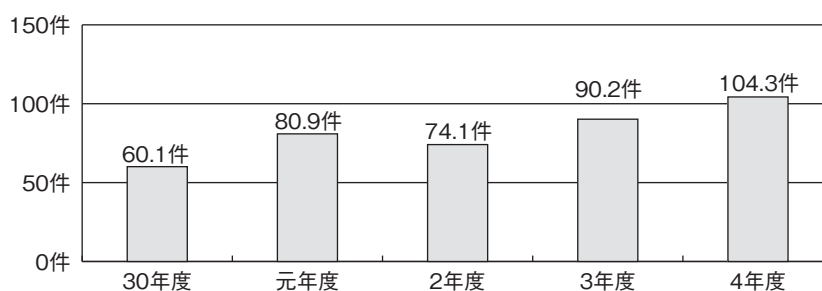
3,127,860 円

区 分	令和3年度	令和4年度
生 徒 指 導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進 路 指 導	進路のてびきの発行	進路のてびきをデータにて全中学校へ配布

[指 標]

指 標 名：1校当たりのいじめ、暴力行為等の認知件数

指標説明：いじめ、暴力行為等の認知件数/小中学校数(74校)



3 授業・学習支援事業費 28,605,476 円（学校教育課）

[総括]

子どもたちへの効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、28名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も子どもたちの豊かな学習環境の充実のため、教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 授業・学習支援センター推進事業費 4,733,552 円

学校貸出冊数	令和3年度	令和4年度
	8,497冊	7,701冊

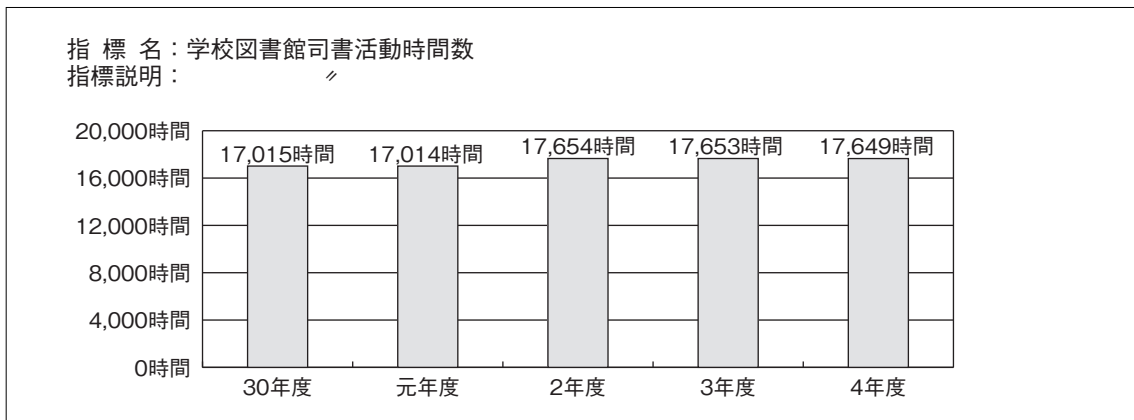
(2) 学校図書館活動推進事業費 23,740,940 円

司書配置	令和3年度	令和4年度
	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)

(3) 小・中学校読書活動推進事業費 130,984 円

図書購入	令和3年度	令和4年度
	71冊	50冊

[指標]



4 学力・体力向上推進事業費 21,921,028 円（学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活かしたより質の高い授業を提供した。また、スポーツトレーナーを小学校に派遣し、体育の授業において、健康的な体づくりやスポーツにおける正しい動きづくりのアドバイスを行った。

[実績及び成果]

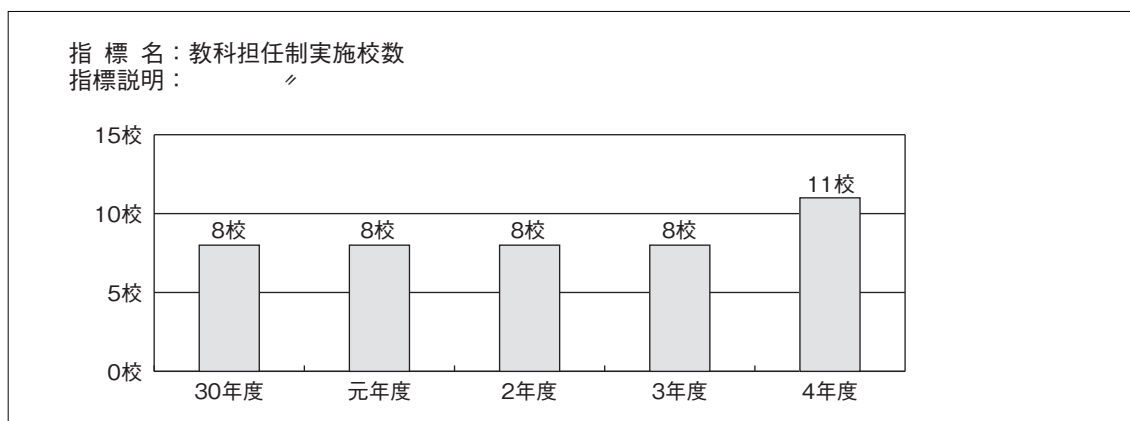
(1) 学力向上支援事業費 21,484,508 円

教科担任の非常勤講師人数	令和3年度	令和4年度
	5人	6人

(2) 体力向上支援事業費 436,520 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	スポーツトレーナーを小学校(14校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施	スポーツトレーナーを小学校(25校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施

[指 標]



5 学びの連携推進事業費 68,620 円 (教育政策課・学校教育課)

[総 括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、令和5年度に小中一貫教育を導入する中学校区において、めざす子ども像や方策を地域の特色に合わせて設定し、導入に向けた準備を進めた。また、異校種間における教育活動の連携と系統化を図るため、授業参観や情報交換など異校種の学習内容や指導方法の共有を図った。

[実績及び成果]

(1) 学びの連携推進事業費 68,620 円

(ア) 小中一貫教育推進事業費

小中一貫教育を導入した中学校区数	令和3年度	令和4年度
	2校	4校

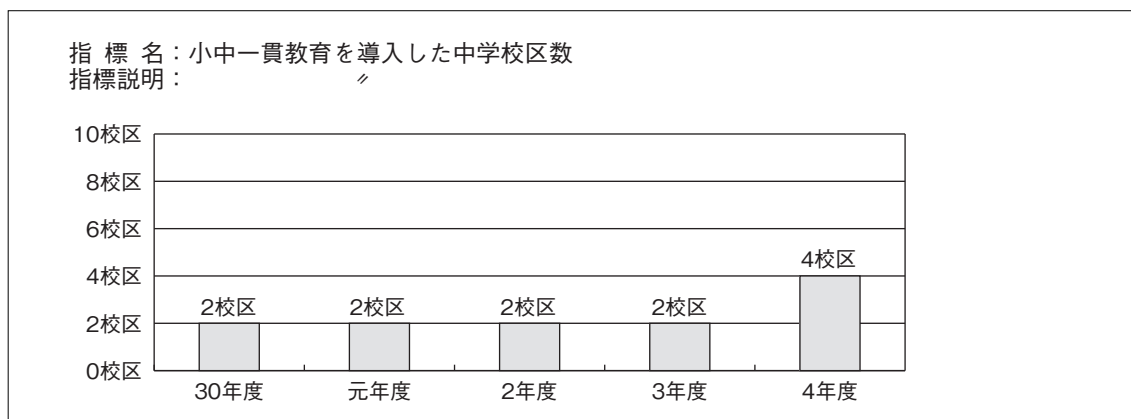
(イ) 小中高特連携教育推進事業費

内 容	令和3年度	令和4年度
	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(4回) 理科学教育分科会(4回) 特別支援教育分科会(4回) 言語能力分科会(3回)	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(5回) 理科学教育分科会(4回) 特別支援教育分科会(4回) 言語能力分科会(3回)

(ウ) 幼年期教育研究事業費

内 容	令和3年度	令和4年度
	幼年期教育研修会の開催 幼年期だよりの発行（4回） 小学校紹介DVDの作成 年長児就学先調査の実施	

[指 標]



6 国際理解教育推進事業費 127,785,069 円（学校教育課）

[総 括]

「英語」及び「外国語活動」の授業への人的支援として、英語スクールアシスタント（SA）や外国人英語指導員（ALT）を派遣した。小学校では学級ごとに、3・4年生にはSAと年間20時間、5・6年生にはALTと年間35時間の協働授業を行った。中学校では学級ごとに、ALTと年間30時間協働授業を行い、子どもたちの英語への関心・意欲を高めることができた。八町小学校の「イマージョン教育コース」では、日本人教員と外国人指導員によるチーム・ティーチングにより、英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図った。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

(1) 英会話のできる豊橋っ子育て事業費 127,785,069 円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	令和3年度		令和4年度	
		74校	24人	74校

(イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	令和3年度		令和4年度	
		52校	延 4,728時間	52校

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	令和3年度		令和4年度	
		2日間	70人	2日間

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	令和3年度		令和4年度	
		0日間	0人	3日間

(オ) スーパー英語チャレンジ費

内 容	令和3年度		令和4年度	
		2日間	70人	2日間

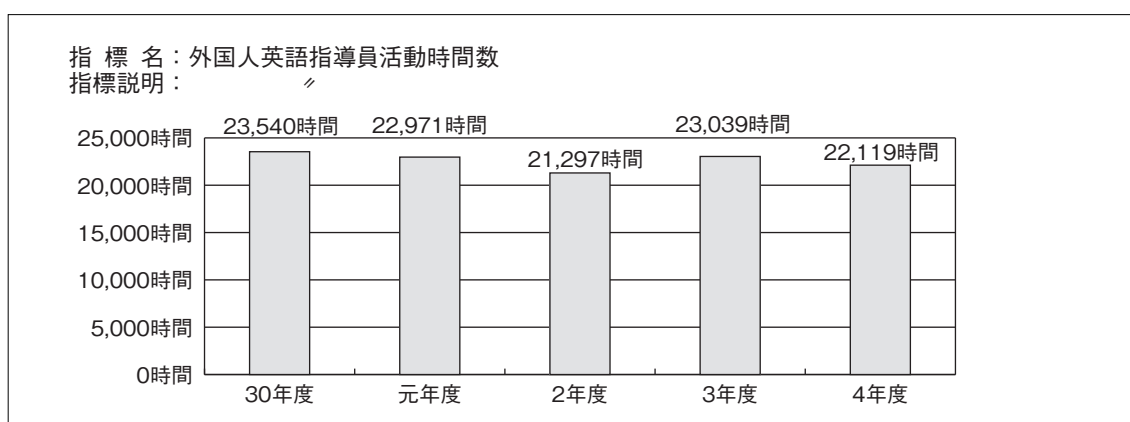
(カ) トリードスーパーイングリッシュキャンプ費

内 容	令和3年度		令和4年度	
		0日間	0人	0日間

(キ) イマージョン教育推進費

内 容	令和3年度		令和4年度	
		1校	136人	1校

[指 標]



7 情報教育推進事業費 319,854,265 円 (学校教育課)

[総 括]

タブレットを活用した多様な学習活動を実施するため、新たに ICT 支援員を配置した「GIGA サポートセンター」を設置し、学びの支援体制を強化した。また、オンラインの出前講座を立ち上げ、延べ 25,000 人の子どもたちがオンライン授業に参加した。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

(1) コンピュータ活用事業費 319,854,265 円

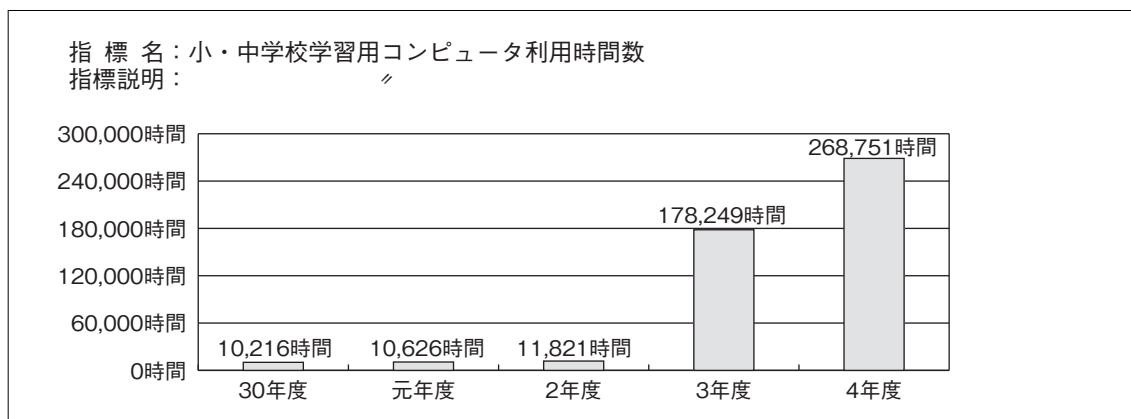
(ア) 小・中学校コンピュータ活用事業費 319,755,265 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	学習用コンピュータ・タブレット費(小)	24,777台	173,804,257円	24,777台
学習用コンピュータ・タブレット費(中)	12,589	70,303,296	12,589	72,346,557
コンピュータネットワークシステム費		76,087,233		60,212,475
学校図書館管理用コンピュータ費(小)	52台	5,203,389	52台	6,061,332
学校図書館管理用コンピュータ費(中)	22	2,173,211	22	2,516,028
GIGAサポートセンター運営費		—	2人	6,905,991

(イ) 分身ロボットを活用した教育支援の実施 99,000 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	分身ロボットによる支援費	1台	396,000円	1台

[指 標]



8 体育施設等有効活用事業費 63,595,122 円（教育政策課）

[総 括]

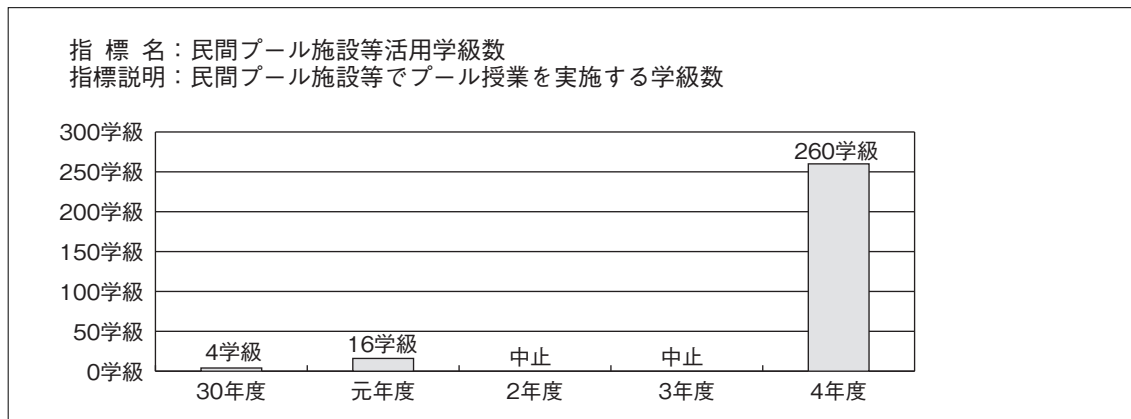
児童数の減少及び施設の老朽化における学校プールのあり方を検討する中で、民間プール施設等を活用した水泳授業のモデル校を拡大し、インストラクターと教員が協力して指導にあたることにより、水泳授業の質の向上を図った。今後もモデル校を拡大し、民間プール施設等の活用による水泳授業の実施可能性について検証を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 民間プール等活用モデル事業費 63,595,122 円

実施学校数(学級数)	令和3年度	令和4年度
	新型コロナウイルス感染症の影響のため中止	19校(260学級)

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教育環境充実費 <教育環境の充実>	217,411,131	26,295,535	0	6,829,000	184,286,596

1 私学振興事業費 30,451,589円 (教育政策課)

[総括]

私立学校等の運営の円滑化及び教育環境の向上をめざし、学校規模に応じた運営費の補助を行った。また、私立学校に通う生徒の就学を支援するため、授業料に対する市独自の助成を上乗せするとともに、通信制高等学校も補助対象に加え、家庭の教育費負担のさらなる軽減を図った。今後も国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した施策を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 8,639,000円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,226人	6,226,000円	3,315人	6,315,000円
外国人学校(2校)	333	2,833,000	324	2,324,000
計	3,559	9,059,000	3,639	8,639,000

※令和3年度の外国人学校への補助は3校

(2) 私立高等学校等支援事業費 21,812,589円

(ア) 私立高等学校授業料補助金 20,741,540円

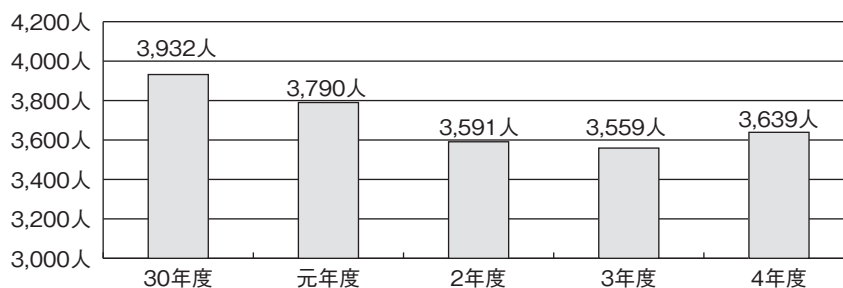
内 容	令和3年度		令和4年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	1,634人	15,568,200円	1,595人	20,741,540円

(イ) 私立専修学校等授業料補助金 824,400円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	56人	690,000円	47人	824,400円

[指標]

指標名：私立高等学校、外国人学校在籍者数
 指標説明：〃



2 奨学支援事業費

11,338,062 円（教育政策課）

[総括]

経済的に困難を抱えながらも夢の実現に向けて努力する学生を応援するため、返済不要の奨学金「豊橋市未来応援奨学金」を、37人に対して給付し、将来を担う若者の進学を後押しした。今後も国の奨学金制度の動向などを踏まえながら、必要な支援を行っていく。

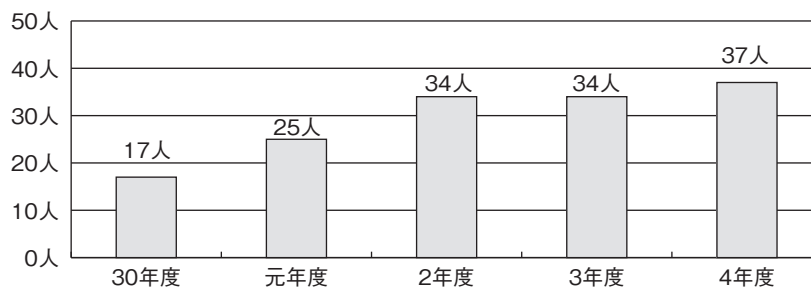
[実績及び成果]

(1) 奨学金給付事業費 11,338,062 円

受給者数	令和3年度	令和4年度
	34人	37人

[指標]

指標名：豊橋市未来応援奨学金の受給者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 教職員研修費 <教職員の力量向上>	96,643,712	0	0	0	96,643,712

1 現職研修事業費 3,213,816 円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し、成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活かすとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

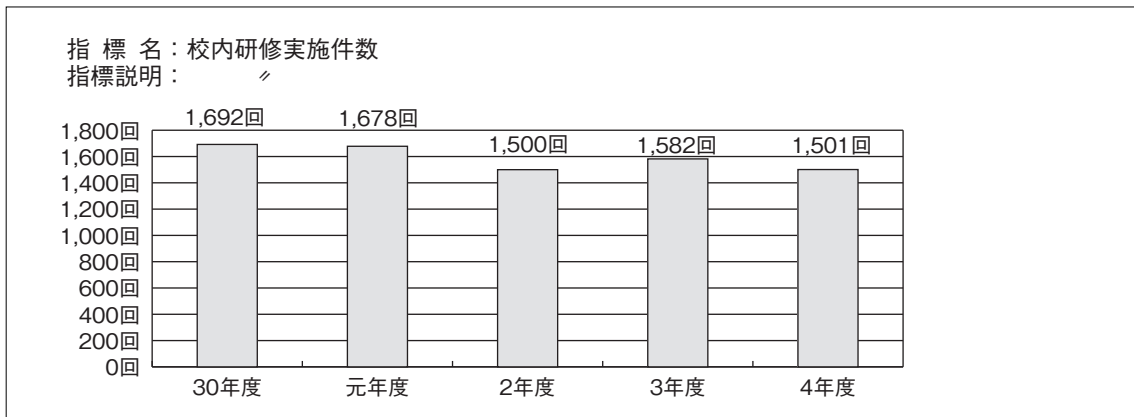
(1) 指定校研究費補助金 1,194,391 円

区 分	令和3年度	令和4年度
指 定 校	9校	9校
補 助 金	1,199,336円	1,194,391円

(2) 現職研修委員会補助金 2,019,425 円

区 分	令和3年度	令和4年度
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	38研究部	38研究部
基 本 研 修	2,819人	8,481人
補 助 金	1,948,798円	2,019,425円

[指標]



2 教育会館管理運営事業費 93,429,896 円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い、学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新制の発展的解消を受け、効果的な研修体制の構築を目的とし、基本研修・職務研修等の各種研修の内容を充実させ教員の資質の向上を図った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 13,373,847 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 10,204人	延 7,448人	△27.0
一 般 施 設 利 用 者 数	延 4,554	延 5,379	18.1
計	延 14,758	延 12,827	△13.1

[各種活動]

区 分	令和3年度	令和4年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	66時間 参加人員 623人	66時間 参加人員 679人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 601本	映像教材貸出 450本

(2) 教職員研修事業費 5,572,292 円

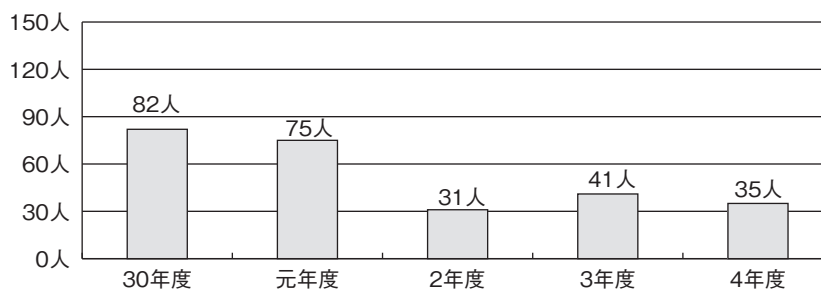
区 分	令和3年度	令和4年度
基 本 研 修	94回 参加人員 2,819人	94回 参加人員 2,326人
職 務 研 修	61 〃 2,328	61 〃 2,328
課 題 ・ 専 門 研 修	33 〃 2,711	33 〃 3,410
社 会 連 携 研 修	1 〃 97	1 〃 88

(3) 教員免許状更新講習事業費 0 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	19講座 受講人員 203人	—

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくり>	4,572,039	0	0	0	4,572,039

1 学校づくり推進事業費 4,429,629円 (学校教育課)

[総括]

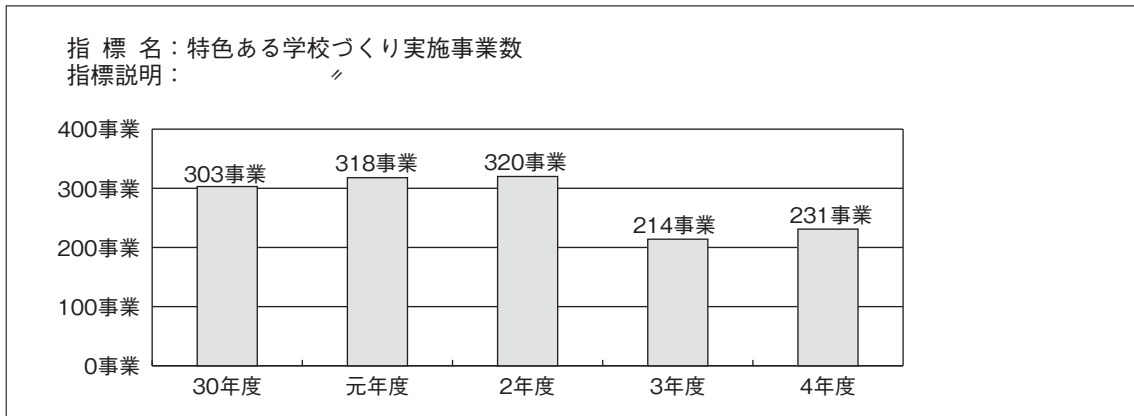
「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある子どもたちを育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。今後も各学校において、環境、福祉、国際、平和などをテーマに地域に根ざした学びを展開し、SDGs、ESDの推進を図るとともに、補助金を活用して特色ある教育活動の充実につなげていく。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 4,429,629円

区 分	令和3年度		令和4年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	33校	参加校	33校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	4,269,713円	74校	4,429,629円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 教育活動支援費 〈個の特性に寄り添った教育の推進〉	228,749,209	47,308,000	0	0	181,441,209

1 教育相談事業費 204,500,678 円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導に加え、日本語指導が必要な児童生徒の適応支援や初期日本語集中指導を実施するなど、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、スクールソーシャルワーカーが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。その他、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や市内に3か所開設しているほっとプラザの運営を通して、不登校傾向にある児童生徒への対応及び学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 115,238,779 円

区 分	令和3年度	令和4年度
外国人児童生徒教育相談コーナー	相談件数 2,839件	相談件数 2,676件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 13人 学校巡回 14	学校常駐 13人 学校巡回 14
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	派遣時間 延 4,766時間	派遣時間 延 4,748時間
登録バイリンガルボランティア	〃 延 1,694	〃 延 1,796

(2) 教育相談活動事業費 35,943,703 円

区 分	令和3年度	令和4年度
スクールソーシャルワーカー	相談件数 5,229件	相談件数 2,786件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 5,197	〃 6,431
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 797	〃 802
心 理 判 定 員	〃 477	〃 488
メンタルフレンド	派遣回数 169回	派遣回数 186回

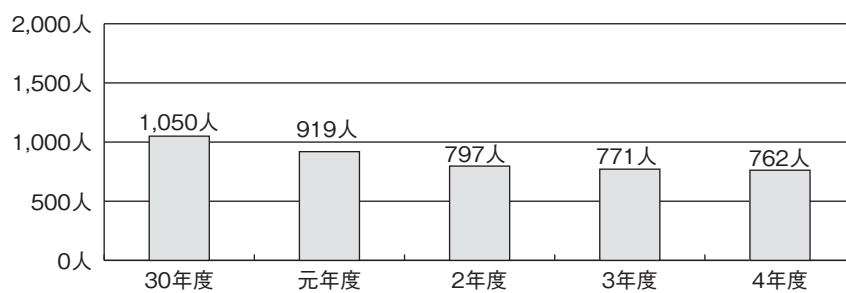
(3) 不登校対策支援事業費 53,318,196 円

区 分	令和3年度	令和4年度
とよはしほっとプラザ活動事業費	3か所 191日 延 3,698人	3か所 189日 延 3,388人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 15	非常勤講師 15
不登校対策推進協議会補助金	担当者学習会 4・8・10月 3回	担当者学習会 4・8・10月 3回
	補助金 101,230円	補助金 53,990円

[指 標]

指 標 名：教育相談員 1 人当たりの児童生徒数

指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 市立学校教育活動推進費 〈個の特性に寄り添った教育の推進〉	477,739,465	74,433,755	0	54,747,556	348,558,154

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 246,434,169円 (教育政策課)

[総括]

ハローワークをはじめとした関係諸機関・企業との連携を強化するとともに、引き続き学校内にある農業実習施設「和(なごみ)ハウス」での農作業実習や企業等での体験学習など、就労支援体制の充実を図ったことにより、多数の産業科の卒業生が一般就労することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能として設置した「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めているほか、校内では、心理カウンセラーを配置し、児童、生徒、保護者の問題解決の手助けを行った。今後も、すべての子どもたちが自立し、地域社会でたくましく生きることができるよう、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 166,823,258円 (5月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度
学 級 数	50学級	52学級
児 童 ・ 生 徒 数	271人	288人

[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
	一般補修工事	

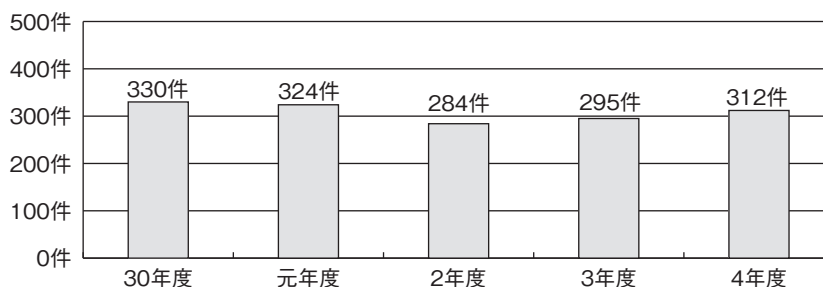
(2) 教育活動事業費 69,839,069円

区 分	令和3年度		令和4年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	1,984冊		2,047冊	
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	127台	8,849,775円	132台	8,767,110円
企業向け学校見学会実施回数	1回		1回	
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	1		2	
就労支援におけるサテライト実習実施回数	6		11	

[指 標]

指 標 名：くすのき相談センター対応件数

指標説明：〃



2 市立高等学校教育推進事業費 138,363,777 円（教育政策課）

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校としての教育環境づくりを進めた。特に、学習用コンピュータを更新するなど、環境整備に努めた。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばすとともに、自ら学ぶ主体性を確立させるなど、特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 22,298,255 円 (5月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	637人	627人

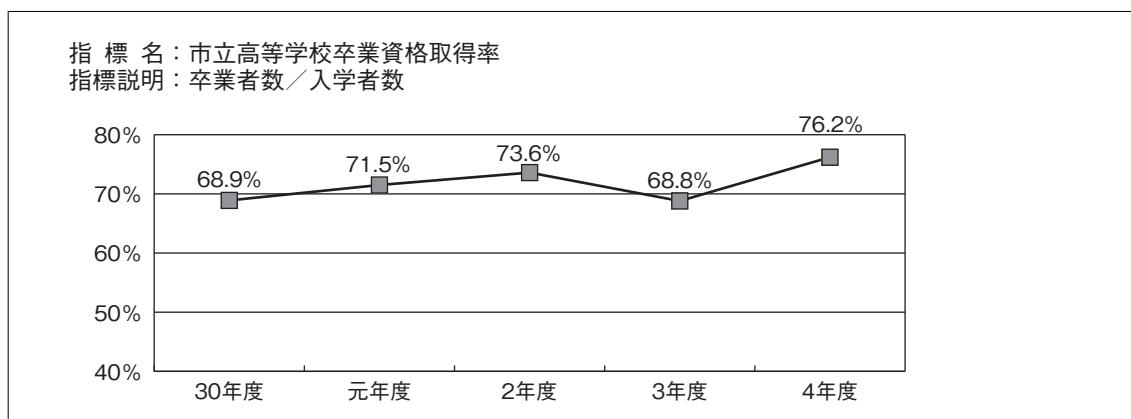
〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 70,879,314 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	6,072冊		6,160冊	
定時制教育教科書給与費	15人	77,726円	14人	69,171円
学 習 用 コ ン プ ュ ー タ 費	42台	1,668,216	42台	2,078,340
心理カウンセラー相談開催日数	76日		59日	
キャリア教育実施回数	6回		12回	
外国人生徒教育支援日数	236日		237日	

〔指標〕



3 市立高等学校整備事業費 7,216,000 円（教育政策課）

〔総括〕

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、老朽化した高架水槽の取替工事を実施した。

〔実績及び成果〕

(1) 市立高等学校整備事業費 7,216,000 円

(ア) 高架水槽取替工事

4 家政高等専修学校教育推進事業費 85,725,519 円（教育政策課）

[総括]

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめ細かな支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援にも取り組み、学校生活や進路選択での不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 4,650,587 円 (5月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	96人	95人

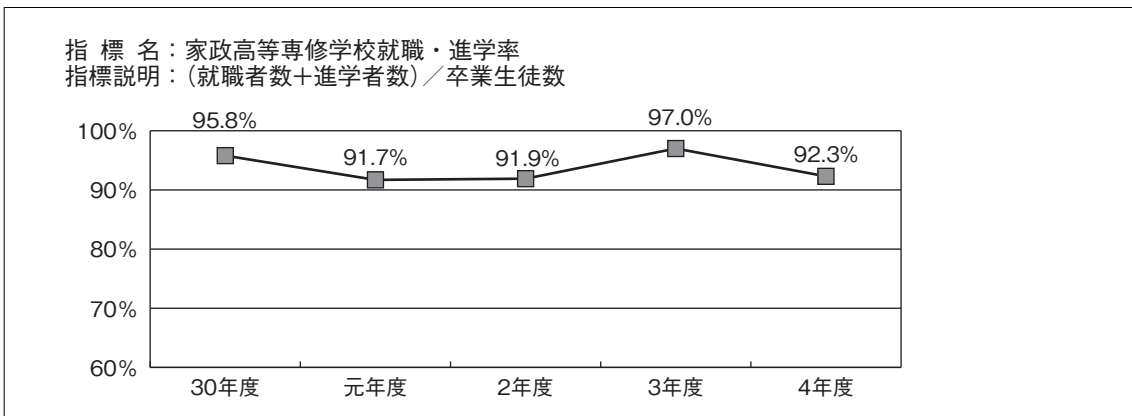
[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 25,457,224 円

区 分	令和3年度	令和4年度
学校図書館蔵書数	2,720冊	2,756冊
学習用コンピュータ費	41台 2,290,200円	41台 2,290,200円
心理カウンセラー相談開催日数	24日	24日
キャリア教育実施回数	10回	13回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 自然史博物館費 ＜自然史博物館の充実＞	247,297,300	2,175,000	0	60,413,626	184,708,674

1 自然史博物館事業費 159,586,991 円 (自然史博物館)

[総括]

自然についての正しい知識を深め、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組んだ。大型映像では「ダイナソーミュージアム」等の上映、ワークショップ、解説会、企画展等の教育普及活動を実施するとともに、特別企画展「ポケモン化石博物館」を開催した。今後も新型コロナウイルス感染防止対策に取り組み、博物館としての魅力向上につながる事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 39,646,604 円

区 分	令和3年度	令和4年度
ワークショップ等	26回 参加人員 769人	50回 参加人員 1,077人
出前授業等	65 〃 1,848	63 〃 1,713
大型映像	810 観覧者数 29,719	630 観覧者数 27,763
企 画 展	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 77,902人 4.17～5.23 (33日間) 「第17回自然史博物館自由研究展」 〃 65,152 11.6～11.28 (20日間) 「干支展 寅」 〃 55,461 12.18～1.16 (23日間) 「美しい砂の世界 - 日本の砂、世界の砂、地層の砂 -」 〃 60,447 2.19～3.20 (26日間)	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 109,234人 4.9～5.8 (30日間) 「表浜の自然」 〃 60,533 5.14～6.12 (30日間) 「切手になった昆虫」 〃 31,717 6.18～7.17 (30日間) 「Iron-Dinos:鉄の恐竜展」 〃 89,723 9.6～10.10 (35日間) 「第18回自然史博物館自由研究展」 〃 30,260 11.12～12.4 (23日間) 「干支展 卯」 〃 56,231 12.17～1.22 (37日間)

(2) 調査研究活動事業費 4,471,229 円

区 分	令和3年度	令和4年度
博物館資料	製作委託 鳥類等の剥製骨格標本製作 13点	鳥類等の剥製骨格標本製作 9点
	採集・寄贈 30,962点 (総数 585,719点)	473点 (総数 586,192点)
	図書等 1,480冊 (総数 46,328冊)	742冊 (総数 47,070冊)
研究発表(調査研究)	60件	37件

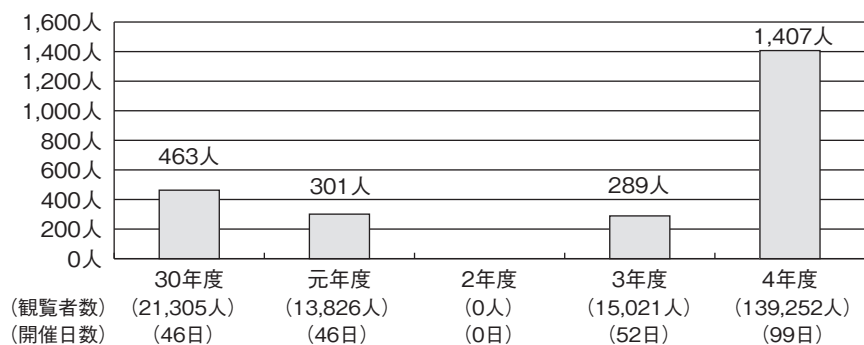
(3) 特別企画展開催事業費

24,093,303 円

区 分	令和3年度	令和4年度
特 別 企 画 展	「地球は昆虫であふれている」	「ポケモン化石博物館」
	7.9～9.5 (52日間)	7.16～11.6 (99日間)
	展示数2,000点 観覧者数15,021人	展示数170点 観覧者数139,252人
関 連 行 事	1. 記念講演会①「害虫との戦いや虫ケア用品(殺虫剤)の開発」 参加人員 40人 2. 記念講演会②「希少昆虫の守り方」 〃 28 3. 記念講演会③「昆虫がヤバイ」 〃 — 4. ワークショップ「夜の動物園で昆虫を観察しよう」 〃 34	1. 記念講演会①『「ポケモン化石博物館」で学ぶ最新古生物学』 参加人員 60人 2. 記念講演会②「化石化のメカニズムをさぐる」 〃 52 3. 記念講演会③「小さな化石の最新研究」 〃 30 4. ワークショップ「化石クリーニング体験」(2回) 〃 13 5. 「ポケモン化石博物館」開催記念プレミア解説会(3回) 〃 410 6. 「ポケモン化石博物館」展示解説(11回) 〃 1,450 7. オンライン授業『「ポケモン化石博物館」で化石を学ぼう!』 〃 15,000

[指 標]

指 標 名：特別企画展1日当たりの観覧者数
 指標説明：観覧者数／開催日数



2 自然史博物館施設管理事業費 87,221,720 円（自然史博物館）

〔総括〕

新型コロナウイルス感染症対策事業の一環として館内からのオンライン授業など実施のため、無線LAN整備を行った。また、標本などを適正に管理・保管するため、収蔵庫の標本棚の増設や野外恐竜模型の修繕などを行った。今後も入館者サービス向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 施設管理事業費 87,221,720 円

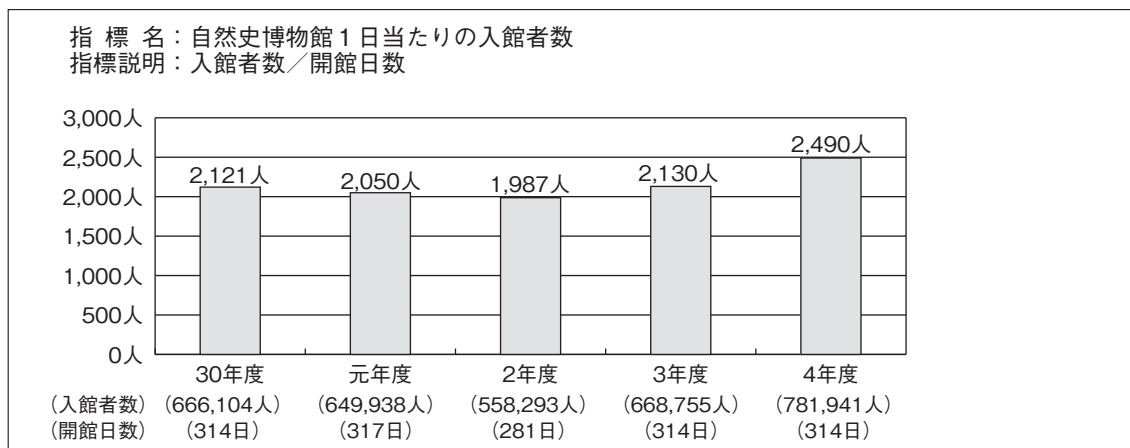
〔利用状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
開館日数	314日	314日	0.0%
入館者数	延 668,755人	延 781,941人	16.9

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	ガラパゴス物語展示室、化石を知るコーナー、講堂前廊下空調取替修繕	無線LAN整備、自然史博物館会議室等空調修繕、野外恐竜模型（イグアノドン・デイノニクス・パキケファロサウルス）修繕

〔指標〕



3 石巻自然科学資料館運営事業費 488,589 円（自然史博物館）

〔総括〕

石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

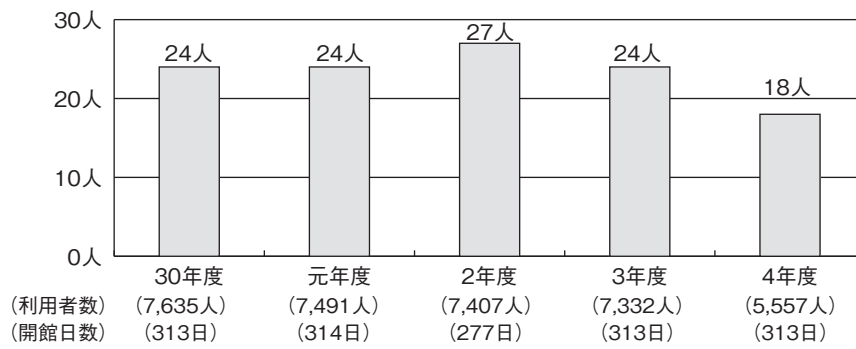
〔実績及び成果〕

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 488,589 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
開館日数	313日	313日	0.0%
利用者数	延 7,332人	延 5,557人	△24.2

[指 標]

指 標 名：石巻自然科学資料館 1 日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 科学教育センター費 <科学教育センターの充実>	94,968,220	14,112,000	0	4,441,568	76,414,652

1 科学教育センター事業費 57,904,224 円 (科学教育センター)

[総括]

市内全校の小学校4年生を対象とした実験学習やプラネタリウム学習などについて、感染症対策を徹底したうえで実施したほか、とよはし科学月間(11月)に、様々な実験展示やワークショップで空を飛ぶ物の仕組みを紹介した「そらを飛ぶもの大実験」を目玉企画として開催したことにより、子どもから大人まで幅広く科学教育の振興を図ることができた。

また、これまで来館機会の少なかった大人を対象とした科学講座として、「夜空に奏でる歌物語ジャズ&プラネ」や「大人のための天体望遠鏡実験」などを開催し、好評であった。

今後も新たな生活様式に対応しながら、サイエンス・ボランティア等と協働し、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を通して、科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター事業費 19,931,045 円

[各種活動]

区 分	令和3年度		令和4年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	6月～10月	参加人員 3,559人	5月～11月	参加人員 3,571人
プラネタリウム投映	821回	観覧者数 22,593	837回	観覧者数 25,702
学 習 教 室	4月～3月(72回)	参加人員 1,583	4月～3月(101回)	参加人員 2,288
星 空 観 望 会	5月～3月(8)	〃 273	5月～11月(6)	〃 978
展 示 会	4月～3月(7)	入場者数104,263	4月～3月(9)	入場者数 95,053

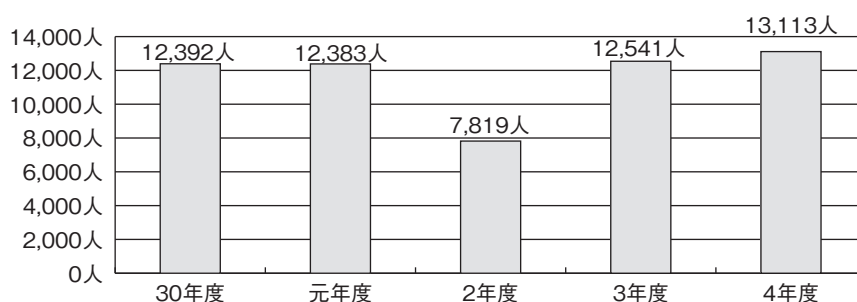
(2) 地下資源館事業費 1,543,219 円

[各種活動]

区 分	令和3年度		令和4年度	
学 習 教 室	4月～3月(461回)	参加人員10,685人	4月～3月(393回)	参加人員 9,847人
小学生サイエンス アイデア作品展	10.1～11.30(52日間) 展示点数479点 入場者数17,951		10.1～11.30(52日間) 展示点数466点 入場者数19,137	
企 画 展	10月～11月	〃 12,464	10月～11月	〃 13,693
展 示 会	10月～3月(1回)	〃 33,841	10月～3月(1回)	〃 35,725

[指標]

指標名：実験・講座等参加者数
指標説明：学習教室と星空観望会の参加者数



2 科学教育センター施設管理事業費 37,063,996 円（科学教育センター）

〔総括〕

老朽化した電気設備の修繕を行ったほか、プラネタリウム室へ向かう階段へ星空の階段アートを設置した。今後も教育環境の計画的な整備を行い、視聴覚教育センター・地下資源館の利用促進を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 26,700,867 円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	310日	310日	0.0%
入 館 者 数	延 78,903人	延 84,911人	7.6

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	プラネタリウム室冷暖房設備修繕、2階防火シャッター取替修繕、講堂南面サッシ防水修繕	進相コンデンサー取替修繕、プラネタリウム案内看板等設置

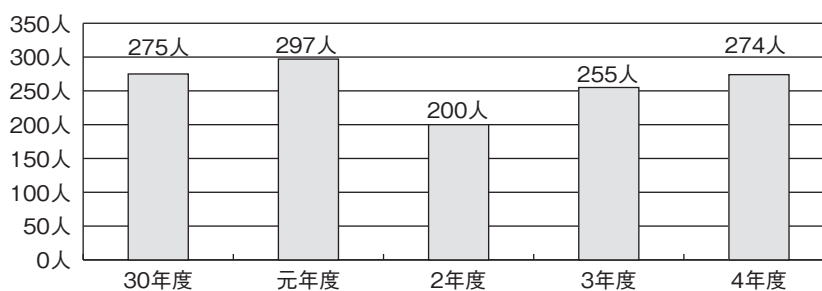
(2) 地下資源館施設管理事業費 10,363,129 円

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	展示室他パネル修繕、屋外コンクリート擁壁修繕	進相コンデンサー取替修繕、空調用温水ボイラー修繕、パネル展示修繕

〔指標〕

指標名：1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	5,532,543,617	1,228,814,979	2,075,100,000	655,630,777	1,572,997,861
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	5,532,543,617	1,228,814,979	2,075,100,000	655,630,777	1,572,997,861

1 小学校管理事業費 465,859,841 円 (教育政策課)

[総括]

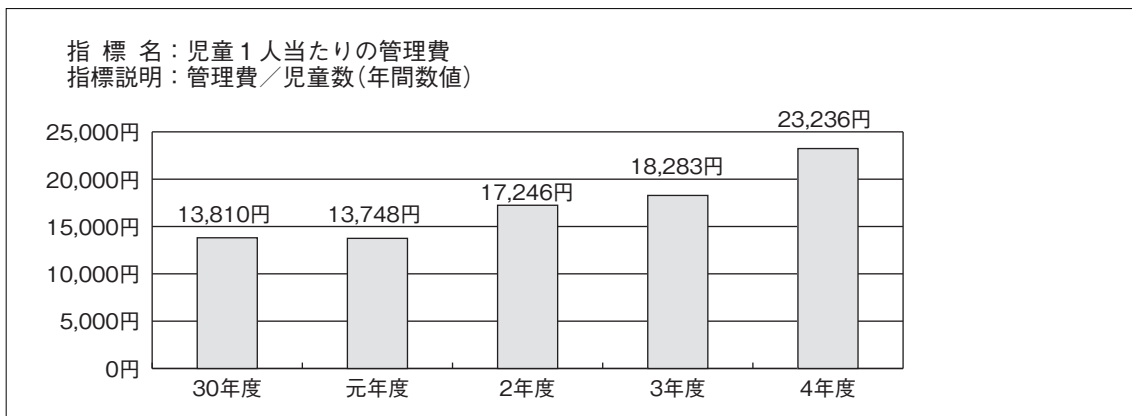
小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 465,859,841 円 (5月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	852学級	848学級
児 童 数	20,454人	20,049人

[指標]



2 小学校教育推進事業費 360,347,819 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教員が児童と向き合う時間の確保を図った。また、国の補助制度を活用し、感染症対策を行いながら児童の学びを保証するために必要な備品等を整備した。今後も更なる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

[実績及び成果]

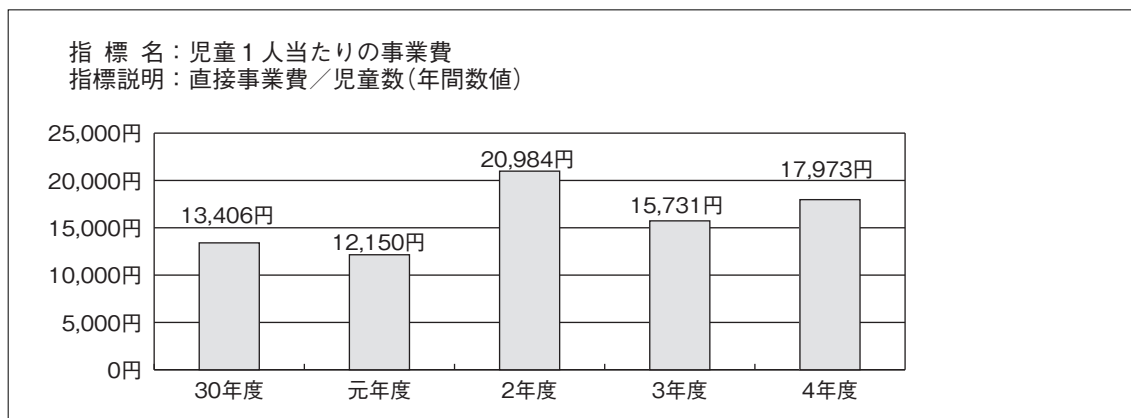
(1) 教育活動事業費 274,220,986 円

区 分	令和3年度	令和4年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	483,967冊	488,052冊
理科教育設備整備事業実施校数	18校	17校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 86,126,833 円

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
校務用コンピュータ費	1,308台	44,791,224円	1,308台	44,791,224円
校務支援システム費	1,308	41,311,109	1,308	41,335,609

[指 標]



3 小学校校舎等増改築事業費 1,180,000 円 (教育政策課)

[総 括]

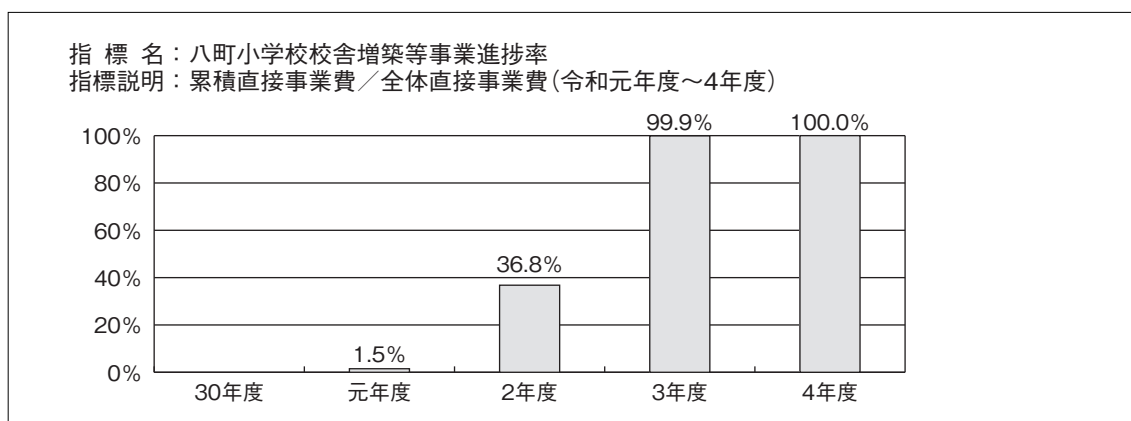
八町小学校では、イマージョン教育開始に伴う児童数増加による学校施設の狭あい化及び施設老朽化に対応するため、校舎長寿命化改良工事、プール解体工事及び校舎増築工事を行った。

[実績及び成果]

(1) 八町小学校校舎増築等事業費 1,180,000 円

(ア) 仮設校舎の賃借

[指 標]



※令和 4 年度の全体事業費にて、元年度から再算定

4 小学校校舎等長寿命化改良事業費 3,218,222,111 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、東田小学校はじめ8校の校舎で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 東田小学校校舎改良事業費 600,826,420 円
 (ア) 仮設校舎の賃借等 47,145,800 円
 (イ) 北校舎長寿命化改良工事 370,145,620 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 601,861,040 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,373㎡	外部・内部改修

- (ウ) 南校舎長寿命化改良工事 183,535,000 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 547,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,371㎡	外部・内部改修

- (2) 幸小学校校舎改良事業費 510,073,142 円
 (ア) 仮設校舎の賃借等 57,288,000 円
 (イ) 中校舎長寿命化改良工事 269,585,310 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 448,671,630 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	2,544㎡	外部・内部改修

- (ウ) 南校舎長寿命化改良工事 183,199,832 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 675,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,924㎡	外部・内部改修

- (3) 芦原小学校校舎改良事業費 357,087,940 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 19,184,000 円
 (イ) 校舎長寿命化改良工事 337,903,940 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 556,488,273 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,562㎡	外部・内部改修

- (4) 鷹丘小学校校舎改良事業費 349,748,939 円
 (ア) 仮設校舎の賃借等 17,489,780 円
 (イ) 校舎長寿命化改良工事 332,259,159 円
 3 年継続事業の最終年度 総事業費 546,020,659 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	3,038㎡	外部・内部改修

- (5) 向山小学校校舎改良事業費 528,870,783 円
 (ア) 仮設校舎の賃借等 64,702,000 円
 (イ) 北校舎長寿命化改良工事 379,458,783 円
 3 年継続事業の最終年度 総事業費 617,178,133 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	3,782㎡	外部・内部改修

- (ウ) 西校舎長寿命化改良工事 84,710,000 円
 3 年継続事業の 2 年度 総事業費 231,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 2 階建	1,001㎡	外部・内部改修

- (6) 大清水小学校校舎改良事業費 229,855,725 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 46,200,000 円
 (イ) 南校舎長寿命化改良工事 183,655,725 円
 3 年継続事業の 2 年度 総事業費 553,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	2,396㎡	外部・内部改修

- (7) 岩西小学校校舎改良事業費 446,490,462 円
 (ア) 北・中校舎長寿命化改良工事 446,490,462 円
 4 年継続事業の 3 年度 総事業費 1,026,600,000 円

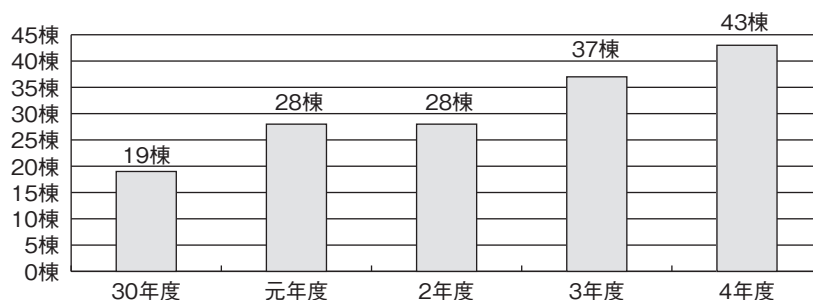
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建 (北校舎)	2,066㎡	外部・内部改修
鉄筋コンクリート造 3 階建 (中校舎)	2,432㎡		

- (8) 多米小学校校舎改良事業費 195,268,700 円
 (ア) 中・南校舎長寿命化改良工事 195,268,700 円
 4 年継続事業の 2 年度 総事業費 1,011,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建 (中校舎)	1,996㎡	外部・内部改修
鉄筋コンクリート造 3 階建 (南校舎)	1,874㎡		

[指標]

指標名：長寿命化改良工事実施延棟数
 指標説明：〃



5 小学校環境整備事業費 1,095,219,800 円（教育政策課）

[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、7校で校舎外壁等改修工事を実施したほか、4校においてトイレ大規模改造工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区分	令和3年度	令和4年度	
		規模等	学校名
(1) 校舎等改修事業費		928,004,563円	
長寿命化改良事業実施設計	1校	1校	飯村
長寿命化改良事業現況調査	—	4	豊、花田、磯辺、栄
電気設備改修工事	4	8	福岡、小沢、下地、西郷、植田、嵩山、石巻、賀茂
空調設備修繕	—	3	汐田、新川、西郷
トイレ洋式化工事	—	33	岩田、八町、松葉、松山ほか29校
体育館網戸設置工事	—	49	岩田、豊、東田、八町ほか45校
無線アクセスポイント機器購入	—	52	全校
階段昇降機購入	1	2	高師、下地
トイレ大規模改造工事	2	4	羽根井、老津、牟呂、二川
校舎外壁等改修工事	6	7	松山、野依、つつじが丘、前芝、下条、下地、汐田
校舎内装等改修工事	1	1	高師
(2) 運動場等整備事業費		109,025,400円	
大型複合遊具更新工事	1校	1校	野依
フェンス設置工事	—	1	二川
運動場整備工事	—	1	大村
フェンス改修工事	1	1	飯村
鉄筋コンクリート組立塀（万代塀）改修工事	—	1	牟呂
(3) 一般補修事業費		58,189,837円	
	52校	52校	全校

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	1,646,660,308	233,855,021	494,800,000	169,399,144	748,606,143
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	1,646,660,308	233,855,021	494,800,000	169,399,144	748,606,143

1 中学校管理事業費 286,105,158円 (教育政策課)

[総括]

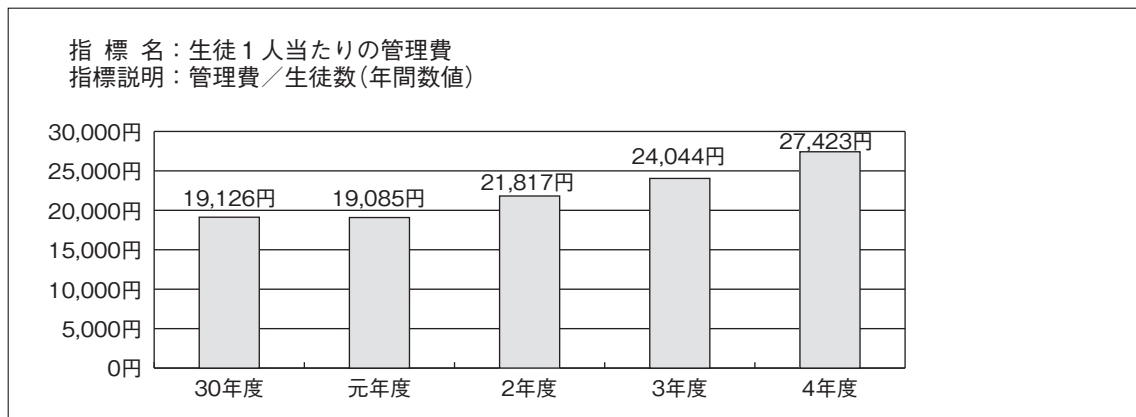
中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。また、「楽器寄附ふるさと納税」により、全国から楽器の寄附を受け入れ、中学校の音楽活動に活用した。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 286,105,158円 (5月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	364学級	369学級
生 徒 数	10,383人	10,433人

[指標]



2 中学校教育推進事業費 212,161,947円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教員が生徒と向き合う時間の確保を図った。また、国の補助制度を活用し、感染症対策を行いながら生徒の学びを保证するために必要な備品等を整備した。今後も更なる教育環境の向上に努めていく。

[実績及び成果]

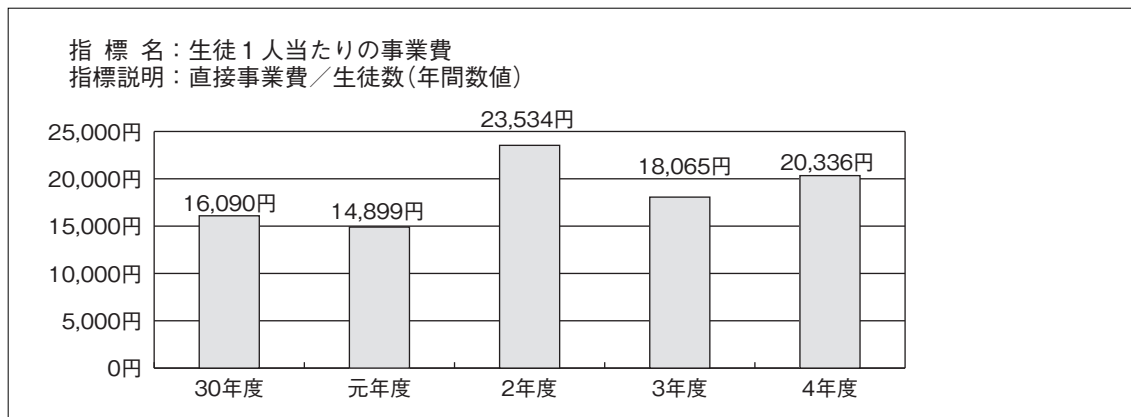
(1) 教育活動事業費 170,014,911円

区 分	令和3年度	令和4年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	321,083冊	320,889冊
理科教育設備整備事業実施校数	11校	11校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 42,147,036 円

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
校務用コンピュータ費	758台	24,659,856円	758台	24,659,856円
校務支援システム費	758	17,477,380	758	17,487,180

[指 標]



3 中学校校舎等長寿命化改良事業費 494,394,550 円 (教育政策課)

[総 括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、南部中学校武道場及び豊岡中学校はじめ 3 校の屋内運動場で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 南部中学校武道場改良事業費 172,954,100 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	武道場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造1階建	655㎡	外部・内部改修

(2) 豊岡中学校屋内運動場改良事業費 96,485,000 円

(ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 96,485,000 円

3 か年継続事業の 2 年度 総事業費 252,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,071㎡	外部・内部改修

(3) 中部中学校屋内運動場改良事業費 118,279,650 円

(ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 118,279,650 円

3 か年継続事業の 2 年度 総事業費 308,000,000 円

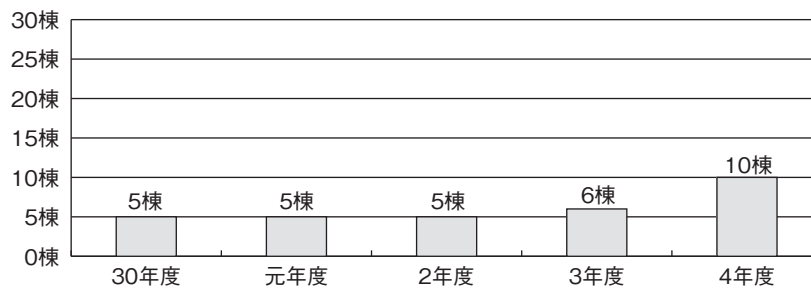
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,306㎡	外部・内部改修

- (4) 豊城中学校屋内運動場改良事業費 106,675,800 円
 (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 106,675,800 円
 3 か年継続事業の2年度 総事業費 307,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,302㎡	外部・内部改修

[指 標]

指 標 名：長寿命化改良工事实施延棟数
 指標説明：〃



4 中学校校舎等大規模改造事業費 219,092,655 円（教育政策課）

[総 括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、本郷中学校校舎で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

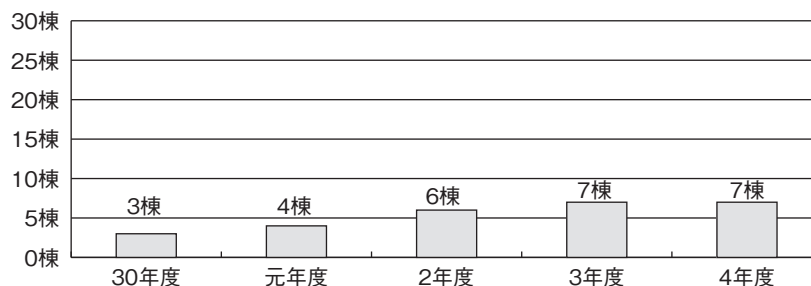
[実績及び成果]

- (1) 本郷中学校校舎改造事業費 219,092,655 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 9,059,000 円
 (イ) 南校舎大規模改造工事 210,033,655 円
 3 か年継続事業の最終年度 総事業費 345,898,245 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	1,916㎡	外部・内部改修

[指 標]

指 標 名：大規模改造工事实施延棟数
 指標説明：〃



5 中学校環境整備事業費

263,491,331 円（教育政策課）

〔総括〕

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、東陵中学校で校舎外壁等改修工事を実施したほか、南稜中学校で体育倉庫改築工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

〔実績及び成果〕

区 分	令和3年度	令和4年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	221,047,701円		
電気設備改修工事	3校	6校	東陽、高豊、中部、吉田方、北部、豊岡
下水管移設工事等	—	1	牟呂
図書室改修工事	—	1	南稜
体育倉庫改築工事	—	1	南稜
体育館網戸設置工事	—	16	東部、東陽、青陵、東陵、羽田、牟呂、吉田方、南部、南陽、本郷、北部、前芝、石巻、二川、五並、章南
無線アクセスポイント機器購入	—	22	全校
階段昇降機購入	—	2	中部、東陵
校舎外壁等改修工事	—	1	東陵
校舎内壁等改修工事	—	1	豊城
(2) 一般補修事業費	42,443,630円		
	22校	22校	全校

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	3,181,754,997	721,902,619	189,700,000	294,179,595	1,975,972,783
2目 生涯学習機会充実費 <多様な学習機会の充実>	592,670,962	37,185,000	155,900,000	36,224,898	363,361,064

1 生涯学習推進事業費 6,387,757 円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後も、多様な学習機会の提供に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 5,825,327 円

区 分	令和3年度			令和4年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	33	894人	148回	35	977人	170回	地区市民館ほか
専 門 コ ー ス	18	359	22	22	390	28	〃
高 齢 者 コ ー ス	20	728	110	22	977	134	〃
企 業 連 携 講 座	20	390	59	25	483	69	〃

(2) 生涯学習活動事業費 562,430 円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 404,000 円

発 行 部 数	令和3年度	令和4年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 30,000 円

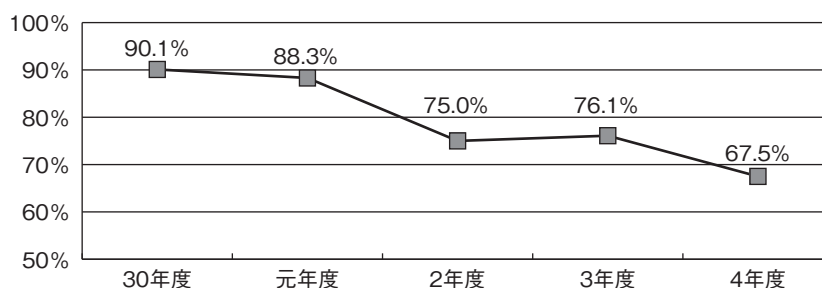
参 加 者	令和3年度	令和4年度
		0人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催事業費 128,430 円

参 加 者	令和3年度	令和4年度
		0人

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率
 指標説明：参加者数／募集定員



2 地区市民館管理運営事業費 299,507,157 円（生涯学習課）

[総括]

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに、適切に管理・運営し、利用促進に努めるとともに、新たな利用を促進するため、市内3大学を会場とした大学連携講座などをオンライン講座として全地区市民館に拡大して実施した。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 地区市民館管理運営事業費（22館） 299,507,157 円

[利用状況]

区 分	令和3年度			令和4年度			比 較 (延利用人員) %
	延件数 件	延利用人員 人	延図書貸出 冊	延件数 件	延利用人員 人	延図書貸出 冊	
二川地区市民館	1,387	63,697	39,129	1,846	77,854	40,797	22.2
豊岡 〃	927	20,294	2,281	984	21,637	1,955	6.6
東陽 〃	1,147	22,996	4,634	1,378	27,714	4,174	20.5
南稜 〃	1,886	44,090	—	2,143	56,937	—	29.1
青陵 〃	1,809	67,183	48,297	2,053	74,950	51,352	11.6
杉山 〃	665	16,950	658	104	2,157	19	△87.3
石巻 〃	995	45,004	21,267	1,211	48,059	16,557	6.8
羽根井 〃	886	16,043	442	1,122	19,827	264	23.6
吉田方 〃	1,050	22,122	750	1,463	27,649	614	25.0
五並 〃	421	7,842	611	543	9,038	652	15.3
牟呂 〃	1,031	37,113	10,156	1,508	38,937	10,045	4.9
高豊 〃	421	16,978	138	709	20,980	212	23.6
北部 〃	1,013	18,442	8,213	1,054	21,636	6,236	17.3
南部 〃	1,340	61,593	26,581	1,475	61,922	26,420	0.5
豊城 〃	1,637	33,818	1,397	2,144	39,710	822	17.4
中部 〃	1,144	19,806	1,023	1,339	21,892	865	10.5
高師台 〃	1,280	22,783	2,263	1,592	30,499	2,462	33.9
東部 〃	820	17,225	1,018	883	18,441	1,175	7.1
東部地区市民館飯村分館	2,265	43,675	2,092	2,557	50,348	1,679	15.3
南陽地区市民館	1,027	18,292	583	1,349	23,193	489	26.8
本郷 〃	1,483	24,839	582	1,726	33,480	670	34.8
東陵 〃	1,231	31,104	2,439	1,490	35,551	2,024	14.3
計	25,865	671,889	174,554	30,673	762,411	169,483	13.5

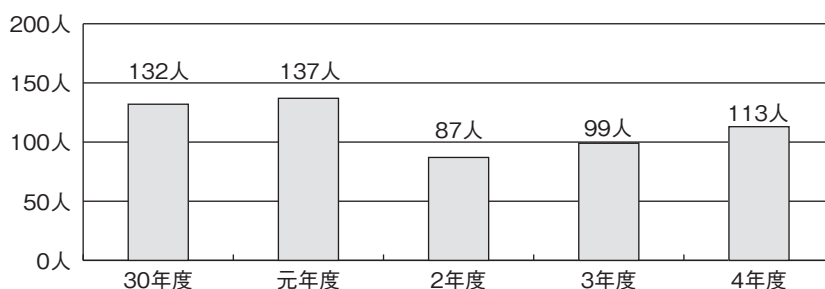
※杉山地区市民館は、施設の大規模改修工事に伴い、令和4年6月から令和5年3月まで休館

[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
	冷暖房機取替（二川・高豊・東部）	冷暖房機取替（二川・青陵・石巻・五並・北部・南部・南陽）

[指 標]

指 標 名：地区市民館1館1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／(開館日数×地区市民館数)



3 地区市民館整備事業費 181,778,140 円 (生涯学習課)

[総 括]

施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るため、杉山地区市民館において大規模改修工事及び青陵地区市民館において予防保全工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 地区市民館整備事業費 181,778,140 円
 - (ア) 大規模改修工事 (杉山) 168,267,940 円
 - (イ) 改修工事 (青陵) 13,510,200 円

4 青少年教育施設管理運営事業費 104,997,908 円（生涯学習課）

〔総括〕

青少年センターでは指定管理者による適正な管理運営のもと、青年講座や四季の行事教室、ジュニアチャレンジ講座など自主事業を実施した。また、少年自然の家と野外教育センターでは老朽設備の補修により利用者の安全確保を図るとともに、施設の一体的な管理運営を推進した。引き続き、青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 青少年センター管理運営事業費 46,023,043 円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
研 修 棟	延 8,068人	延 9,723人	20.5%
宿 泊 棟	延 47	延 193	4.1倍
運 動 広 場	延 3,681	延 3,733	1.4%
体 育 室	延 14,801	延 16,288	10.0
音 楽 室	延 1,743	延 2,665	52.9
大 研 修 室	延 4,924	延 7,400	50.3
多 目 的 室	延 1,745	延 1,771	1.5
そ の 他	延 6,939	延 6,671	△ 3.9
計	41,948	48,444	15.5

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	中央棟・研修棟高架水槽修繕	研修棟空調機取替修繕及び トイレ洋式化

(2) 少年自然の家管理運営事業費 15,873,238 円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
管 理 棟（日帰り）	延 2,968人	延 3,437人	15.8%
宿 泊 棟	延 252	延 1,586	6.3倍
キ ャ ン プ 場	延 13	延 128	9.8
計	3,233	5,151	59.3%

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	体育館軒天補修等修繕	創作活動室空調設備等修繕

(3) 野外教育センター管理運営事業費 26,304,790 円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
本 館（日帰り）	延 4,843人	延 6,066人	25.3%
宿 泊 室	延 713	延 3,880	5.4倍
計	5,556	9,946	79.0%

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	集会所引戸取替等修繕	

- (4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,462,837円

〔利用状況〕

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
利 用 者 数	延 667人	延 1,506人	2.3倍

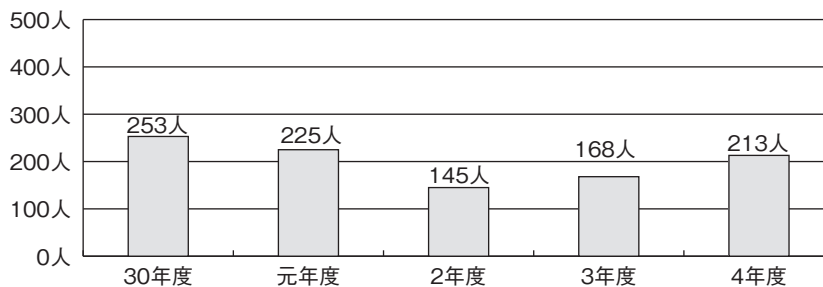
- (5) 江比間野外活動センター管理負担金 13,334,000円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
宿 泊 利 用	延 405人	延 887人	2.2倍
日 帰 研 修	延 2,758	延 3,216	16.6%
キ ャ ン プ 利 用	延 304	延 525	72.7
計	3,467	4,628	33.5
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 372	延 753	2.0倍

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 ＜地域・学校・家庭の協働の推進＞	17,371,164	1,722,000	0	60,400	15,588,764

1 地域教育推進事業費 9,593,548 円 (生涯学習課)

[総括]

地域の大人を講師として子ども向けに多様な体験活動等を行う講座を開催するなど、市民が自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元する機会を提供した。今後も学校や地域と連携して、新たな講師の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 4,710,398 円

(ア) 生涯学習推進セミナー事業費 144,000 円

内 容	令和3年度		令和4年度		
	延参加者	回数	延参加者	回数	開催場所
生涯学習推進セミナー	160人	5回	379人	12回	校区市民館ほか

(イ) 地域いきいき子育て促進事業費 454,500 円

内 容	令和3年度			令和4年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	22	2,001人	131回	17	1,767人	107回	校区市民館ほか

(ウ) 地域未来塾ステップ推進事業費 493,898 円

内 容	令和3年度			令和4年度			
	会場数	延参加者	回数	会場数	延参加者	回数	開催場所
地域未来塾ステップ推進事業	1	194人	22回	1	209人	22回	青少年センター

(エ) トヨッキースクール推進事業費 3,618,000 円

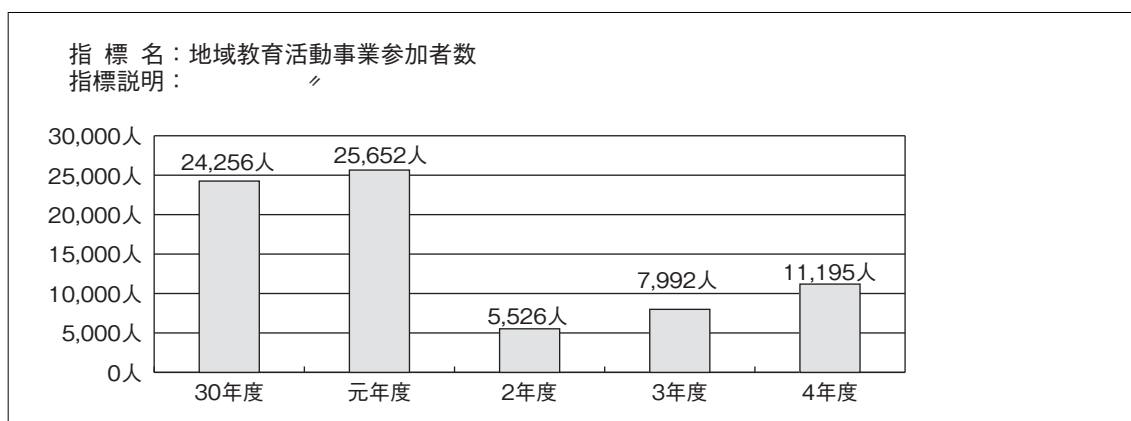
内 容	令和3年度			令和4年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
トヨッキースクール推進事業	30	5,637人	346回	35	8,840人	471回	校区市民館ほか

(2) 成人式開催事業費 4,883,150 円

内 容	令和3年度			令和4年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
二十歳の集い	51	3,641人	46か所	51	3,431人	46か所	小学校ほか

※令和3年度は成人式として開催

[指 標]



2 家庭教育事業費 1,082,815 円（生涯学習課）

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育セミナー及び明るい家庭づくり推進大会等を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座を開催した。今後も学校や家庭、地域との連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 1,082,815 円

内 容	令和3年度			令和4年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家庭教育セミナー	19	325人	19回	16	364人	16回	地区市民館ほか
子育てお悩み解決塾	10	243	10	9	165	9	地区市民館ほか
子育て学習講座	28	1,575	28	29	1,523	29	小学校
思春期家庭教育講座	0	0	0	0	0	0	中学校

3 青少年交流活動促進事業費 390,361 円（生涯学習課）

[総括]

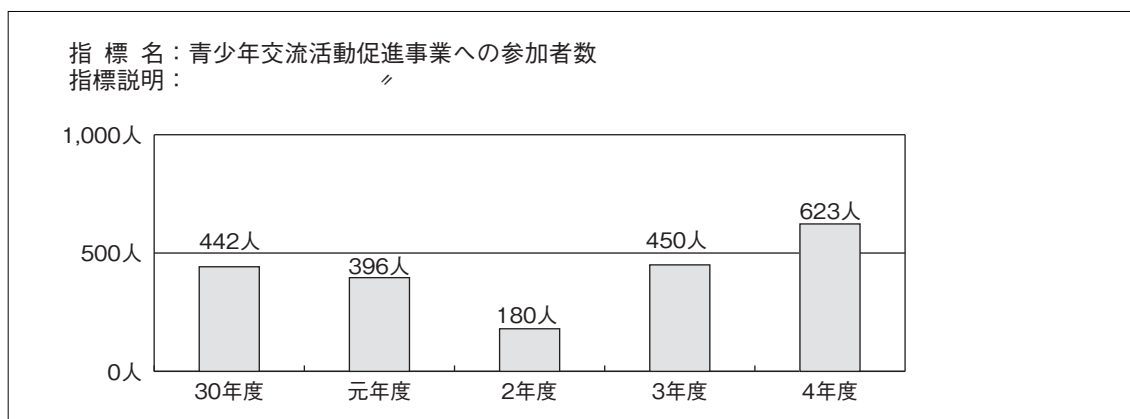
親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「自然体験プログラム」や「くろしおチャレンジプログラム」を実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 青少年交流活動促進事業費 390,361 円

内 容	令和3年度		令和4年度		
	回 数	参加者	回 数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	12回	377人	15回	507人	少年自然の家 野外教育センター
くろしおチャレンジプログラム	4	73	3	46	少年自然の家
自然体験指導者養成プログラム	2	11	5	70	少年自然の家

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 放課後児童対策費 <放課後の学びと交流機会の充実>	1,064,559,418	563,568,619	3,900,000	156,493,860	340,596,939

1 放課後児童対策事業費 1,064,559,418円 (生涯学習課)

[総括]

放課後児童クラブの利用者ニーズに応えるため、公営児童クラブを新たに4か所開設したほか、民営児童クラブ2か所の施設整備に対する助成を行うとともに、夏休み期間の利用に限定した児童クラブを7か所開設した。また、児童クラブに従事する職員の処遇改善及び人材確保のため、3%程度の賃金引上げに係る費用の助成を行った。さらに放課後の新たな学びの場として、多彩な学びや交流機会を提供する「のびるん de スクール」を2学期より全小学校へと拡大した。今後も学校や地域が連携して、新たな講師やスタッフ人材の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 公営児童クラブ運営事業費 474,374,329円

区 分	令和3年度		令和4年度	
事業費	55クラブ	416,376,771円	58クラブ	474,374,329円
年間利用者数	延 19,391人		延 20,985人	

(2) 民営児童クラブ運営事業費 425,848,184円

区 分	令和3年度		令和4年度	
民営児童クラブ運営費補助金等	41クラブ	388,912,314円	40クラブ	411,855,990円
民営児童クラブ施設整備費補助金	2	3,639,000	2	684,000
民営児童クラブ利用料助成費	延 709人	12,429,120	延 734人	13,308,194

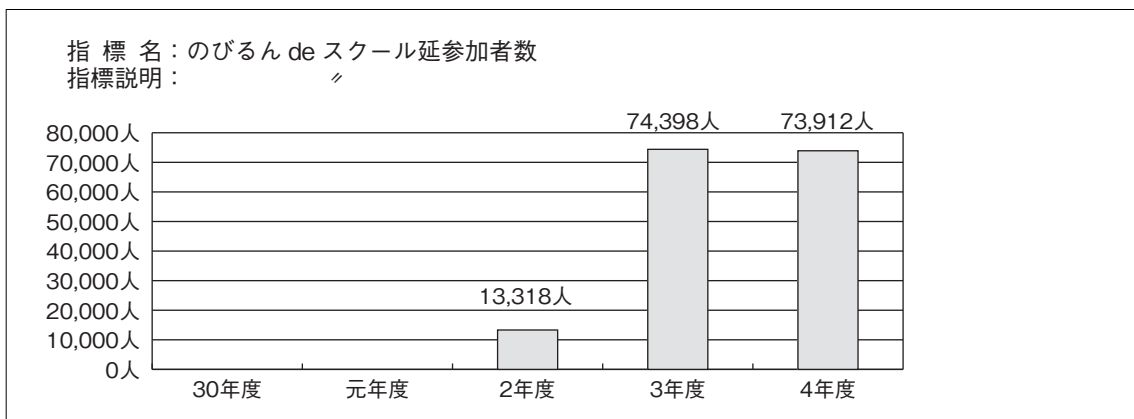
(3) 放課後子ども教室運営事業費 10,471,111円

内 容	令和3年度		令和4年度	
		6教室の開設		6教室の開設

(4) のびるん de スクール運営事業費 153,865,794円

内 容	令和3年度			令和4年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
のびるん de スクール	12	74,398人	2,385回	52	73,912人	2,291回	小学校ほか

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 図 書 館 費 < 図 書 館 の 充 実 >	744,204,933	3,551,000	0	2,832,914	737,821,019

1 中央図書館事業費 403,453,514 円 (図書館)

[総括]

図書館は令和5年1月15日に開館110周年を迎えた。図書館にゆかりのある110人が選んだおすすめの本110冊の展示や図書館の歴史、サービスから出題した110周年検定など、1年を通して様々な記念イベントや展示を行い、図書と人、知識と人、人と人がつながり、交流のきっかけとなる機会を提供することができた。また、徳川家康と東三河にちなんだ資料展や講演会を行い、郷土について知ってもらえる機会を設けた。今後も「知の拠点」として、多様化・高度化する図書館へのニーズに対応するため、適切なサービスの提供や環境の整備に努める。

[実績及び成果]

- | | |
|------------------|--------------|
| (1) 児童図書業務費 | 11,462,263 円 |
| (2) 一般図書業務費 | 31,634,811 円 |
| (3) レファレンス業務費 | 1,770,968 円 |
| (4) 郷土・司文庫等図書業務費 | 5,516,972 円 |
| (5) AV・CD電子図書業務費 | 722,526 円 |

[利用状況等]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	286日	289日	1.0%
入 館 者 数	延 276,960人	延 245,147人	△11.5
館 外 貸 出 人 数	延 270,894	延 359,013	32.5
館 外 貸 出 冊 数	延 863,585冊	延 855,562冊	△ 0.9
館 外 貸 出 人 数 (C D)	延 7,224人	延 7,534人	4.3
館 外 貸 出 点 数 (C D)	延 12,898点	延 13,481点	4.5
蔵 書 冊 数	695,029冊	697,161冊	0.3
() 内は司文庫で再掲	(35,440)	(35,542)	(0.3)
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	6,571点	6,266点	△ 4.6

※ Web から貸出延長した人数と冊数に関しては、全て中央図書館に計上した。

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
図 書	一 般	6,175冊	7,096冊	14.9%
	児 童	2,484	3,151	26.9
	参 考	205	168	△18.0
	郷 土	94	163	73.4
	司 文 庫	63	102	61.9
	計	9,021	10,680	18.4
逐次刊行物	雑 誌 等	237種	242種	2.1
	新 聞	24	24	0.0
	追 録	8	8	0.0
視 聴 覚 資 料	C D、 D V D	67点	86点	28.4

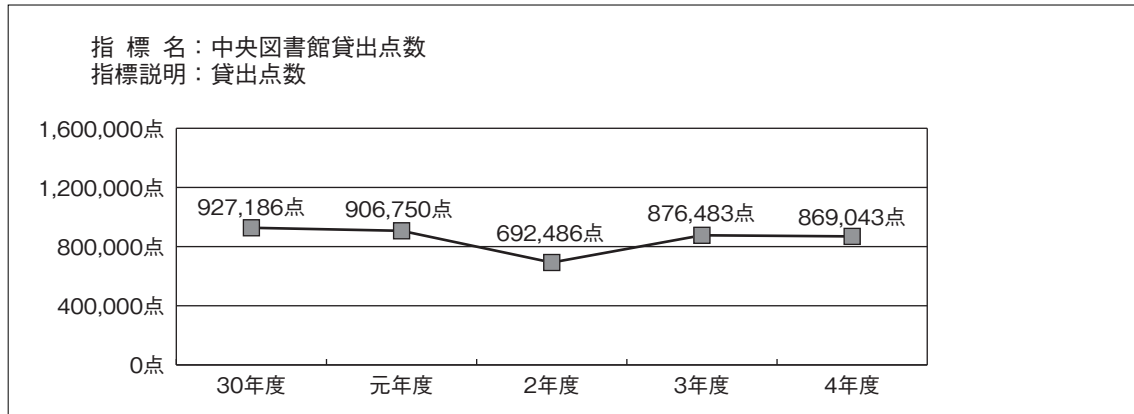
(6) 行事開催業務費

9,704,675 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	7回	延 28,614人	6回	延 17,994人
資 料 展 関 連 行 事	5	延 231	6	延 337
市 民 向 け 講 座	11講座	延 225	10講座	延 145
ボランティア等育成講座、研修	5	延 154	5	延 166
図書館子どもフェスタ		延 697		延 599
夏休み子どもフェスティバル		—		延 155
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	44回	配布人数 2,516 (絵本等)	40回	配布人数 2,416 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	20	延 1,054	30	延 2,248
お は な し の へ や	117	延 1,393	219	延 2,668
調 べ 学 習 コ ン ク ー ル	36校	409	37校	277
情 報 発 信 コ ー ナ ー 展 示	14回		18回	
外 部 連 携	5		5	
出 前 講 座	1	32	2	53
図書館開館110周年記念事業 (うち再掲)		—	34 (16)	延 13,268 延 11,297)

※図書館開館110周年記念事業に関しては、全て中央図書館に計上した。

[指 標]



2 向山図書館事業費

37,212,634 円（図書館）

[総括]

市民からの読書相談等に迅速に対応するとともに、インターネットによる図書資料などの検索や予約の周知を行い、図書館サービスの充実を図った。また、図書館開館 110 周年記念事業として、市民館まつりに出展し、おはなし会や仕掛け絵本展を行った。分室利用者のニーズに応じた配本業務に取り組むとともに、ネットワーク館（図書館システム設置分室）に特設コーナーを設置するなど、図書室の利用促進を図った。今後も配本機能の充実を図り、広範な市域の利用者に充実した図書館サービスを提供するように努める。

[実績及び成果]

(1) 配本業務費

32,244,395 円

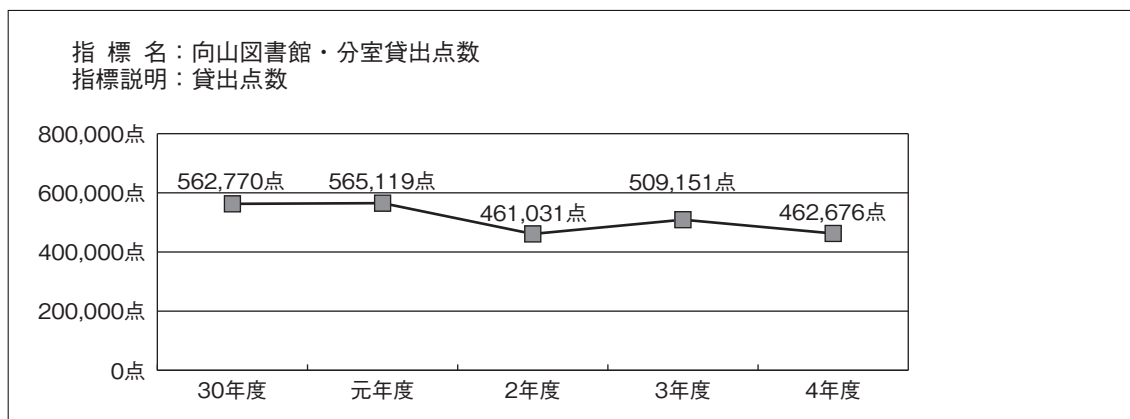
[利用状況等]

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
開 館 日 数		286日	289日	1.0%
入 館 者 数		延 113,804人	延 99,413人	△12.6
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 74,436	延 66,605	△10.5
	分 室	延 80,780	延 82,887	2.6
	計	延 155,216	延 149,492	△ 3.7
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 259,814冊	延 222,655冊	△14.3
	分 室	延 249,337	延 240,021	△ 3.7
	計	延 509,151	延 462,676	△ 9.1
蔵 書 冊 数		255,041	256,197	0.5

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
図 書	一 般	3,685冊	3,139冊	△14.8%
	児 童	3,113	4,447	42.9
	参 考	1	1	0.0
	郷 土	5	7	40.0
	計	6,804	7,594	11.6
逐次刊行物	雑 誌	47種	48種	2.1
	新 聞	10	10	0.0

[指 標]



3 大清水図書館事業費

35,521,439 円（図書館）

〔総括〕

市民の読書への関心を高めるため、読み聞かせや本に触れるきっかけとなるような講座を行うとともに、高校の部活動を紹介する企画展等を開催することにより、若年層の図書館利用の促進を図った。また、図書館開館 110 周年記念事業として、110 年前の図書館の様子やその当時の出来事を年表や写真、本を使って紹介する展示のほか、閉館後の館内でハロウィンをテーマとしたイベントなどを行った。今後も利用者ニーズに沿った図書資料を提供し、図書館サービスの充実に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 図書業務費

8,247,778 円

〔利用状況等〕

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
開 館 日 数	286日	289日	1.0%
入 館 者 数	延 216,770人	延 221,403人	2.1
館 外 貸 出 人 数	延 52,166	延 51,111	△ 2.0
館 外 貸 出 冊 数	延 243,315冊	延 226,304冊	△ 7.0
館 外 貸 出 人 数 (C D)	延 881人	延 815人	△ 7.5
館 外 貸 出 点 数 (C D)	延 1,433点	延 1,386点	△ 3.3
蔵 書 冊 数	77,466冊	80,735冊	4.2
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	784点	839点	7.0

〔資料購入状況〕

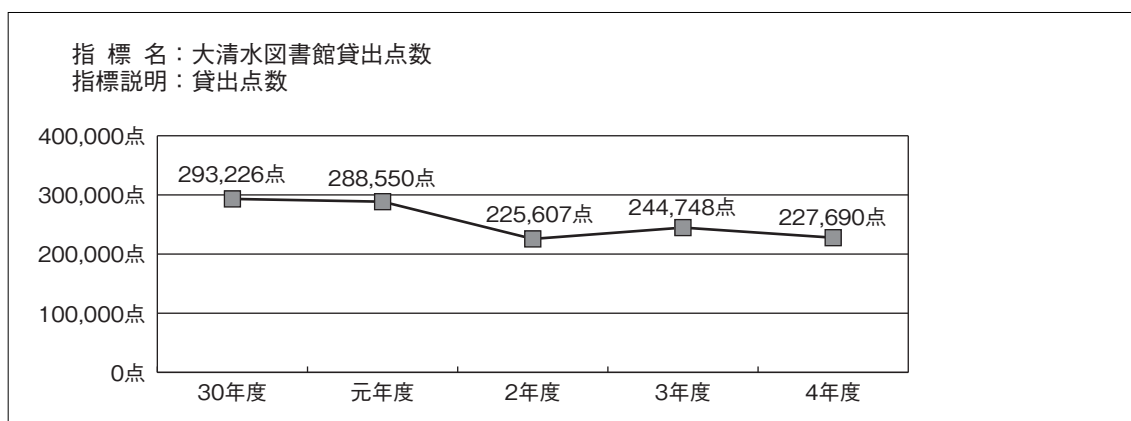
区 分	内 容	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
図 書	一 般	2,387冊	2,080冊	△12.9%
	児 童	1,562	1,742	11.5
	郷 土	10	10	0.0
	計	3,959	3,832	△ 3.2
逐次刊行物	雑 誌 等	122種	116種	△ 4.9
	新 聞	11	11	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D	66点	55点	△16.7

(2) 行事開催業務費

34,687 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
市 民 向 け 講 座	1回 延 21人	0回 延 0人
ミ ナ ク ル ま つ り	延 144	延 354
お は な し の へ や	42 延 358	84 延 921
出 前 講 座	1 延 24	2 延 166
外 部 連 携 展 示 等	4	10

[指標]



4 まちなか図書館事業費 201,713,706 円 (図書館)

[総括]

まちなか図書館は開館1周年を迎えた。基本的な図書館機能に加え、人と人との交流によって生み出される知識や情報、体験などを共有・発信できる新しいカタチの図書館として、図書館主催のイベントや講座だけでなく、外部との連携によるワークショップや企画展示などを開催することで、「ひととつながり、まちとつながる」図書館サービスを提供した。今後も知識や情報の発信・交流の場としての機能の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 図書業務費 16,853,454 円

[利用状況等]

区分	令和3年度	令和4年度	比較
開館日数	115日	339日	2.9倍
入館者数	延 218,149人	延 586,703人	2.7
館外貸出人数	延 46,100	延 135,095	2.9
館外貸出冊数	延 161,235冊	延 471,769冊	2.9
蔵書冊数	65,041	71,107	9.3%
視聴覚資料所蔵数	90点	121点	34.4

[資料購入状況]

区分	内容	令和3年度	令和4年度	比較
図書	一般	24,835冊	4,435冊	△82.1%
	児童	5,942	1,686	△71.6
	計	30,777	6,121	△80.1
逐次刊行物	雑誌等	304種	313種	3.0
	新聞	16	16	0.0
視聴覚資料	D V D	90点	31点	△65.6

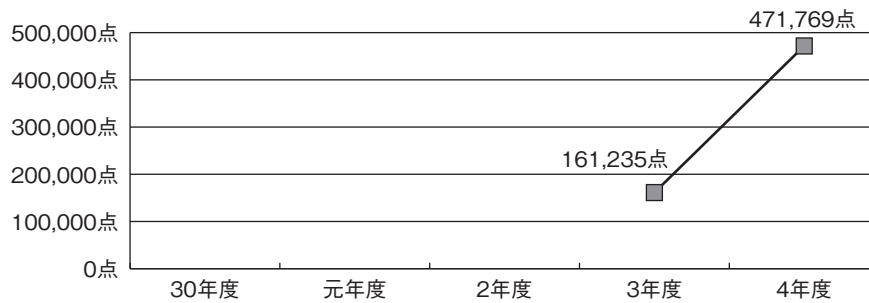
(2) 行事開催業務費

595,373 円

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
資 料 展	9回		18回	
資 料 展 関 連 行 事	3	延 122人	13	延 635人
映 画 上 映 会	4	延 92	67	延 1,121
お は な し の へ や	38	延 921	97	延 2,459
まちなか図書館主催イベント	38	延 1,314	132	延 1,796
外 部 連 携	75	延 1,627	323	延 5,114
出 前 講 座	7	423	1	28

[指 標]

指 標 名：まちなか図書館貸出点数
 指標説明：貸出点数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 美術博物館費 <美術博物館の充実>	269,667,608	192,000	0	81,098,724	188,376,884

1 美術博物館事業費 260,093,967 円 (美術博物館)

[総括]

4～5月にコレクション展及び豊橋ハリストス正教会が所蔵する山下りん作のイコン（聖画像）などを紹介する小企画展を開催した。6月から改修工事のため一時休館したが、物資不足による工事遅延のため8～10月に再開館し、コレクション展示のほか、市内小中学校に呼びかけて1階展示室壁面に壁画を共同制作するプロジェクトを実施し、再休館直前に開催したクロージング・イベントで公開した。休館中は、コレクションを二川宿本陣資料館で出張展示する「びはく移動展Ⅰ」「びはく移動展Ⅱ」を開催したほか、市民を対象とする「びはく講座」の館外開催や市内小中学校を対象とする出前授業のプログラム数を増やすなど、アウトリーチ活動に重点を置いた。また、美術・歴史の魅力発信を推進するため、収蔵品データベースのホームページ公開やスマートフォンアプリによる音声ガイド及び展示品解説サービスの導入に向けて準備を行った。

令和6年3月の再開館までの間、引き続きアウトリーチ活動に力を注ぐとともに、美術博物館内の整備を計画的に進め、開館記念展に向けて調査研究を行うなどリニューアルオープンに合わせてソフト面でも刷新と充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 39,990,322 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	300日	106日	△ 64.7%
企 画 展	7件 延 67,014人	3件 延 38,321人	△ 42.8
共 催 展	5 延 4,665	2 延 2,967	△ 36.4
一 般 展	45 延 36,646	10 延 9,964	△ 72.8
テ ー マ 展 示	4 延 9,767	0 延 0	皆減
公 開 講 座 等	19 延 1,103	15 延 5,990	5.4倍
計	119,195	57,242	△ 52.0%

(2) 展覧会事業費 11,257,892 円

(ア) 展覧会開催事業費 10,906,892 円

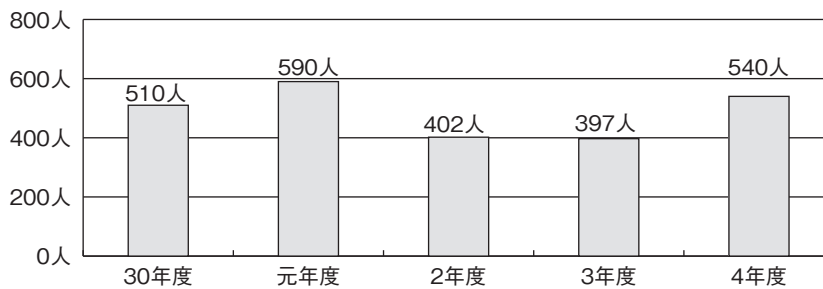
令和3年度		令和4年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
第43回豊橋美術展	2,768人	第44回豊橋美術展	4,114人	48.6%
第71回豊橋市民展	2,716	—	0	皆減
プレイバック!絵画コレクション名品展	2,249 (2回246人)	豊橋ハリストス正教会 山下りん作のイコン(聖画像)等展示	5,124 (—)	—
三沢厚彦 ANIMALS 2021 in TOYOHASHI	10,806 (6回470人)	びはく クロージング・イベント	8,949 (5回2,880人)	—
第8回トリエンナーレ豊橋 星野真吾賞展 ～明日の日本画を求めて～	1,983 (1回103人)	びはく移動展Ⅰ 「こわい絵 in HONJIN」 ※二川宿本陣資料館	4,469 (3回208人)	—
郷土史家のコレクション ～橋良文庫と草間文庫～	3,403 (1回22人)	びはく移動展Ⅱ 「Life is Journey」 ※二川宿本陣資料館	2,066 (—)	—
芳年 激動の時代を生きる 鬼才浮世絵師	5,171 (3回148人)	—	—	—
常設展	37,918	常設展	20,134	△46.9
延650日	67,014 (13回989人)	延224日	44,856 (8回3,088人)	△33.1

※ () は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

※豊橋市民展は、美術博物館大規模改修工事のため未実施

[指標]

指標名：美術博物館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数/開館日数



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,479,096 円（美術博物館）

[総括]

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和 19 年に木造校舎として建てられ、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、平成 28 年には収蔵室本棟、西棟が国登録有形文化財に登録された。建設当時の趣を残す市内に唯一の木造校舎として魅力の発信、建物の有効活用に努めており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。令和 4 年度は前年度に比べ利用者数は減少したが、ロケーションや特色を活かした普及活動、季節の展示コーナーの新規設置等により、個人利用が引き続き広がりを見せている。今後も、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、利用者の拡大を図る。

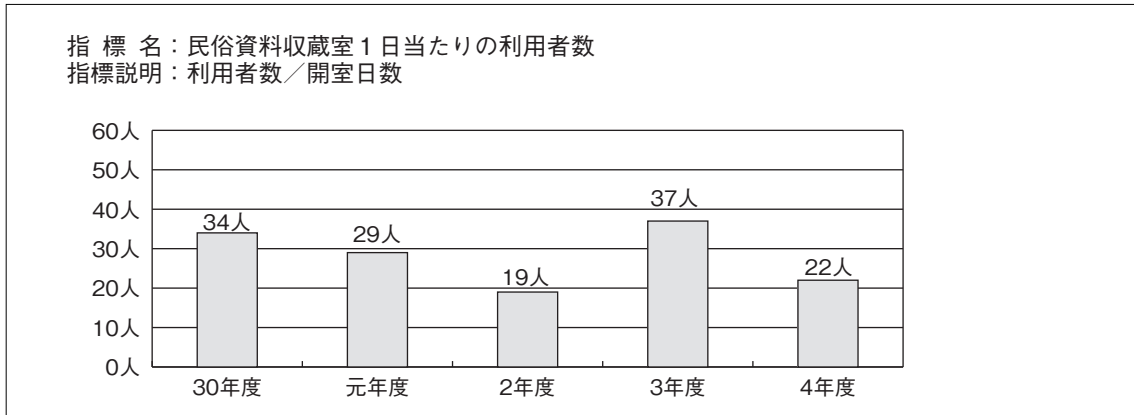
[実績及び成果]

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,479,096 円

[利用状況]

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
開 室 日 数	146日	136日	△ 6.8%
延 入 室 者 数	5,391人	3,041人	△43.6

[指 標]



3 美術博物館整備事業費 1,762,475 円（美術博物館）

[総括]

施設の長寿命化を図り、美術館・博物館資料の展示・保管に最適な施設として利用者が快適に利用できるよう、設計施工一括発注方式を採用した大規模改修整備工事を行った。令和 4 年度は物資不足のため工期延長となったが、今後は、改修工事を計画的に進め、資料の保存環境、来館者の鑑賞環境及び利便性の向上に努める。

[実績及び成果]

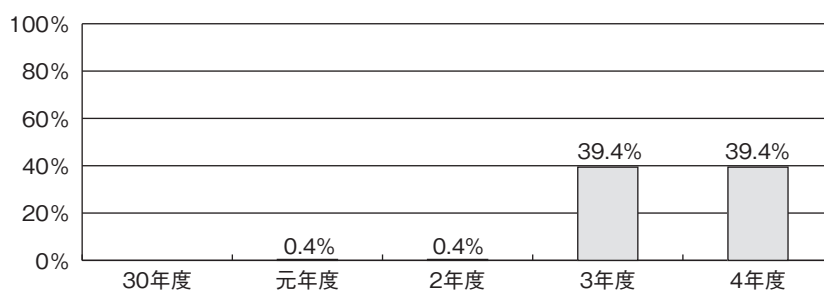
- (1) 美術博物館整備事業費 1,762,475 円
 (ア) 美術博物館大規模改修工事 0 円
 3 か年継続事業の 2 年度 総事業費 1,522,500,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建	空調設備更新、来館者用エレベーター 新設、内装改修	5,317㎡

[指 標]

指 標 名：美術博物館整備事業進捗率

指標説明：実施事業費／総事業費(令和元年度～5年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 歴史資源保存活用費 <文化財の保護と次世代への継承>	100,265,902	677,000	6,500,000	9,000,400	84,088,502

1 二川宿本陣資料館事業費 70,314,474 円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、牟呂村が発祥の地である幕末の民衆運動を取り上げた「ええじゃないか」、日本の名城や歴史舞台を精密な描写で描いた歴史考証イラストを展示した「甦る名城 香川元太郎城郭原画展」、平成31年から令和4年にかけて寄贈された人形のコレクション展「おひなさまと武者人形 柴田コレクション」などの企画展のほか、恒例の「ひなまつり」をはじめ五節句のイベントなどを開催した。また、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだほか、文化・歴史の魅力発信を推進するため、スマートフォンアプリによる学芸員の音声案内や展示品の英語音声解説サービスを導入した。さらにガバメントクラウドファンディングでの寄附金を活用し、本陣主屋の漆喰塗替修繕を行った。

今後も集客を見込める魅力的かつ画期的な企画展の開催に努めるとともに、イベント等開催にあたって地域住民との更なる連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 31,225,919 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	310日	312日	0.6%
延 入 館 者 数	21,417人	26,845人	25.3

(2) 展覧会事業費 8,004,462 円

(ア) 展覧会開催事業費 5,730,259 円

令 和 3 年 度		令 和 4 年 度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
開館30周年記念「竹久夢二展」	4,854人	甦る名城 香川元太郎城郭原画展	3,002人
高師原・天白原演習場とその時代	1,665	—	—
島田市博物館所蔵「海野光弘展」	2,514	—	—
常設企画展 2回	3,095	企画展 3回	13,189
記念講演会等 2回	45	記念講演会等 2回	51
計	12,173	計	16,242

(イ) 五節句行事開催等事業費 1,349,029 円

令和3年度		令和4年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 1,415人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,271人
—	—	本陣体験講座 「土人形絵付け体験(招き猫)」	参加者 18
琴のしらべ	参加者 11	琴のしらべ	24
ほんじん講座	受講者 6	ほんじん講座	受講者 13
本陣古文書講座(初級)	70	本陣古文書講座(初級)	61
七夕の節句	会期中入館者 770	七夕の節句	会期中入館者 949
夏休み本陣体験 「本陣のお化け屋敷」	参加者 81	夏の夜の本陣体験 「本陣のおばけ屋敷」	参加者 83
本陣体験講座 「和本を作ろう」	9	本陣体験講座 「和本を作ろう」	11
菊の節句－重陽－	会期中入館者 482	菊の節句－重陽－	会期中入館者 470
本陣古文書講座(中級)	受講者 68	本陣古文書講座(中級)	受講者 72
本陣体験講座 「風呂敷ラッピング講座」	20	本陣体験講座 「風呂敷ラッピング講座」	13
本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	10	本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	11
—	—	本陣体験講座 「土人形絵付け体験(干支・雛人形)」	23
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 725	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 739
ひなまつり	6,025	ひなまつり	9,235
本陣句会	応募者 56	本陣句会	応募者 136

(3) 資料収集事業費 980,814 円

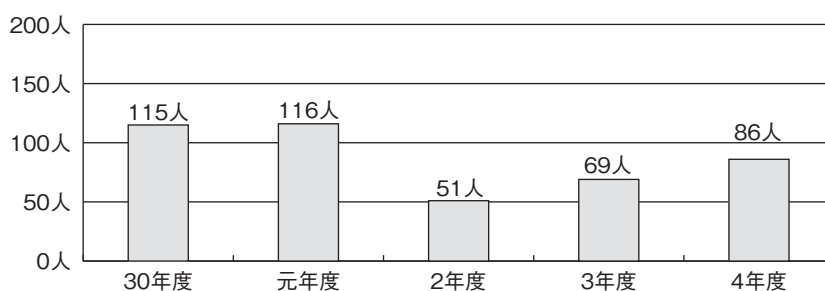
内 容	令和3年度	令和4年度
	東海道勝景従日本橋至荒井等 11点	増訂琉球入貢紀略等 7点

(4) 二川宿本陣まつり(大名行列)開催事業補助金 570,000 円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
	0円	570,000円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館 1 日当たりの入館者数
指標説明：入館者数／開館日数



2 二川宿本陣資料館整備事業費 7,507,500 円（美術博物館）

[総 括]

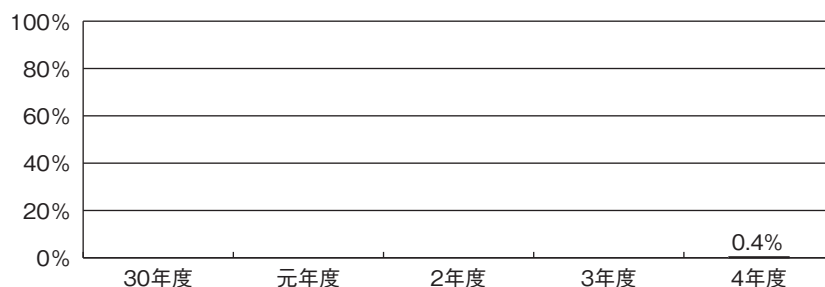
開館から 31 年経過する資料館の長寿命化と適切な維持管理、来館者の鑑賞環境及び利便性の向上のため、令和 5 年度・6 年度の改修工事に向けて、実施設計を行った。

[実績及び成果]

- (1) 二川宿本陣資料館整備事業費 7,507,500 円
- (ア) 大規模改修実施設計 7,260,000 円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館整備事業進捗率
指標説明：実施事業費／総事業費(令和4年度～6年度)



3 商家「駒屋」事業費

22,443,928 円（美術博物館）

[総括]

地域の交流、生涯学習、観光の拠点となる体験型施設として、駒屋横丁「駒屋であそびん」や和創作、煎茶体験や和菓子作り、二川宿本陣資料館と連携した「福よせ雛」などの各種イベントを定期的に開催した。また、カフェでの飲食提供や、ショップでの手作り小物や駄菓子、土産物などの物品販売を行い、地域住民や観光客の集客に努めるとともに、ガバメントクラウドファンディングでの寄附金を活用し、漆喰塗替修繕を行った。今後も、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設として入館者増に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 22,443,928 円

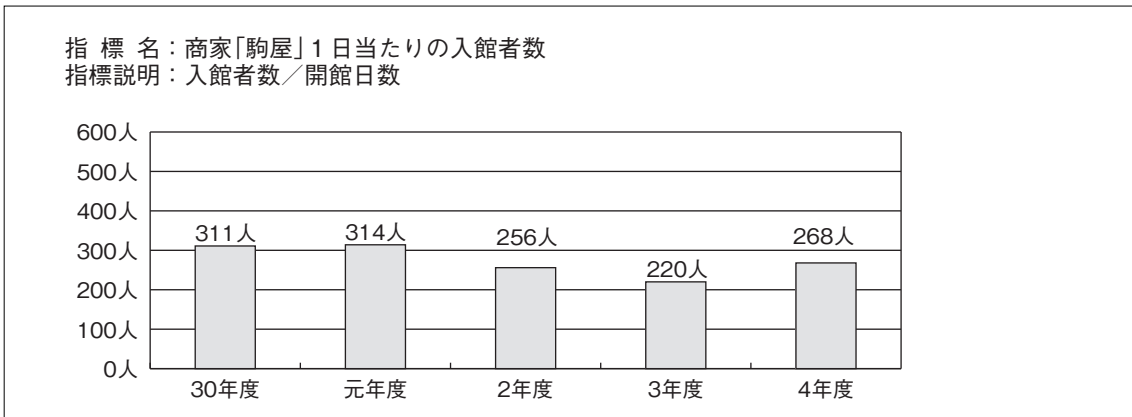
[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	310日	312日	0.6%
延 入 館 者 数	68,343人	83,531人	22.2

[主なイベント開催状況]

令和3年度		令和4年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
オーディオで遊ぼう	500人	駒屋の夜店	500人
駒屋横丁	2,837	駒屋横丁	4,540
ひなまつり	会期中入館者 14,095	ひなまつり	会期中入館者 18,961

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 文化財保護活動費 <文化財の保護と次世代への継承>	231,428,134	115,007,000	23,400,000	8,468,399	84,552,735

1 文化財保護事業費 231,428,134 円 (美術博物館)

[総括]

市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、指定・登録文化財に関する各種調査や保護活動のほか、文化財を活用した展示や講座の開催、国史跡・瓜郷遺跡の用地購入、市史跡・吉田城址の石垣解体修理に伴う確認緊急調査を実施するとともに、吉田城址を文化財として適切に保存し、魅力的な郷土の歴史資源として活用していくため、地元関係者、有識者と連携して保存活用計画を策定した。

今後も、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 文化財調査事業費 220,076,148 円

(ア) 市内遺跡発掘調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	三ツ山古墳の確認調査	

(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	西側古墓・西側北遺跡の発掘調査	

(ウ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	境松遺跡の発掘調査	

(エ) 吉田城址確認緊急調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	吉田城址の確認緊急調査	

(オ) 報告書作成業務

内 容	令和3年度	令和4年度
	埋蔵文化財調査報告書第156・157集の作成	

(カ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	大蚊里貝塚・吉田城址ほかの試掘確認調査	

(キ) 指定天然記念物植生調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自生地の植生調査や回復作業	

(ク) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	令和3年度	令和4年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購入	

(ケ) 文化財保存活用地域計画策定準備

内 容	令和3年度	令和4年度
	計画策定に向けた市民アンケートの実施	

(コ) 吉田城址保存活用計画策定

内 容	令和3年度	令和4年度
	—	

(2) 文化財保存事業補助金 3,394,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	豊橋ハリストス正教会聖堂保存修理 赤岩寺重要文化財等防災施設整備 正圓寺木造地藏菩薩立像の修理	

(3) 文化財活用事業費 7,957,986 円

(ア) 文化財展示公開等事業費

内 容	令和3年度	令和4年度
	「渡来人の墓・積石塚展」を開催	

(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

内 容	令和3年度	令和4年度
	現地見学（戦争遺跡めぐり・文化財めぐり）、勾玉づくりなど体験講座を開催	

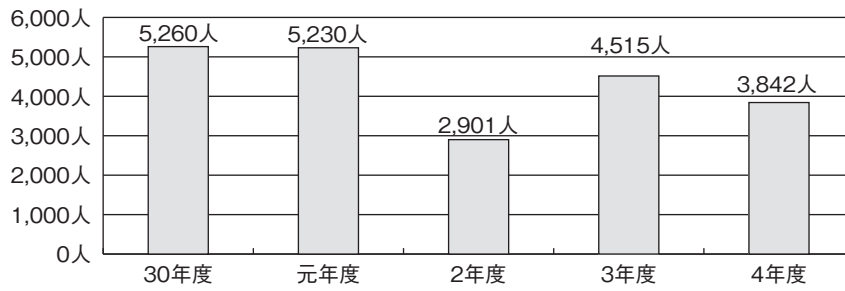
(ウ) 埋蔵文化財活用事業費

内 容	令和3年度	令和4年度
	とよはしシンポジウム「縄文時代の魅力を探る」を開催 埋蔵文化財説明看板の設置	

[指 標]

指 標 名：文化財保護事業参加者数

指標説明：文化財調査事業(発掘調査現地説明会等)参加者+文化財保存活用事業
(とよはし歴史探訪・講座・シンポジウム等)参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 保 健 給 食 費	3,976,524,912	865,537,995	51,200,000	841,358,626	2,218,428,291
2目 子どもの心と体の育成費 <健やかな心と体の育成>	3,878,291,643	865,537,995	51,200,000	841,358,626	2,120,195,022

1 学校保健事業費 176,193,968 円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境衛生検査の基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 139,374,625 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 100,724,690 円

区 分		人 員	
		令和3年度	令和4年度
学 校 医	内 科	81人	78人
	耳 鼻 科	12	10
	眼 科	13	13
学 校 歯 科 医		84	84
学 校 薬 剤 師		39	39
計		229	224

(イ) 健康診断費 38,649,935 円

区 分	対 象	令和3年度	令和4年度	比 較
検 尿	児 童 生 徒	33,144人	32,627人	△ 1.6%
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	10,398	10,334	△ 0.6
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,180	2,989	△ 6.0
教 職 員 健 診	全 員	6,063	5,705	△ 5.9

(2) 学校保健推進事業費 4,017,679 円

(ア) 学校保健会補助金 638,686 円

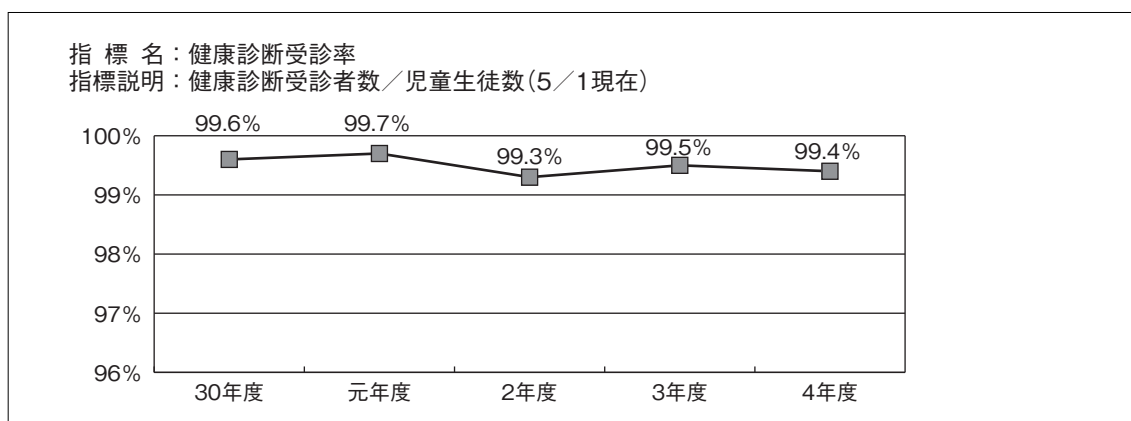
(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 30,468,350 円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 29,710,450 円

(4) 学校結核予防事業費 2,333,314 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	令和3年度	令和4年度	比 較	令和3年度	令和4年度	比 較
胸部エックス線撮影	367人	518人	41.1%	1,927人	1,897人	△ 1.6%
事 後 措 置	1	0	皆減	0	0	0.0

[指標]



2 学校給食センター運営事業費 1,684,135,818 円（保健給食課）

[総括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。令和 4 年度は、西部学校給食共同調理場の廃止および曙学校給食センターの稼働に伴い、配送校の組み換えを行った。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 南部学校給食センター 240,028,559 円

令和 3 年度			令和 4 年度			食数比較
小学校 13校	5,116人	延1,485,957食	小学校 9校	5,120人	延1,338,400食	
中学校 5	2,841		中学校 5	2,440		
特別支援学校 1	401					

(2) 北部学校給食センター 536,811,791 円

令和 3 年度			令和 4 年度			食数比較
小学校 13校	5,050人	延1,393,904食	小学校 17校	6,392人	延1,724,541食	
中学校 6	2,830		中学校 7	3,366		

(3) 東部学校給食センター 127,851,262 円

令和 3 年度			令和 4 年度			食数比較
小学校 15校	6,372人	延1,714,353食	小学校 7校	2,783人	延 755,685食	
中学校 6	3,215		中学校 3	1,507		

(4) 曙学校給食センター 616,312,225 円

令和 3 年度			令和 4 年度			食数比較
—			小学校 19校	7,250人	延2,034,594食	
			中学校 7	3,880		
			特別支援学校 1	420		

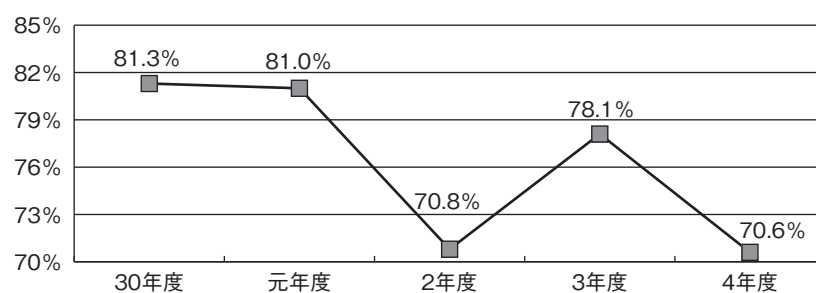
(5) 旧西部学校給食共同調理場の解体 62,841,187 円

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度
		—

[指 標]

指 標 名：学校給食の豊橋産食材使用率

指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)				
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
11款	災 害 復 旧 費	22,467,500	375,650	0	0	22,091,850	
1項	土 木 施 設 災 害 復 旧 費	4,766,300	0	0	0	4,766,300	
1目	道 路 橋 梁 災 害 復 旧 費	4,766,300	0	0	0	4,766,300	
1 道路橋梁災害応急復旧費		4,766,300 円 (道路維持課)					
[総括]		令和4年5月の大雨により、石巻本町・伊古部町において道路法面崩れが発生したため、迅速な復旧に努めた。					
[実績及び成果]		(1) 道路橋梁災害応急復旧費 4,766,300 円					
内 容		令和3年度		令和4年度			
		道路損壊復旧 2か所		道路損壊復旧 2か所			
科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)				
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
2項	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	9,944,000	375,650	0	0	9,568,350	
1目	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	9,944,000	375,650	0	0	9,568,350	
1 農林水産施設災害復旧費		9,944,000 円 (農地整備課)					
[総括]		令和4年7月の大雨により、二川漁港海岸の管理用通路が崩落・洗掘したため、迅速な復旧に努めた。					
		また、令和4年9月の台風15号の影響とみられる漂着流木等について、利用頻度が高く漁業に与える影響が大きい高塚船揚場付近を先行して撤去した。					
[実績及び成果]		(1) 漁港海岸施設災害応急復旧費 9,944,000 円					
内 容		令和3年度		令和4年度			
		—		通路整備工・流木処理工			
科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)				
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
3項	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	7,757,200	0	0	0	7,757,200	
1目	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	7,757,200	0	0	0	7,757,200	
1 諸施設災害応急復旧費		7,757,200 円 (公園緑地課始め2課)					
[総括]		令和4年5月の大雨、9月の台風14号により、公園や学校の施設に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。					
[実績及び成果]		(1) 諸施設災害応急復旧費 7,757,200 円					
内 容		令和3年度			令和4年度		
		教育政策課	公共施設等復旧	飯村小学校	公園緑地課	公共施設等復旧	高師緑地 東田小学校ほか